

NIKKOR Z 58mm f/0.95 S Noct

使用説明書

Jp

User's Manual

En

Manuel d'utilisation

Fr

Manual del usuario

Es

Manual do Utilizador

Pt

使用说明书

Sc

使用説明書

Tc

사용설명서

Kr

Manual bagi Pengguna

Id

دليل المستخدم

Ar

⚠️ お取り扱いにご注意ください

このレンズは非常に精密な光学機器です。性能を維持するために、製品に衝撃を与えないように取り扱いには十分にご注意ください。

ご使用前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの説明書もご覧ください。

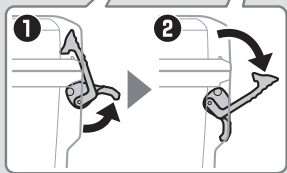
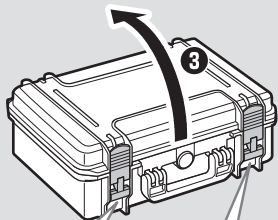
- ・このレンズは、ニコン Z マウントのミラーレスカメラ専用です。
- ・このレンズは、マニュアルフォーカスレンズです。カメラ側のフォーカスモードの設定にかかわらず、オートフォーカスでのピント合わせはできません。

Jp

トランクケースの開け方について

トランクケースは、次の手順で開けます。

- 1 トランクケースを安定した場所に置く
- 2 ラッチの安全ロックを解除して (1)、ラッチを外す (2)
- 3 トランクケースのふたを開ける (3)





- ・ふたは静かに開けてください。
- ・可動部分に手を挟まないように注意して開けてください。
- ・このトランクケースは密閉性が高いため、ふたと本体が密着している場合があります。その場合は、本体をしっかり押さえた状態で、ふたを開けてください。



安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。







この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

- | | |
|---|---|
|  | 警告 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。 |
|  | 注意 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

- | | |
|---|--------------------|
|  | は、してはいけない内容です。 |
|  | は、実行しなければならない内容です。 |

警告

- | | |
|---|---|
|  | 分解禁止
分解、修理または改造をしない
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。 |
|  | 実行
熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちにカメラの電源を取り外す
放置すると、発火、やけどの原因になります。 |
|  | 禁止
水でぬらさない
ぬれた手で触らない
感電や発火の原因になります。 |
|  | 禁止
引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。 |
|  | 禁止
レンズで直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障害の原因になります。 |
|  | 禁止
幼児の手の届くところに置かない
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。 |

 **警告**



禁止

高温環境や低温環境では、直接触らない
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

 **注意**



禁止

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない
集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。
逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらしてください。



禁止

夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない
故障や発火の原因になります。



禁止

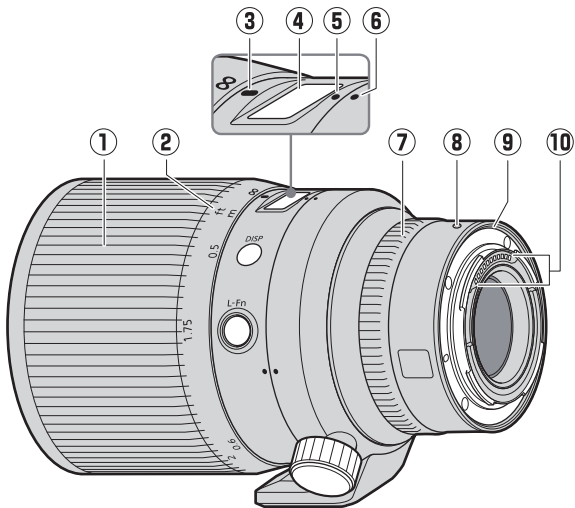
三脚などにカメラやレンズを取り付けたまま移動しない
故障やけがの原因になります。

Jp

レンズの使い方

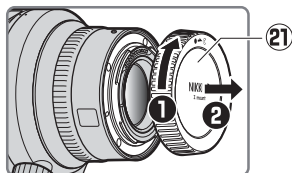
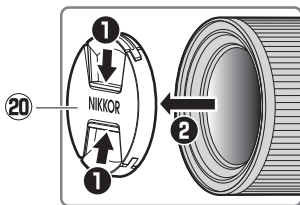
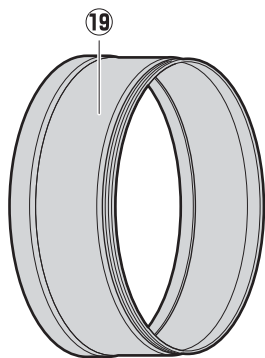
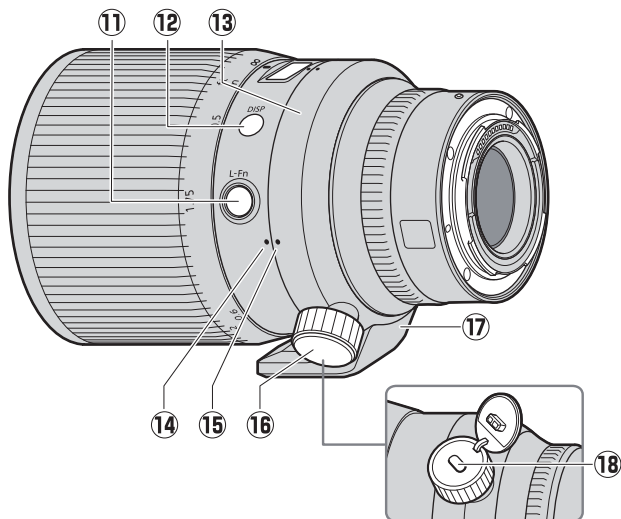
各部の名称と機能

各部の名称と機能は以下の通りです。



Jp

①	フォーカス リング	このリングを回転させると手動でピント合わせができます。	—
②	距離目盛	撮影距離（カメラの撮像素子から被写体までの距離）を確認できます。	—
③	距離目盛基準線	・ 距離目盛は目安であり、被写体までの距離を保証するものではありません。遠景撮影でも被写界深度などの影響により∞マークに届かない位置でピントが合う場合があります。	
④	レンズ情報 パネル	撮影距離や被写界深度などの情報を表示します。	詳しくは ➡ ● B (□10)、 ● C (□12)
⑤	レンズ回転位置 指標	このレンズを装着したカメラを横位置や縦位置に回転させるときに使います。	詳しくは ➡ ● D (□14)
⑥	三脚座リング 回転位置指標		
⑦	コントロール リング	このリングを回転させると、[絞り] や [露出補正] などカメラで設定した機能を使用できます。詳しくは、カメラの説明書に記載されている [カスタムボタンの機能] の説明をご覧ください。	—
⑧	レンズ着脱指標	カメラにレンズを取り付けるときの指標です。	詳しくは ➡ ● A (□10)
⑨	レンズマウント ゴムリング	—	—
⑩	CPU 信号接点	カメラとレンズの間で情報を伝達します。	—



⑪ L-Fn ボタン	このボタンを押すと、カメラで設定した機能を使用できます。詳しくは、カメラの説明書に記載されている [カスタムボタンの機能] の説明をご覧ください。	—
⑫ 表示切り換えボタン	レンズ情報パネルの表示を切り換えたり、設定を保存するときに使います。	詳しくは ➡ B (㊦10)、 C (㊦12)
⑬ 三脚座リング	—	—
⑭ レンズ回転位置指標 (90°)	このレンズを装着したカメラを横位置や縦位置に回転させるときに使います。	詳しくは ➡ D (㊦14)
⑮ 三脚座リング回転位置指標 (90°)		
⑯ 三脚座リング止めネジ		
⑰ 組み込み式回転三脚座	このレンズを装着したカメラを三脚に取り付けるときに使います。	
⑱ セキュリティースロット (盗難防止用セキュリティワイヤー取り付け部)	市販の盗難防止用セキュリティワイヤーを取り付けることができます。取り付け方はセキュリティワイヤーの説明書をご覧ください。	—
⑲ フード	画像に悪影響を及ぼす光線をカットします。レンズ面の保護にも役立ちます。	詳しくは ➡ E (㊦15)
⑳ レンズキャップ	—	—
㉑ 裏ぶた	—	—

A カメラへの取り付け方・取り外し方

取り付け方

- 1 カメラの電源を OFF にして、レンズの裏ぶたとカメラのボディーキャップを外す
 - 2 カメラとレンズのレンズ着脱指標を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回す
- ・ このレンズを使用するときは、レンズを保護するためにフードを装着することをおすすめします。

Jp

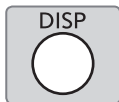
取り外し方

- 1 カメラの電源を OFF にする
- 2 レンズ取り外しボタンを押しながら、時計回りにレンズを回して取り外す

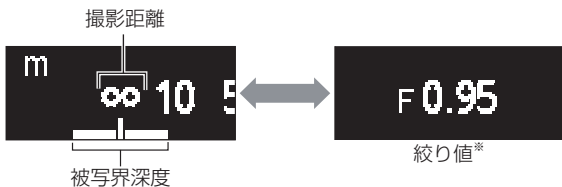
B レンズ情報パネルの表示

このレンズをカメラに取り付けてカメラの電源を ON にすると、レンズ情報パネルが点灯します。

- ・ レンズ情報パネルの表示は、表示切り換えボタンを押すたびに次のように切り換わります。



表示切り換え
ボタン



※ 絞り値は、カメラの撮影モードが **A** または **M** の場合のみ表示されます。その他の撮影モードでは、図のように表示されません。

F AUTO

Jp

- ・ カメラの半押しタイマーがオフになったとき、またはレンズの操作を行わないまま約 10 秒経過したとき、レンズ情報パネルは消灯します。表示切り換えボタンを押すと、レンズ情報パネルが再度点灯します。

🔍 レンズ情報パネルに表示される数値について

レンズ情報パネルに表示される撮影距離や被写界深度などの数値は、およその目安です。

🔍 ボケ像が欠けて写る場合は

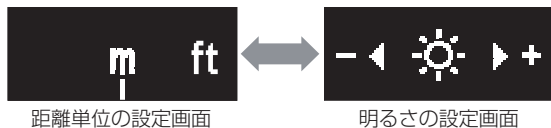
高速のシャッタースピードや開放付近の絞りで撮影すると、ボケ像が欠けて写ることがあります。ボケ像の欠けが気になるときは、シャッタースピードを遅くしたり、絞り値を大きくすると目立たなくなります。

㉓ レンズ情報パネルの設定

距離を表示するときの単位 (m (メートル) または ft (フィート)) や、レンズ情報パネルの明るさを変更できます。

1 表示切り換えボタンを長押しして設定画面を表示する

- ・ 距離単位または明るさの設定画面が表示されます。設定画面では、設定中の項目が点滅します。
- ・ 表示切り換えボタンを押すと、設定画面が切り換わります。



2 コントロールリングを回して設定を変更する

距離単位の設定

- コントロールリングを回して、**m** または **ft** を選びます。



明るさの設定

- コントロールリングを+ (プラス) 方向に回すと表示が明るくなり、- (マイナス) 方向に回すと暗くなります。
- 設定できる明るさは6段階です。



- 明るさのアイコンが「点滅禁止」になるまでコントロールリングを一方方向に回すと、レンズ情報パネルには何も表示されなくなります。



- ・ 表示切り換えボタンを押すと設定した内容が保存され、設定画面が切り換わります。
- ・ レンズの操作を行わないまま約5秒経過すると、設定画面が終了します。その場合、変更した内容は反映されません。

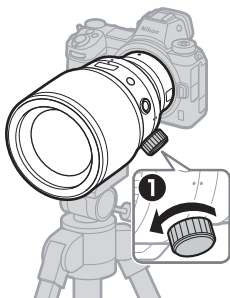
3 表示切り換えボタンを長押しして設定画面を終了する

- ・ 明るさの設定を「点滅禁止」にしたときは、レンズ情報パネルに何も表示されなくなります。再度表示切り換えボタンを長押しすると、レンズ情報パネルが点灯します。

D 組み込み式回転三脚座の使い方

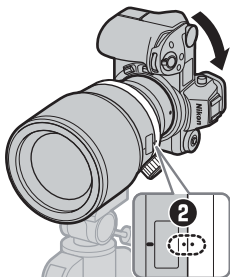
- ・三脚を取り付けるときは、カメラ側ではなくレンズ側の組み込み式回転三脚座に取り付けます。
- ・三脚をレンズの組み込み式回転三脚座に取り付けた状態でも、カメラ位置を変更することができます。次の手順で行ってください。

1 レンズの三脚座リング止めネジを少し緩める (1)

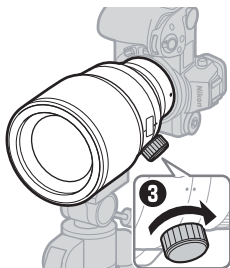


2 カメラ位置（縦 / 横）に応じてレンズ回転位置指標と三脚座リング回転位置指標を合わせる (2)

- ・カメラのグリップを握った状態でカメラを回転させるときは、三脚に手がぶつからないようにご注意ください。



3 三脚座リング止めネジを締め
て固定する (3)

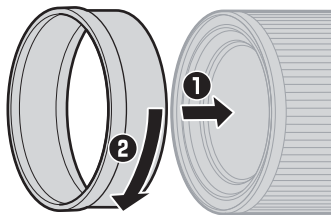


- ・ 組み込み式回転三脚座を取り外したい場合は、ニコンサービス機関へお問い合わせください。

Jp

E フードの取り付け方・取り外し方

フードは、直接レンズの前枠にねじ込んで使用します。取り付けの際は、レンズのガラス面に触れたり、無理に力を加えたりしないようにご注意ください。



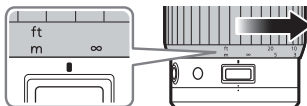
- ・ 取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。

レンズの収納方法

レンズをトランクケースに収納するには、次の手順で行います。

1 フォーカスリングを図の位置まで回す

- ・レンズを繰り出しているときは、トランクケースに収納できません。

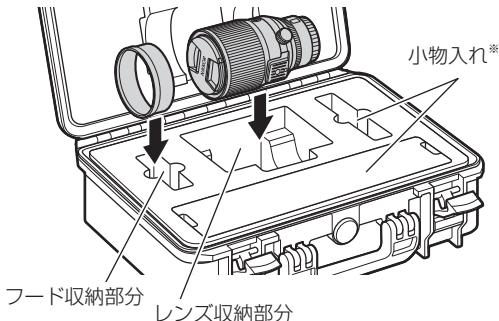


2 レンズにレンズキャップと裏ぶたが取り付けられていることを確認する

3 レンズからフードを取り外す

4 レンズとフードを図のように収納する

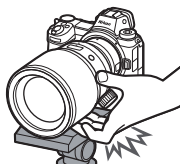
- ・トランクケースを閉めるときは、開けるとき（□3）と逆の手順で行い、ラッチの安全ロックは確実に締めてください。



※トランクケースの小物入れに収納した収納物については、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

取り扱い上のご注意

- ・ レンズをカメラに装着した状態で、カメラだけを持たないでください。カメラ（マウント部分）破損のおそれがありますので、必ずレンズも持つてください。
- ・ レンズの繰り出した部分を持たないでください。
- ・ フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- ・ CPU 信号接点は汚さないようにご注意ください。
- ・ 雲台の座面が大きい三脚をお使いの場合、フォーカスリングを回したときに、三脚の座面とリングの間に指をはさんでケガをする恐れがありますのでご注意ください。



- ・ レンズマウントゴムリングが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- ・ レンズをカメラに装着していないときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- ・ レンズを保管するときは、レンズ内部を保護するために太陽光のあたらない所に保管してください。
- ・ レンズを水にぬらしたり、湿気の多い場所に置かないでください。部品がサビつくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・ 火の近くなど、極端に温度が高くなる場所に置かないでください。外装の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。
- ・ 極端に温度差のある場所に急にレンズを持ち込むと、レンズ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。レンズをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。
- ・ レンズを持ち運ぶときは、カメラから取り外して付属のトランクケースに収納してください。

レンズのお手入れ

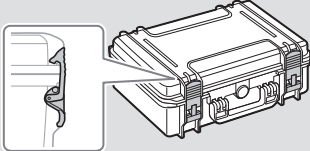
- ・レンズ面を清掃する場合、通常はほこりを払う程度にしてください。
- ・最前面のレンズ面（フッ素コートあり）
 - 指紋など油分を含む汚れがついたときは、柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーでレンズの中心から外周へ渦巻き状に拭いてください。
 - 汚れがひどいときは、少量の真水、無水アルコール（エタノール）、または市販のレンズクリーナーで湿らせた柔らかい布を使って軽く拭いてください。
 - フッ素コート加工されたレンズ面は、撥水性、撥油性が高いため、水滴状の拭き残りが生じることがあります。その場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ・最後面のレンズ面（フッ素コートなし）
 - 指紋など油分を含む汚れがついたときは、少量の無水アルコール（エタノール）や市販のレンズクリーナーで湿らせた柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ渦巻き状に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- ・シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- ・レンズ表面の汚れや傷を防ぐには、別売のニュートラルカラー NC フィルターなどの使用をおすすめします。フィルター着脱の際は、フードを取り外してください。
- ・レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

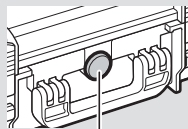
アクセサリー

付属アクセサリー

- ・ 82mm スプリング式レンズキャップ LC-82B ・ 裏ぶた LF-N1
- ・ ネジ込み式フード HN-38 ・ トランクケース CT-101

▼ トランクケースのお取り扱いについて

- ・ トランクケースの故障によって生じた収納物の損害などについて、当社は一切責任を負いません。
- ・ トランクケースを保管するときは、ラッチの安全ロックを締めて保管してください。また、ラッチが図のように確実に締まっていることをご確認ください。
- ・ 湿気の多い場所や直射日光が当たる場所に長時間放置しないでください。内部の緩衝材が固くなったり、色があせたりすることがあります。
- ・ 極端に暑い場所や寒い場所に保管しないでください。トランクケース内部の緩衝材が変形、収縮することがあります。また、緩衝材がはがれる原因となります。
- ・ 高温環境や低温環境ではトランクケースに直接触らないでください。やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。
- ・ 危険ですので、トランクケースの上に座ったり、乗ったりしないでください。
- ・ トランクケースや付属品を幼児の手の届くところに置かないでください。
- ・ 開閉時、可動部分に手を挟まないように注意してください。
- ・ 不安定な場所や落下の恐れがある場所に置かないでください。
- ・ トランクケースのお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- ・ トランクケースの表面を硬いもので擦らないでください。
- ・ トランクケースを分解、修理または改造しないでください。
- ・ 気圧調整弁は回転しません。無理な力を加えると、破損やケガの恐れがあります。
- ・ 故意に強い衝撃や振動、無理な力を与えたり、落としたりしないでください。
- ・ トランクケースの修理は承っておりません。



気圧調整弁

仕様

NIKKOR Z 58mm f/0.95 S Noct

マウント	ニコン Z マウント
焦点距離	58mm
最大口径比	1 : 0.95
レンズ構成	10群17枚(EDレンズ4枚、非球面レンズ3枚、ナノクリスタルコートあり、アルネオコートあり、最前面のレンズ面にフッ素コートあり)
画角	40° 50' (撮像範囲 FX)
	27° 20' (撮像範囲 DX)
フォーカシング方式	前群繰り出し方式
最短撮影距離	撮像面から 0.5m
最大撮影倍率	0.19 倍
絞り羽根枚数	11 枚 (円形絞り)
絞りの範囲	f/0.95 — 16
アタッチメントサイズ	82mm (P=0.75mm)
寸法	約 102mm (最大径) × 153mm (レンズマウント基準面からレンズ先端まで)
質量	約 2000g

トランクケース CT-101

タイプ	アタッチタイプ
外寸法	約 464mm × 366mm × 176mm
内寸法	約 426mm × 290mm × 159mm
質量	約 3040g (ケース内部の緩衝材を含む)
素材	・ 本体：ポリプロピレン ・ ラッチ：ナイロン

※製品の的外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

サービスとサポート

修理サービスのご案内

■ インターネットでのお申込み

ニコンイメージングジャパン修理センターで承ります。
下記のホームページからお申込みいただけます。

<http://www.nikon-image.com/support/repair/>



・ ニコンピックアップサービスで発送する場合

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。

・ ご自身で発送する場合

インターネットでお申込みいただいた後、お客様ご自身で修理品を梱包し、修理センターまで発送してください。

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター


〒230-0052 横浜市鶴見区生麦 2-2-26

修理センターナビダイヤル 0570-02-8200

※修理センターでは、宅配便、郵送をお受けします。ご来所の方の受付はしておりません。

■ お電話でのお申込み

お電話でのお申込みの場合は、ニコンピックアップサービスをご利用いただけます。

 ニコンピックアップサービス専用 フリーダイヤル（ヤマト運輸にて承ります）
0120-02-8155

営業時間：9：00～18：00（年末年始 12/29～1/4 を除く毎日）

※上記フリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。
修理内容に関するお問い合わせにはお答えできません。修理内容に関するお問い合わせは修理センターへお願いします。

■ サービスセンターでのお手続き

ニコンプラザのサービスセンター窓口でお見積り・受付をいたします。

✓ 修理品をお預けいただく場合のご注意

- ・ ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けください。
- ・ 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- ・ カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。

修理に関するお問い合わせ先

Jp

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター



修理センター ナビダイヤル
0570-02-8200

営業時間：9：30～18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

- ・ ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っていきます。



ニコンプラザショールーム ナビダイヤル
0570-02-8080



ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル
0570-02-8060

- ・ 音声ガイダンスにしたがってご利用ください。
- ・ ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

ニコンプラザの所在地、営業時間などについては、下記 URL をご覧ください。

<http://www.nikon-image.com/support/showroom/>



製品の使い方に関するお問い合わせ先

■ インターネットでのお問い合わせ

<http://www.nikon-image.com/support/contact/>

■ お電話でのお問い合わせ



ニコン カスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

- ・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。
- ・ファクシミリは、（03）5977-7499 にお送りください。

お問い合わせ時のごお願い

- ・おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象（表示されたメッセージ）」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重要なお知らせなどをメールでご案内いたします。

■ 製品登録方法

製品は、「ニコンイメージング会員」（無料）の「製品登録」ページからご登録いただけます。ニコンイメージング会員登録および製品登録は以下ニコンホームページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内

<http://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/>

■ ニコンイメージング会員とは

登録製品に関するサポート情報・ニコン製品情報や、お
得で便利な会員特典[※]などフォトライフをよりお楽しみい
ただいたための会員サービスです。

※特典は登録製品ごとに異なります。



ご注意

- ・ご登録にはメールアドレスとインターネットに接続できる環境が必要です。
- ・登録製品の製品番号（製品本体および保証書に記載）が必要です。
- ・特典の内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

Jp

ニコンイメージングサポートページのご案内

<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート
情報をご覧ください。製品をより有効にご利用いた
だくために、定期的なアクセスをおすすめします。



⚠ Care and Handling

The lens is a high-precision optical instrument. To ensure continued performance, avoid subjecting the product to physical shocks during handling.

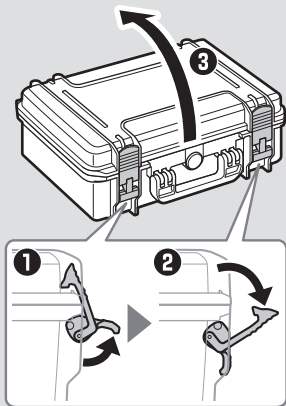
Before using this product, please read these instructions carefully. You will also need to consult the camera manual.

- This lens is intended exclusively for use with mirrorless cameras featuring a Nikon Z mount.
- This is a manual focus lens. Regardless of the focus mode selected with the camera, focus must be adjusted manually while this lens is attached.

Opening the Trunk Case

To open the trunk case:

- 1** Place the trunk case on a stable surface.
- 2** Release the latch safety locks **(1)** and open the latches **(2)**.
- 3** Open the lid **(3)**.
 - Open the lid slowly.
 - Take care that your fingers don't get caught in the case's moving parts.
 - The lid and body of the case form a tight seal, and it may sometimes be necessary to grip the body securely while opening the lid.



For Your Safety

To prevent damage to property or injury to yourself or to others, read “For Your Safety” in its entirety before using this product.

Keep these safety instructions where all those who use this product will read them.

⚠ WARNING: Failure to observe the precautions marked with this icon could result in death or severe injury.

⚠ CAUTION: Failure to observe the precautions marked with this icon could result in injury or property damage.

⚠ WARNING

- **Do not disassemble or modify this product.**
Do not touch internal parts that become exposed as the result of a fall or other accident.

Failure to observe these precautions could result in electric shock or other injury.

- **Should you notice any abnormalities such as the product producing smoke, heat, or unusual odors, immediately disconnect the camera power source.**

Continued operation could result in fire, burns or other injury.

- **Keep dry.**
Do not handle with wet hands.

Failure to observe these precautions could result in fire or electric shock.

- **Do not use this product in the presence of flammable dust or gas such as propane, gasoline or aerosols.**

Failure to observe this precaution could result in explosion or fire.

- **Do not directly view the sun or other bright light source through the lens.**

Failure to observe this precaution could result in visual impairment.

WARNING

- **Keep this product out of reach of children.**

Failure to observe this precaution could result in injury or product malfunction. In addition, note that small parts constitute a choking hazard. Should a child swallow any part of this product, seek immediate medical attention.

- **Do not handle with bare hands in locations exposed to extremely high or low temperatures.**

Failure to observe this precaution could result in burns or frostbite.

CAUTION

- **Do not leave the lens pointed at the sun or other strong light sources.**

Light focused by the lens could cause fire or damage to product's internal parts. When shooting backlit subjects, keep the sun well out of the frame.

- **Do not leave the product where it will be exposed to extremely high temperatures, for an extended period such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.**

Failure to observe this precaution could result in fire or product malfunction.

- **Do not transport cameras or lenses with tripods or similar accessories attached.**

Failure to observe this precaution could result in injury or product malfunction.

Notices for Customers in the U.S.A.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Federal Communications Commission (FCC) Radio Frequency Interference Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/television technician for help.

CAUTIONS

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Nikon Corporation may void the user's authority to operate the equipment.

Nikon Inc., 1300 Walt Whitman Road,
Melville, New York 11747-3064, U.S.A.
Tel.: 631-547-4200

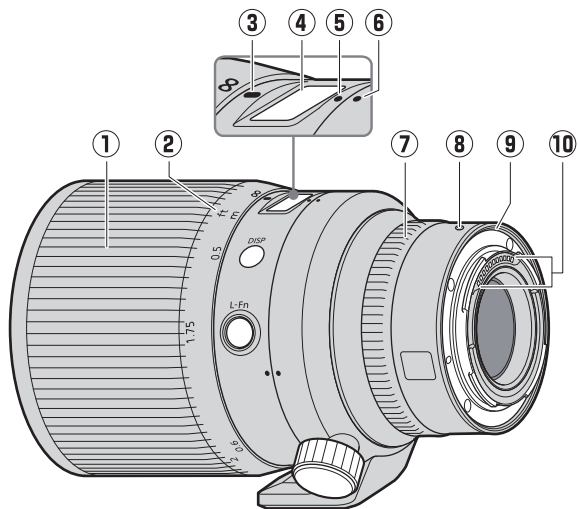
Notice for Customers in Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

Using the Lens

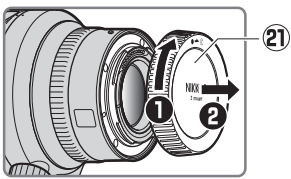
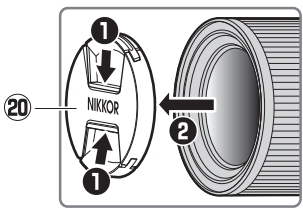
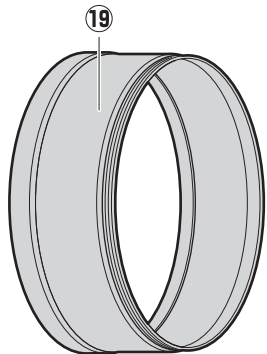
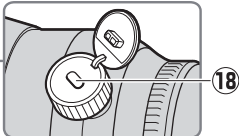
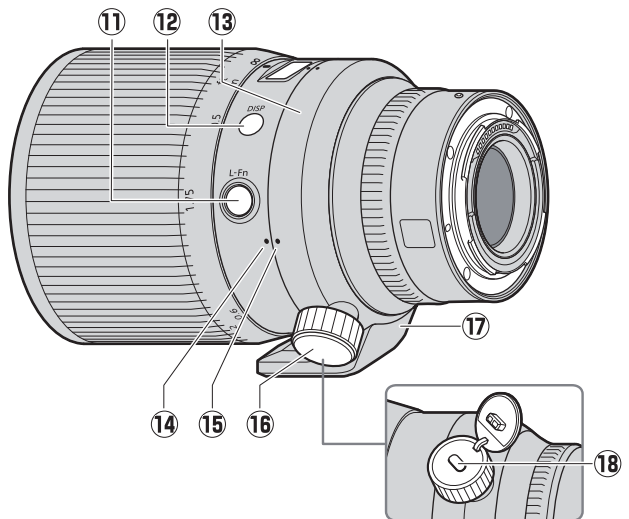
Parts of the Lens: Names and Functions

See below for the names and functions of the parts of the lens.



En

① Focus ring	Rotate to focus manually.	—
② Focus distance indicator	Check the focus distance (the approximate distance between the image sensor and the subject). • Note that the focus distance indicator is intended only as a guide and may not accurately reflect the distance to the subject. Due to depth of field or other factors, a focus distance of ∞ may not be selected when the camera is focused on a distant object.	—
③ Focus distance mark		
④ Lens info panel	View focus distance, depth of field, and other information.	See B (□34), C (□35)
⑤ Lens rotation index	Use when rotating the camera from landscape to portrait orientation or vice versa.	See D (□37)
⑥ Tripod collar rotation index		
⑦ Control ring	Rotate to adjust a setting such as Aperture or Exposure compensation assigned using the camera. For more information, see the description of Custom control assignment in the camera manual.	—
⑧ Lens mounting mark	Use when mounting the lens on the camera.	See A (□33)
⑨ Rubber lens-mount gasket	—	—
⑩ CPU contacts	Used to transfer data to and from the camera.	—



⑪ L-Fn button	Press to perform a function assigned using the camera. For more information, see the description of Custom control assignment in the camera manual.	—
⑫ Display button	Save settings or choose the information shown in the lens info panel.	See B (□34), C (□35)
⑬ Tripod collar ring	—	—
⑭ Lens rotation index (90°)	Use when rotating the camera from landscape to portrait orientation or vice versa.	See D (□37)
⑮ Tripod collar rotation index (90°)		
⑯ Tripod collar ring attachment screw		
⑰ Built-in rotating tripod collar	Use when the camera is mounted on a tripod.	
⑱ Security slot (for anti-theft cable)	Third-party anti-theft cables can be attached to this slot. For more information, see the documentation provided with the cable.	—
⑲ Lens hood	Lens hoods block stray light that would otherwise cause flare or ghosting. They also serve to protect the lens.	See E (□38)
⑳ Front lens cap	—	—
㉑ Rear lens cap	—	—

A Attachment and Removal

Attaching the Lens

- 1** Turn the camera off, remove the body cap, and detach the rear lens cap.
- 2** Position the lens on the camera body, keeping the mounting mark on the lens aligned with the mounting mark on the camera body, and then rotate the lens counterclockwise until it clicks into place.
 - We recommend attaching the lens hood to protect the lens during use.

Removing the Lens

- 1** Turn the camera off.
- 2** Press and hold the lens release button while turning the lens clockwise.

B The Lens Info Panel

The lens info panel lights when the lens is attached to a camera and the camera is on.

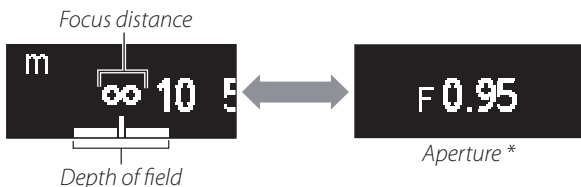
Press the display button to cycle the display as shown:

NIKKOR

DISP



Display
button



* Aperture is displayed only when the camera is in mode **A** or **M**. The display for other modes is shown in the illustration.

F AUTO

- The panel turns off automatically when the camera standby timer expires or if no lens operations are performed for about 10 seconds. Press the display button to reactivate the display.

The Lens Info Panel

The focus distance, depth of field, and other information displayed in the lens info panel are approximations only.

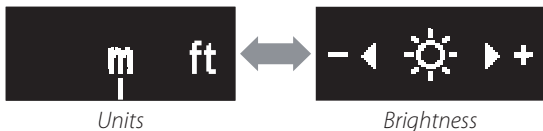
Irregular Bokeh

With fast shutter speeds and/or wide apertures, you may notice irregularities in how *bokeh* is shaped. The effect can be mitigated by choosing slower shutter speeds and/or higher f-numbers.

C Panel Options

Follow the steps below to choose the units for focus distance from meters (**m**) or feet (**ft**) or adjust the brightness of the lens info panel.

- 1** Press and hold the display button to view settings.
 - Unit or brightness selection options will be displayed. The currently selected item will flash.
 - Press the display button to toggle between displays.



En

- 2** Choose a setting using the lens control ring.

Units



- Rotate the control ring to choose from meters (**m**) or feet (**ft**).



Brightness

- Rotate the control ring in the "+" (brighter) or "-" (darker) direction.
- Choose from 6 levels of brightness.




- To turn the lens info panel off, rotate the ring in the “-” direction until the  icon changes to .



- Press the display button to save changes and toggle the display.
- If no operations are performed using lens controls for about 5 seconds, panel options will clear from the display and changes will be canceled.

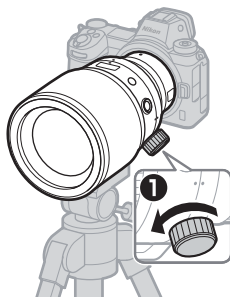
3 Press and hold the display button to return to the lens information display.

- Choosing  for brightness turns the lens info panel off. To turn the display on again, press and hold the display button.

D The Built-in Rotating Tripod Collar

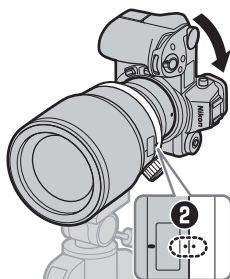
- Attach tripods to the built-in rotating tripod collar, not to the camera.
- Attaching tripods to the built-in rotating tripod collar rather than to the camera allows the camera to be rotated as described below while a tripod is attached.

- 1 Loosen the tripod collar ring attachment screw (1).



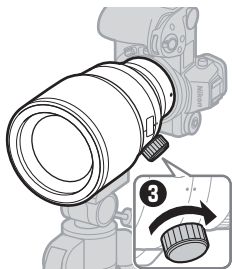
- 2 Rotate the camera (2) to align the lens rotation index with the tripod collar rotation index that matches the desired orientation (landscape or portrait).

- When rotating the camera, care may be needed to prevent the hand holding the camera contacting the tripod.



En

- 3** Tighten the tripod collar ring attachment screw **(3)**.

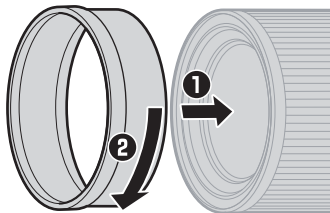


- For information on removing the built-in rotating tripod collar, contact a Nikon-authorized service representative.

En

E Attaching and Removing the Lens Hood

The lens hood screws directly into the threads in front of the lens. Do not touch the glass surface of the lens or use excessive force.

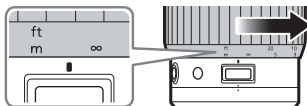


- To remove the hood, unscrew it from the lens.

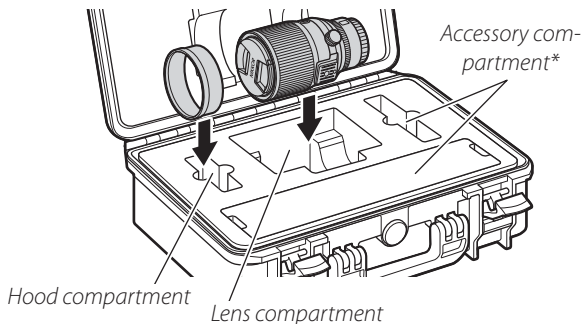
Placing the Lens in Its Case

Follow the steps below to place the lens in its case.

- 1 Rotate the focus ring to the position shown.
 - The lens cannot be placed in the case while extended.



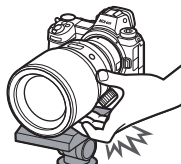
- 2 Confirm that the front and rear lens caps are attached.
- 3 Remove the lens hood.
- 4 Place the lens and hood in the case as shown.
 - Reverse the steps in "Opening the Trunk Case" (□25) to close and latch the lid. Be sure the safety locks are engaged.



* Items placed in the accessory compartment are not covered under warranty.

Precautions for Use

- Be sure to support the lens when holding the camera. Failure to observe this precaution could damage the camera lens mount.
- Do not pick up or hold the lens by its telescoping section.
- Do not pick up or hold the lens or camera using only the lens hood.
- Keep the CPU contacts clean.
- When using a tripod with a large pan head, be careful when rotating the focus ring to avoid injury caused by your fingers getting caught between the ring and the pan head.



En

- Should the rubber lens-mount gasket be damaged, cease use immediately and take the lens to a Nikon-authorized service center for repair.
- Replace the front and rear lens caps when the lens is not in use.
- To protect the interior of the lens, store it out of direct sunlight.
- Do not leave the lens in humid locations or in locations in which it may be exposed to moisture. Rusting of the internal mechanism can cause irreparable damage.
- Do not leave the lens next to open flames or in other extremely hot locations. Extreme heat could damage or warp exterior parts made from reinforced plastic.
- Rapid changes in temperature may cause damaging condensation inside and outside the lens. Before taking the lens from a warm to a cold environment or vice versa, place it in a bag or plastic case to slow the change in temperature.
- Remove the lens from the camera and place it in the supplied case for transport.

Lens Care

- Removing dust is normally sufficient to clean the glass surfaces of the lens.
- **The fluorine-coated front lens element** can be cleaned as described below.
 - Smudges, fingerprints, and other oily stains can be removed using a soft, clean cotton cloth or lens cleaning tissue; clean from the center outwards using a circular motion.
 - To remove stubborn stains, wipe gently using a soft cloth lightly dampened with a small amount of distilled water, ethanol, or lens cleaner.
 - Any drop-shaped marks left from this process on the water- and oil-repellent surface can subsequently be removed with a dry cloth.
- **When cleaning the rear lens element, which is not fluorine-coated**, remove smudges, fingerprints, and other oily stains using a soft, clean cotton cloth or lens cleaning tissue lightly dampened with a small amount of ethanol or lens cleaner. Wipe gently from the center outwards in a circular motion, taking care not to leave smears or touch the lens with your fingers.
- Never use organic solvents such as paint thinner or benzene to clean the lens.
- Neutral Color (NC) filters (available separately) and the like can be used to protect the front lens element. Remove the lens hood before attaching or removing filters.
- If the lens will not be used for an extended period, store it in a cool, dry location to prevent mold and rust. Do not store in direct sunlight or with naphtha or camphor moth balls.

Accessories

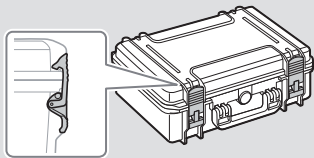
Supplied Accessories

- LC-82B 82 mm snap-on Front Lens Cap
- LF-N1 Rear Lens Cap
- HN-38 Screw-on Lens Hood
- CT-101 Trunk Case

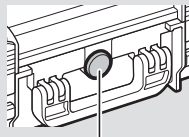
En

✔ Using the Trunk Case

- Nikon assumes no liability in the event that damage to the case results in damage to its contents.
- When storing the trunk case, close the latch safety locks. Confirm that the latches are securely closed as shown in the illustration.



- Do not leave the case for long periods in humid locations or in direct sunlight. Prolonged exposure to damp or direct sunlight could cause the inner padding to harden or fade.
- Do not store the case in locations exposed to extreme temperatures. Failure to observe this precaution could cause the inner padding to warp, shrink, or peel.
- Avoid directly touching the case after it has been exposed to extreme temperatures. Failure to observe this precaution could result in burns, low-temperature burns, or frostbite.
- Do not sit or place heavy objects on the case.
- Keep the case and its accessories out of reach of small children.
- Keep your hands clear of moving parts when opening or closing the case.
- Do not leave the case in unstable locations or locations where it is likely to fall.
- Never use organic solvents such as alcohol, benzene, or thinner to clean the case.
- Do not scratch or rub the surface of the case with hard objects.
- Do not attempt to disassemble, repair, or modify the case.
- The pressure equalization valve does not rotate. Applying excessive force to the valve could cause injury or damage the product.
- Do not drop the case, handle it with excessive force, or subject it to violent physical shocks or vibration.
- Nikon will not make repairs to the trunk case.



Pressure equalization valve

Specifications

NIKKOR Z 58mm f/0.95 S Noct

Mount	Nikon Z mount
Focal length	58 mm
Maximum aperture	f/0.95
Lens construction	17 elements in 10 groups (including 4 ED elements, 3 aspherical elements, and elements with Nano Crystal and ARNEO coats, and a fluorine-coated front lens element)
Angle of view	<ul style="list-style-type: none">• FX format: 40° 50'• DX format: 27° 20'
Focusing system	Front focusing system
Minimum focus distance	0.5 m (1.64 ft) from focal plane
Maximum reproduction ratio	0.19×
Diaphragm blades	11 (rounded diaphragm opening)
Aperture range	f/0.95 – 16
Filter-attachment size	82 mm (P = 0.75 mm)
Dimensions	Approx. 102 mm/4.1 in. maximum diameter × 153 mm/6.1 in. (distance from camera lens mount flange)
Weight	Approx. 2000 g (4 lb 6.6 oz)

CT-101 Trunk Case

Type	Attaché-style case
External dimensions	Approx. 464 mm × 366 mm × 176 mm (1 ft 6.3 in. × 1 ft 2.5 in. × 7 in.)
Internal dimensions	Approx. 426 mm × 290 mm × 159 mm (1 ft 4.8 in. × 11.5 in. × 6.3 in.)
Weight	Approx. 3040 g (6 lb 10.7 oz), including inner padding
Materials	<ul style="list-style-type: none">• Body: Polypropylene• Latch: Nylon

Nikon reserves the right to change the appearance, specifications, and performance of this product at any time and without prior notice.

En

En

⚠ Entretien et manipulation

Cet objectif est un instrument optique de haute précision. Pour garantir la constance de ses caractéristiques, évitez de le soumettre à des chocs physiques lorsque vous le manipulez.

Avant d'utiliser ce produit, veuillez lire ces instructions attentivement. Vous devrez également consulter le manuel de l'appareil photo.

- Cet objectif est destiné exclusivement aux appareils photo hybrides dotés d'une monture Nikon Z.
- Il s'agit d'un objectif à mise au point manuelle. Quel que soit le mode de mise au point sélectionné avec l'appareil photo, vous devez régler manuellement la mise au point lorsque cet objectif est fixé.

Ouverture de la valise

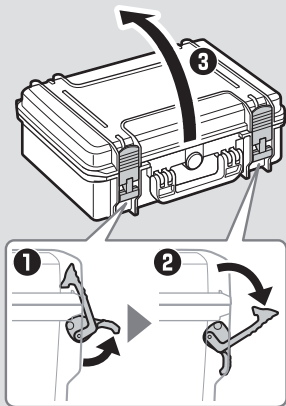
Pour ouvrir la valise :

1 Posez la valise sur une surface stable.

2 Libérez les verrous de sécurité des loquets **(1)** et ouvrez les loquets **(2)**.

3 Ouvrez le couvercle **(3)**.

- Ouvrez le couvercle lentement.
- Veillez à ne pas vous coincer les doigts dans les pièces mobiles de la valise.
- Le couvercle et le fond de la valise forment un joint étanche ; par conséquent, il peut parfois être nécessaire de tenir fermement le fond lors de l'ouverture du couvercle.



Pour votre sécurité

Afin d'éviter de provoquer des dommages matériels ou de vous blesser ou de blesser un tiers, lisez intégralement « Pour votre sécurité » avant d'utiliser ce produit.

Conservez ces consignes de sécurité dans un endroit facilement accessible à tous ceux qui pourraient se servir de ce produit.

⚠ AVERTISSEMENT : le non-respect des consignes indiquées par cette icône peut vous exposer à un danger de mort ou à de graves blessures.

⚠ ATTENTION : le non-respect des consignes indiquées par cette icône peut vous exposer à des blessures ou provoquer des dommages matériels.

⚠ AVERTISSEMENT

Fr

- **Ne démontez pas ou ne modifiez pas ce produit.**
Ne touchez pas les composants internes qui sont exposés suite à une chute ou à un autre accident.
Le non-respect de ces consignes peut provoquer un choc électrique ou d'autres blessures.
- **Si vous observez des anomalies provenant du produit comme de la fumée, de la chaleur ou des odeurs inhabituelles, débranchez immédiatement la source d'alimentation de l'appareil photo.**
Continuer d'utiliser le matériel risque de provoquer un incendie, des brûlures ou d'autres blessures.
- **Gardez votre matériel au sec.**
Ne le manipulez pas avec les mains mouillées.
Le non-respect de ces consignes de sécurité peut provoquer un incendie ou un choc électrique.
- **N'utilisez pas ce produit en présence de poussières ou de gaz inflammables comme du propane, de l'essence ou des aérosols.**
Le non-respect de cette consigne peut provoquer une explosion ou un incendie.

AVERTISSEMENT

- **N'observez pas directement le soleil ou toute autre source lumineuse puissante à travers l'objectif.**

Le non-respect de cette consigne peut provoquer des troubles visuels.

- **Conservez ce produit hors de portée des enfants.**

Le non-respect de cette consigne peut provoquer des blessures ou le dysfonctionnement du produit. En outre, notez que les petites pièces présentent un risque d'étouffement. Si jamais un enfant avalait une pièce de ce produit, consultez immédiatement un médecin.

- **Ne manipulez pas le matériel à mains nues dans des lieux exposés à des températures extrêmement basses ou élevées.**

Le non-respect de cette consigne peut provoquer des brûlures ou des engelures.

ATTENTION

- **Ne pointez pas l'objectif en direction du soleil ou d'autres sources très lumineuses.**

La lumière focalisée par l'objectif peut provoquer un incendie ou endommager les composants internes du produit. Lorsque vous photographiez un sujet à contre-jour, veillez à garder toujours le soleil à l'extérieur du cadre.

- **Ne laissez pas le produit exposé à des températures excessivement chaudes pendant une période prolongée, comme dans une voiture fermée ou en plein soleil.**

Le non-respect de cette consigne peut provoquer un incendie ou le dysfonctionnement du produit.

- **Ne transportez pas les appareils photo ou les objectifs si des trépieds ou accessoires similaires sont fixés.**

Le non-respect de cette consigne peut provoquer des blessures ou le dysfonctionnement du produit.

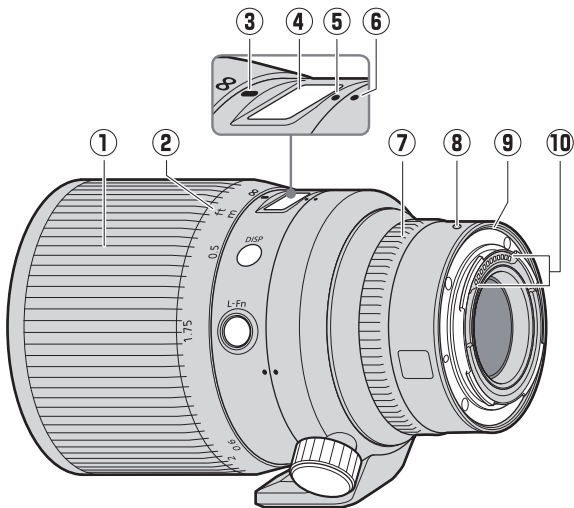
Avis pour les clients au Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

Utilisation de l'objectif

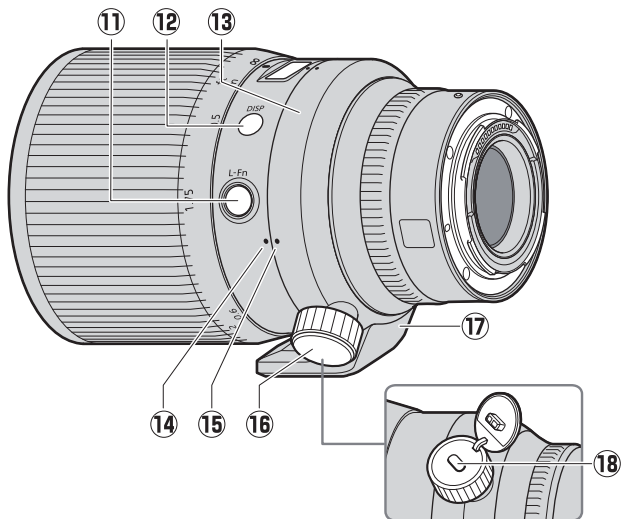
Descriptif de l'objectif : noms et fonctions

Reportez-vous ci-dessous aux noms et aux fonctions des éléments de l'objectif.

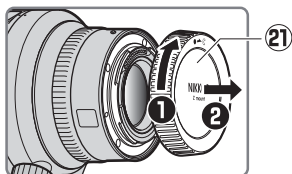
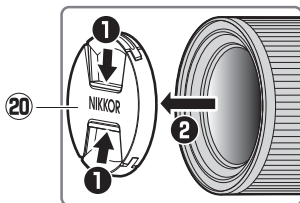
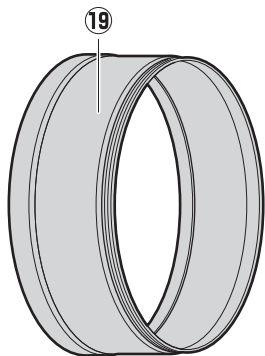


Fr

①	Bague de mise au point	Tournez cette bague pour faire le point manuellement.	—
②	Indicateur de distance de mise au point	Vérifiez la distance de mise au point (distance approximative entre le capteur d'image et le sujet). • Notez que l'indicateur de la distance de mise au point ne doit servir que de référence et risque de ne pas afficher avec précision la distance au sujet. En raison de la profondeur de champ ou d'autres facteurs, la distance de mise au point ∞ risque de ne pas être sélectionnée lorsque l'appareil photo fait le point sur un objet éloigné.	—
③	Repère de distance de mise au point		
④	Écran d'informations sur l'objectif	Affichez la distance de mise au point, la profondeur de champ et d'autres informations.	Voir B (☐54), C (☐56)
⑤	Repère de rotation de l'objectif	À utiliser lorsque vous basculez l'appareil photo du cadrage horizontal au cadrage vertical ou vice versa.	Voir D (☐58)
⑥	Repère de rotation du collier pour trépied		
⑦	Bague de réglage	Tournez cette bague pour modifier le réglage Ouverture ou Correction d'exposition , attribué à l'aide de l'appareil photo. Pour en savoir plus, reportez-vous à la description de l'option Définition réglages perso. dans le manuel de l'appareil photo.	—
⑧	Repère de montage de l'objectif	Référez-vous à ce repère lorsque vous fixez l'objectif sur l'appareil photo.	Voir A (☐54)
⑨	Joint en caoutchouc de la monture d'objectif	—	—
⑩	Contacts du microprocesseur	Utilisés pour transférer les données depuis ou vers l'appareil photo.	—



Fr



⑪ Commande L-Fn	Appuyez sur cette commande pour effectuer une fonction attribuée à l'aide de l'appareil photo. Pour en savoir plus, reportez-vous à la description de l'option Définition réglages perso. dans le manuel de l'appareil photo.	—
⑫ Commande d'affichage	Enregistrez les réglages ou choisissez les informations affichées sur l'écran d'informations sur l'objectif.	Voir B (☐54), C (☐56)
⑬ Collier pour trépied	—	—
⑭ Repère de rotation de l'objectif (90°)	À utiliser lorsque vous basculez l'appareil photo du cadrage horizontal au cadrage vertical ou vice versa.	Voir D (☐58)
⑮ Repère de rotation du collier pour trépied (90°)		
⑯ Vis de fixation du collier pour trépied		
⑰ Collier pour trépied rotatif intégré	À utiliser lorsque l'appareil photo est fixé à un trépied.	—
⑱ Encoche de sécurité (pour câble antivol)	Les câbles antivol d'autres fabricants peuvent être fixés à cette encoche. Pour en savoir plus, reportez-vous à la documentation fournie avec le câble.	—
⑲ Parasoleil	Le parasoleil bloque la lumière diffuse pouvant provoquer de la lumière parasite ou une image fantôme. Il permet aussi de protéger l'objectif.	Voir E (☐59)
⑳ Bouchon avant d'objectif	—	—
㉑ Bouchon arrière d'objectif	—	—

A Fixation et retrait

Fixation de l'objectif

- 1 Mettez l'appareil photo hors tension, retirez le bouchon du boîtier et détachez le bouchon arrière de l'objectif.
- 2 Placez l'objectif sur le boîtier de l'appareil photo, en maintenant le repère de montage de l'objectif aligné sur le repère de montage du boîtier de l'appareil photo, puis faites pivoter l'objectif dans le sens inverse des aiguilles d'une montre jusqu'au déclic.
 - Nous vous recommandons de fixer le parasoleil pour protéger l'objectif pendant l'utilisation.

Retrait de l'objectif

- 1 Mettez l'appareil photo hors tension.
- 2 Maintenez appuyée la commande de déverrouillage de l'objectif tout en faisant pivoter ce dernier dans le sens des aiguilles d'une montre.

B Écran d'informations sur l'objectif

L'écran d'informations sur l'objectif s'allume lorsque vous fixez l'objectif sur un appareil photo et que ce dernier est sous tension.

Appuyez sur la commande d'affichage pour parcourir l'affichage de la façon indiquée ci-dessous :

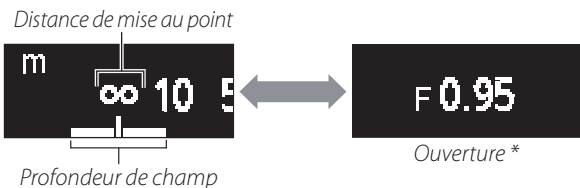


NIKKOR



DISP

Commande
d'affichage



* L'ouverture s'affiche uniquement lorsque l'appareil photo est en mode **A** ou **M**. L'affichage des autres modes est indiqué sur l'illustration.



- L'écran s'éteint automatiquement lorsque l'appareil photo entre en mode veille ou si vous n'effectuez aucune opération avec l'objectif pendant 10 secondes environ. Appuyez sur la commande d'affichage pour activer à nouveau l'écran.

Fr

Écran d'informations sur l'objectif

La distance de mise au point, la profondeur de champ et les autres informations affichées sur l'écran d'informations sur l'objectif ne sont que des approximations.

Bokeh irrégulier

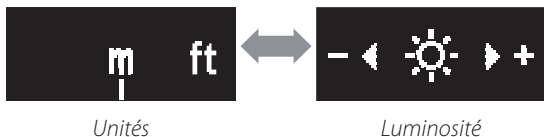
Avec des vitesses d'obturation rapides et/ou de grandes ouvertures, il se peut que vous observiez des irrégularités dans le rendu du *bokeh* (flou d'arrière-plan). Vous pouvez atténuer cet effet en choisissant des vitesses d'obturation plus lentes et/ou des ouvertures plus petites (valeurs f/ plus grandes).

C Options de l'écran

Suivez les étapes ci-dessous pour choisir l'unité de la distance de mise au point, à savoir mètres (**m**) ou pieds (**ft**), ou pour régler la luminosité de l'écran d'informations sur l'objectif.

1 Maintenez appuyée la commande d'affichage pour afficher les réglages.

- Les options de sélection de l'unité ou de la luminosité s'affichent. L'élément en cours de sélection clignote.
- Appuyez sur la commande d'affichage pour commuter entre les affichages.



2 Choisissez un réglage à l'aide de la bague de réglage de l'objectif.

Unités



- Tournez la bague de réglage pour choisir entre mètres (**m**) et pieds (**ft**).



Luminosité

- Tournez la bague de réglage dans le sens « + » (plus clair) ou « - » (plus sombre).
- Vous avez le choix entre 6 niveaux de luminosité.




- Pour éteindre l'écran d'informations, tournez la bague dans le sens « - » jusqu'à ce que l'icône  devienne .



- Appuyez sur la commande d'affichage pour enregistrer les modifications et changer d'affichage.
- Si vous n'effectuez aucune opération à l'aide des commandes de l'objectif pendant 5 secondes environ, les options disparaissent de l'écran et les modifications sont annulées.

3 Maintenez appuyée la commande d'affichage pour revenir à l'écran d'informations sur l'objectif.

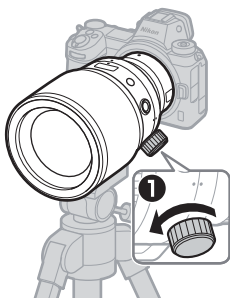
- Si vous choisissez le réglage de luminosité , l'écran d'informations sur l'objectif s'éteint. Pour activer à nouveau l'écran, maintenez appuyée la commande d'affichage.

Fr

D Collier pour trépied rotatif intégré

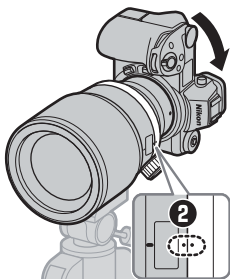
- Fixez les trépieds au collier pour trépied rotatif intégré, pas à l'appareil photo.
- La fixation des trépieds au collier plutôt qu'à l'appareil photo permet à ce dernier d'être pivoté comme décrit ci-dessous lorsqu'un trépied est fixé.

- 1 Desserrez la vis de fixation du collier pour trépied (1).

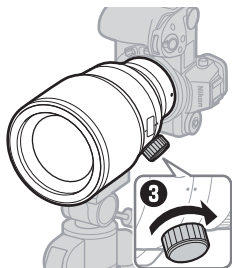


- 2 Faites pivoter l'appareil photo (2) pour aligner le repère de rotation de l'objectif sur le repère de rotation du collier pour trépied correspondant à l'orientation souhaitée (horizontale ou verticale).

- Lorsque vous faites pivoter l'appareil photo, faites attention de ne pas toucher le trépied avec la main tenant l'appareil photo.



- 3** Serrez la vis de fixation du collier pour trépied pour trépied **(3)**.

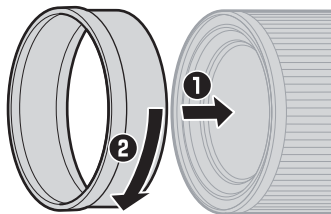


- Pour obtenir des informations sur le retrait du collier pour trépied rotatif intégré, contactez un représentant Nikon agréé.

E Fixation et retrait du parasoleil

Le parasoleil se visse directement dans le filetage situé à l'avant de l'objectif. Ne touchez pas la surface en verre de l'objectif et ne forcez pas.

Fr

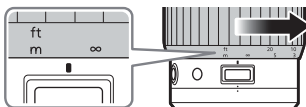


- Pour retirer le parasoleil, dévissez-le de l'objectif.

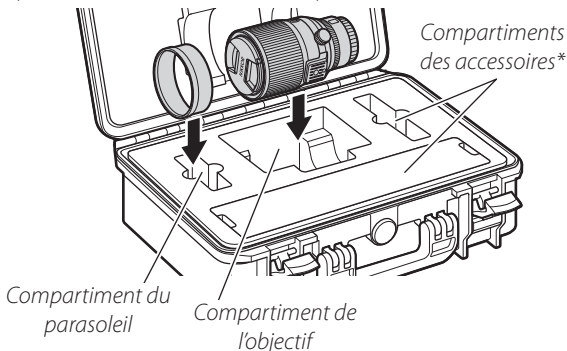
Rangement de l'objectif dans sa valise

Suivez les étapes ci-dessous pour ranger l'objectif dans sa valise.

- 1 Tournez la bague de mise au point jusqu'à la position indiquée.
 - Il n'est pas possible de ranger l'objectif dans la valise lorsqu'il est déployé.



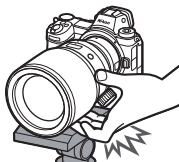
- 2 Vérifiez que les bouchons avant et arrière de l'objectif sont en place.
- 3 Retirez le parasoleil.
- 4 Placez l'objectif et le parasoleil dans la valise comme illustré.
 - Répétez les étapes dans le sens inverse de « Ouverture de la valise » (☐47) pour fermer et verrouiller le couvercle. Vérifiez que les verrous de sécurité sont en place.



* Les éléments rangés dans les compartiments des accessoires ne sont pas couverts par la garantie.

Précautions d'utilisation

- Veillez à soutenir l'objectif lorsque vous tenez l'appareil photo. Vous risquez sinon d'endommager la monture d'objectif de l'appareil photo.
- Ne prenez pas l'objectif ou ne le tenez pas par sa partie télescopique.
- Ne prenez pas ou ne tenez pas l'objectif ou l'appareil photo en saisissant uniquement le parasoleil.
- Maintenez les contacts du microprocesseur propres.
- Lorsque vous utilisez un trépied doté d'une grande tête panoramique et que vous tournez la bague de mise au point, faites attention de ne pas vous blesser en coinçant vos doigts entre la bague et la tête panoramique.



- Si le joint en caoutchouc de la monture d'objectif est endommagé, cessez immédiatement l'utilisation et confiez l'objectif à un centre Nikon agréé pour le faire réparer.
- Remettez les bouchons avant et arrière en place lorsque vous n'utilisez pas cet objectif.
- Pour protéger l'intérieur de l'objectif, rangez-le à l'abri du soleil.
- Ne laissez pas l'objectif dans des endroits humides ou dans des lieux où il risque d'être exposé à l'humidité. La formation de rouille sur les mécanismes internes peut provoquer des dommages irréparables.
- Ne laissez pas l'objectif à proximité d'un feu ou dans d'autres endroits extrêmement chauds. La chaleur extrême pourrait endommager ou déformer les pièces extérieures composées de plastique renforcé.
- Les changements brusques de température peuvent être à l'origine d'une condensation préjudiciable à l'intérieur et à l'extérieur de l'objectif. Avant de faire passer l'objectif d'un environnement chaud à froid ou vice versa, rangez-le dans un sac ou dans une boîte en plastique pour ralentir le changement de température.
- Retirez l'objectif de l'appareil photo et rangez-le dans la valise fournie pour le transporter.

Fr

Entretien de l'objectif

- Normalement, enlever la poussière suffit pour nettoyer les surfaces en verre de l'objectif.
- **Vous pouvez nettoyer la lentille avant traitée au fluor** comme décrit ci-dessous.
 - Les taches, les traces de doigt et autres taches huileuses peuvent être retirées avec un tissu propre et doux en coton ou un chiffon optique ; nettoyez avec un mouvement circulaire à partir du centre vers l'extérieur.
 - Pour retirer les taches tenaces, essuyez délicatement avec un chiffon doux et légèrement imbibé d'une petite quantité d'eau distillée, d'éthanol ou de nettoyant pour objectif.
 - Les marques en forme de goutte éventuellement présentes suite à ce nettoyage sur la surface hydrofuge et oléofuge peuvent ensuite être retirées avec un chiffon sec.
- **Lorsque vous nettoyez la lentille arrière non traitée au fluor**, retirez les taches, les traces de doigts et les autres taches huileuses avec un tissu propre et doux en coton ou un chiffon optique légèrement imbibé d'une petite quantité d'éthanol ou de nettoyant pour objectif. Essuyez délicatement avec un mouvement circulaire à partir du centre vers l'extérieur, en prenant soin de ne pas laisser de traces, ni de toucher le verre avec les doigts.
- N'utilisez jamais de solvants organiques comme un diluant à peinture ou du benzène pour nettoyer l'objectif.
- Les filtres neutres (NC, disponibles séparément) et autres accessoires similaires permettent de protéger la lentille avant. Retirez le parasoleil avant de fixer ou de retirer des filtres.
- Si vous n'avez pas l'intention d'utiliser l'objectif pendant une période prolongée, rangez-le dans un endroit frais et sec pour éviter la moisissure et la rouille. Ne le rangez pas à la lumière directe du soleil ou avec des boules antimites de naphthaline ou de camphre.

Fr

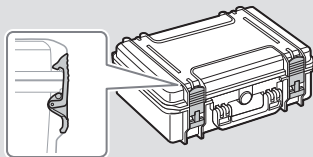
Accessoires

Accessoires fournis

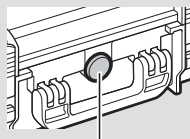
- Bouchon avant d'objectif encliquetable 82 mm LC-82B
- Bouchon arrière d'objectif LF-N1
- Parasoleil à vis HN-38
- Valise CT-101

✔ Utilisation de la valise

- Nikon décline toute responsabilité si le contenu est abîmé suite à l'endommagement de la valise.
- Lorsque vous rangez la valise, fermez les verrous de sécurité des loquets. Vérifiez que les loquets sont bien fermés comme indiqué sur l'illustration.



- Ne laissez pas la valise dans des lieux humides ou à la lumière directe du soleil pendant de longues périodes. Une exposition prolongée à l'humidité ou à la lumière du soleil peut provoquer le durcissement ou la décoloration du rembourrage intérieur.
- Ne rangez pas la valise dans un endroit exposé à des températures extrêmes. Le non-respect de cette précaution peut provoquer la déformation, le rétrécissement ou l'écaillage du rembourrage intérieur.
- Évitez de toucher directement la valise après son exposition à des températures extrêmes. Le non-respect de cette précaution peut provoquer des brûlures, des brûlures superficielles ou des engelures.
- Ne vous asseyez pas et ne posez pas d'objet lourd sur la valise.
- Conservez la valise et ses accessoires hors de portée des jeunes enfants.
- Maintenez vos mains à l'écart des pièces mobiles lors de l'ouverture ou de la fermeture de la valise.
- Ne laissez pas la valise dans des lieux instables ou dans des endroits où elle pourrait tomber.
- N'utilisez jamais de solvants organiques comme de l'alcool, du benzène ou du diluant pour nettoyer la valise.
- Ne grattez pas ou ne frottez pas la surface de la valise avec des objets durs.
- N'essayez pas de démonter, de réparer ou de modifier la valise.
- La valve d'équilibrage de pression ne tourne pas. Une force excessive exercée sur la valve pourrait provoquer des blessures ou endommager le produit.
- Ne faites pas tomber la valise, ne la manipulez pas avec une force excessive ou ne lui faites pas subir de vibrations ou de chocs physiques violents.
- Nikon ne réparera pas la valise.



Valve d'équilibrage
de pression

Caractéristiques

NIKKOR Z 58 mm f/0.95 S Noct

Monture	Monture Nikon Z
Focale	58 mm
Ouverture maximale	f/0.95
Construction optique	17 lentilles en 10 groupes (dont 4 lentilles en verre ED, 3 lentilles asphériques, des lentilles bénéficiant du traitement nanocrystal et du traitement ARNEO, et une lentille avant traitée au fluor)
Angle de champ	<ul style="list-style-type: none">• Format FX : 40° 50'• Format DX : 27° 20'
Système de mise au point	Système de mise au point avant
Distance minimale de mise au point	0,5 m à partir du plan focal
Rapport de reproduction maximal	0,19×
Lamelles de diaphragme	11 (diaphragme circulaire)
Plage des ouvertures	f/0.95 – 16
Diamètre de fixation pour filtre	82 mm (P = 0.75 mm)
Dimensions	Environ 102 mm de diamètre maximum × 153 mm (distance à partir du plan d'appui de la monture d'objectif de l'appareil photo)
Poids	Environ 2000 g

Valise CT-101

Type	Attaché case
Dimensions extérieures	Environ 464 mm × 366 mm × 176 mm
Dimensions intérieures	Environ 426 mm × 290 mm × 159 mm
Poids	Environ 3040 g, avec le rembourrage intérieur
Matériaux	<ul style="list-style-type: none">• Valise : polypropylène• Loquet : nylon

Nikon se réserve le droit de modifier à tout moment l'apparence, les caractéristiques et les performances de ce produit sans avis préalable.

Fr

⚠ Cuidado y manejo

El objetivo es un instrumento óptico de alta precisión. Para asegurar su rendimiento, no someta el producto a golpes físicos durante su manejo.

Antes de utilizar este producto, lea atentamente estas instrucciones. También tendrá que consultar el manual de la cámara.

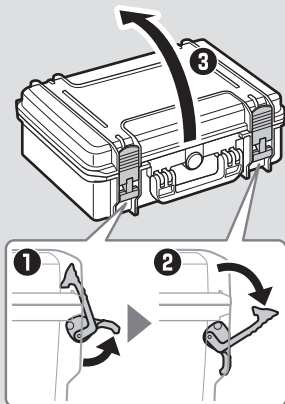
- Este objetivo ha sido diseñado exclusivamente para su uso con cámaras mirrorless con montura Z de Nikon.
- Este es un objetivo de enfoque manual. Independientemente del modo de enfoque seleccionado con la cámara, el enfoque debe ajustarse manualmente mientras este objetivo se encuentre instalado.

Apertura del maletín

Para abrir el maletín:

- 1** Coloque el maletín sobre una superficie estable.
- 2** Suelte los bloqueos de seguridad **(1)** y abra los pestillos **(2)**.
- 3** Abra la tapa **(3)**.

- Abra la tapa lentamente.
- Tenga cuidado para que los dedos no queden atrapados en las piezas móviles del maletín.
- La tapa y el cuerpo del maletín forman un sello hermético y, en algunas ocasiones, puede ser necesario agarrar firmemente el cuerpo mientras se abre la tapa.



Es

Por su seguridad

Para evitar daños materiales, sufrir lesiones o lesionar a terceros, lea completamente "Por su seguridad" antes de usar este producto.

Guarde estas instrucciones de seguridad en un lugar en el que todos los que usen el producto puedan leerlas.

⚠️ ADVERTENCIA: No respetar las precauciones marcadas con este icono puede causar lesiones graves o mortales.

⚠️ PRECAUCIÓN: No respetar las precauciones marcadas con este icono puede causar lesiones o daños materiales.

⚠️ ADVERTENCIA

- **No desmonte ni modifique este producto.**

No toque las piezas internas que puedan quedar expuestas como resultado de una caída u otro accidente.

No respetar estas precauciones puede causar descargas eléctricas u otras lesiones.

- **Si nota anomalías en el producto, como por ejemplo la emisión de humo, calor u olores inusuales, desconecte inmediatamente la fuente de alimentación de la cámara.**

Continuar usando el producto podría causar incendios, quemaduras u otras lesiones.

- **Mantener seco.**

No manipular con las manos mojadas.

No respetar estas precauciones puede causar incendios o descargas eléctricas.

- **No use este producto en presencia de polvo o gas inflamable, como por ejemplo propano, gasolina o aerosoles.**

No respetar esta precaución puede causar explosiones o incendios.

- **No mire directamente al sol o a otra fuente de luz brillante a través del objetivo.**

No respetar esta precaución puede causar discapacidad visual.

ADVERTENCIA

- **Mantenga este producto alejado de los niños.**

No respetar esta precaución puede causar lesiones o funcionamientos incorrectos del producto. Además, tenga en cuenta que las piezas pequeñas pueden presentar riesgos de asfixia. Si un niño ingiere cualquier pieza de este producto, solicite asistencia médica inmediatamente.

- **No manipular con las manos descubiertas en zonas expuestas a temperaturas extremadamente altas o bajas.**

No respetar esta precaución puede causar quemaduras o congelación.

PRECAUCIÓN

- **No deje el objetivo apuntando hacia el sol ni hacia otras fuentes de luz intensa.**

La luz enfocada a través del objetivo puede causar incendios o dañar las piezas internas del producto. Al disparar en condiciones de contraluz, mantenga el sol alejado del encuadre.

- **No deje el producto en zonas expuestas a temperaturas extremadamente altas durante largos períodos, como por ejemplo, en el interior de un vehículo cerrado o en contacto directo con la luz del sol.**

No respetar esta precaución puede causar incendios o funcionamientos incorrectos del producto.

- **No transporte cámaras u objetivos con trípodes o accesorios similares instalados.**

No respetar esta precaución puede causar lesiones o funcionamientos incorrectos del producto.

Avisos para los clientes de EE.UU.

Este dispositivo cumple con la parte 15 de las normas de la FCC. El funcionamiento está sujeto a las dos condiciones siguientes: (1) este dispositivo no puede causar interferencias perjudiciales, y (2) este dispositivo debe aceptar cualquier interferencia recibida, incluidas las interferencias que pudieran generar un funcionamiento no deseado.

Declaración sobre interferencias con radiofrecuencias de la Comisión Federal de Comunicaciones (FCC)

Este equipo ha sido sometido a pruebas y se ha determinado que cumple con los límites para un dispositivo digital clase B, de acuerdo con la sección 15 del Reglamento de la FCC. Estos límites han sido establecidos para ofrecer una protección razonable contra interferencias perjudiciales en un entorno residencial. Este equipo genera, utiliza y puede irradiar energía de radiofrecuencia, y de no ser instalado y utilizado de acuerdo con las instrucciones, puede producir interferencias perjudiciales en las comunicaciones de radio. Sin embargo, no es posible garantizar que en una determinada instalación no habrá interferencias. Si este equipo causa interferencias perjudiciales en la recepción de radio o televisión, lo cual puede determinarse apagando y encendiendo el equipo, se aconseja al usuario que intente corregir dichas interferencias tomando una o más de las medidas siguientes:

- Cambie la orientación o la ubicación de la antena receptora.
- Aumente la separación entre el equipo y el receptor.
- Conecte el equipo a una toma de un circuito distinto a aquél al que el receptor esté conectado.
- Consulte al proveedor o a un técnico de radio/televisión experimentado.

Es

PRECAUCIONES

Modificaciones

La FCC exige que se le notifique al usuario que la realización de cambios o modificaciones en este dispositivo no expresamente aprobados por Nikon Corporation puede invalidar el derecho del usuario a utilizar el equipo.

Nikon Inc., 1300 Walt Whitman Road,
Melville, New York 11747-3064, U.S.A.
Tel.: 631-547-4200

Aviso para los Clientes de Canadá

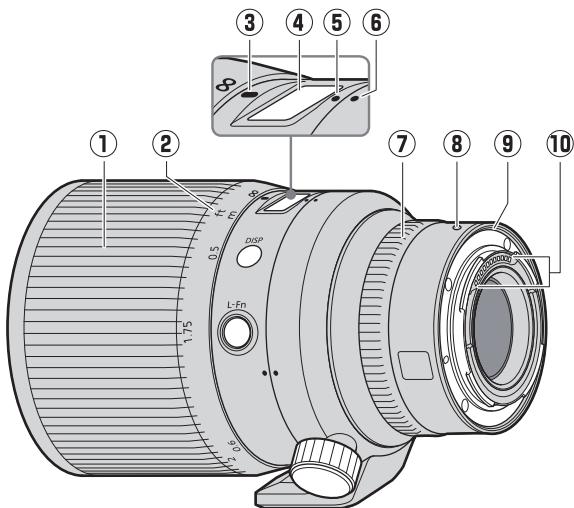
CAN ICES-3 B / NMB-3 B

Es

Uso del objetivo

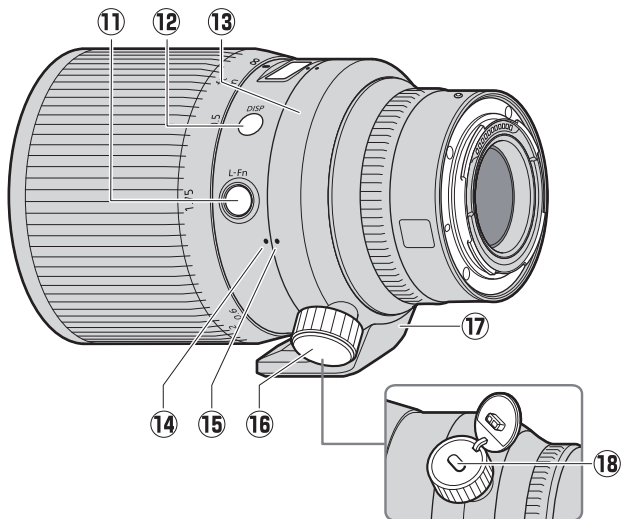
Partes del objetivo: Nombres y funciones

Consulte a continuación para más información sobre los nombres y las funciones de las partes del objetivo.

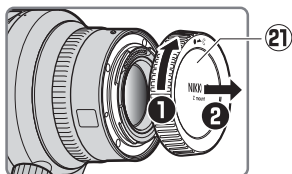
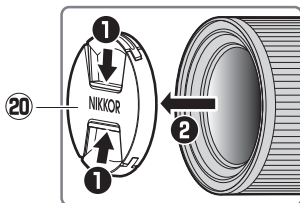
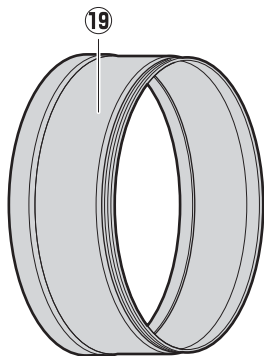


Es

① Anillo de enfoque	Gire para enfocar manualmente.	—
② Indicador de distancia de enfoque	Compruebe la distancia de enfoque (la distancia aproximada entre el sensor de imagen y el sujeto). • Tenga en cuenta que el indicador de distancia de enfoque es solo una guía y podría no reflejar con precisión la distancia hasta el sujeto. A causa de la profundidad de campo u otros factores, la distancia de enfoque ∞ podría no seleccionarse cuando la cámara está enfocando un objeto lejano.	—
③ Marca de distancia de enfoque		
④ Panel de información del objetivo	Visualice la distancia de enfoque, la profundidad del campo, así como otro tipo de información.	Consulte B (□76), C (□78)
⑤ Índice de rotación del objetivo	Utilizar al girar la cámara de la orientación de paisaje a la orientación de retrato o viceversa.	Consultar D (□80)
⑥ Índice de rotación del collar del trípode		
⑦ Anillo de control	Gire para configurar un ajuste tal como Diafragmas o Compensación exposición asignado usando la cámara. Para obtener más información, consulte la descripción de Asignación control personalizado en el manual de la cámara.	—
⑧ Marca de montaje de objetivo	Utilizar al montar el objetivo en la cámara.	Consultar A (□76)
⑨ Junta de goma de montaje del objetivo	—	—
⑩ Contactos de CPU	Se utiliza para transferir datos a y desde la cámara.	—



Es



<p>⑪ Botón L-Fn</p>	<p>Pulse para ejecutar una función asignada utilizando la cámara. Para obtener más información, consulte la descripción de Asignación control personalizado en el manual de la cámara.</p>	<p>—</p>
<p>⑫ Botón de visualización</p>	<p>Guarda la configuración o seleccione la información que aparecerá en el panel de información del objetivo.</p>	<p>Consulte B (☐76), C (☐78)</p>
<p>⑬ Anillo del collar del trípode</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>⑭ Índice de rotación del objetivo (90°)</p>	<p>Utilizar al girar la cámara de la orientación de paisaje a la orientación de retrato o viceversa.</p>	<p>Consultar D (☐80)</p>
<p>⑮ Índice de rotación del collar del trípode (90°)</p>		
<p>⑯ Tornillo de fijación del anillo del collar del trípode</p>		
<p>⑰ Collar para trípode giratorio integrado</p>	<p>Utilizar cuando la cámara esté montada en un trípode.</p>	
<p>⑱ Ranura de seguridad (para el cable antirrobo)</p>	<p>Se pueden conectar a esta ranura cables antirrobo de terceros. Para obtener más información, consulte la documentación suministrada con el cable.</p>	<p>—</p>
<p>⑲ Parasol de objetivo</p>	<p>Los parasoles bloquean la luz directa que de otro modo causaría destellos o efecto fantasma. También sirven para proteger el objetivo.</p>	<p>Consultar E (☐81)</p>
<p>⑳ Tapa delantera del objetivo</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>㉑ Tapa trasera del objetivo</p>	<p>—</p>	<p>—</p>

A Instalación y desinstalación

Instalación del objetivo

- 1 Apague la cámara, retire la tapa del cuerpo y extraiga la tapa trasera del objetivo.
- 2 Coloque el objetivo en el cuerpo de la cámara, manteniendo la marca de montaje del objetivo alineada con la marca de montaje del cuerpo de la cámara y, a continuación, gire el objetivo en sentido antihorario hasta que haga clic en su lugar.
 - Le recomendamos que instale el parasol para proteger el objetivo durante el uso.

Desinstalación del objetivo

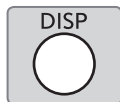
- 1 Apague la cámara.
- 2 Mantenga pulsado el botón de liberación del objetivo mientras gira el objetivo en sentido horario.

Es

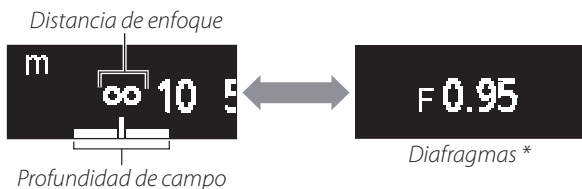
B El panel de información del objetivo

El panel de información del objetivo se ilumina al instalar un objetivo en la cámara y si la cámara está encendida.

Pulse el botón de visualización para alternar la pantalla tal como se muestra:



Botón de visualización



* *Diafragmas se visualiza solamente cuando la cámara se encuentra en el modo **A** o **M**. La visualización para el resto de modos se indica en la ilustración.*



- El panel se apaga automáticamente cuando expire el temporizador de espera de la cámara o si no usa el objetivo durante aproximadamente 10 segundos. Pulse el botón de visualización para reactivar la pantalla.

El panel de información del objetivo

La distancia de enfoque, la profundidad del campo, así como otro tipo de información visualizada en el panel de información del objetivo son solo referencias.

Bokeh irregular

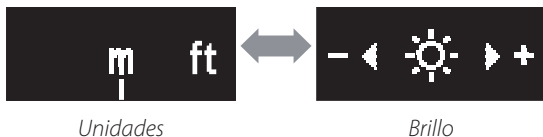
Con velocidades de obturación rápidas y/o diafragmas grandes, es posible que note irregularidades en la forma del *bokeh*. El efecto puede mitigarse eligiendo velocidades de obturación más lentas y/o números f más altos.

C Opciones del panel

Siga los pasos indicados a continuación para seleccionar las unidades correspondientes a la distancia de enfoque en metros (**m**) o pies (**ft**), o para ajustar el brillo del panel de información del objetivo.

1 Mantenga pulsado el botón de visualización para ver los ajustes.

- Se visualizarán las opciones de selección de la unidad o el brillo. El elemento actualmente seleccionado parpadea.
- Pulse el botón de visualización para alternar entre las pantallas.



Es

2 Seleccione un ajuste usando el anillo de control del objetivo.

Unidades



- Gire el anillo de control para seleccionar entre metros (**m**) o pies (**ft**).



Brillo

- Gire el anillo de control en la dirección "+" (más brillante) o "-" (más oscuro).
- Seleccione entre 6 niveles de brillo.




- Para desactivar el panel de información del objetivo, gire el anillo en la dirección “-” hasta que el icono  cambie a .



- Pulse el botón de visualización para guardar los cambios y alternar la pantalla.
- Si no realiza ninguna operación con los controles del objetivo durante aproximadamente 5 segundos, las opciones del panel desaparecen de la visualización y los cambios se cancelan.

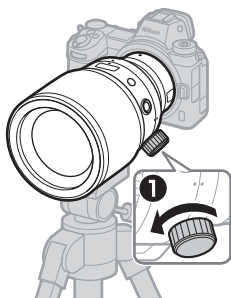
3 Mantenga pulsado el botón de visualización para volver a la pantalla de información del objetivo.

- Seleccionar  para el brillo apaga el panel de información del objetivo. Para volver a encender la pantalla, mantenga pulsado el botón de visualización.

D El collar para trípode giratorio integrado

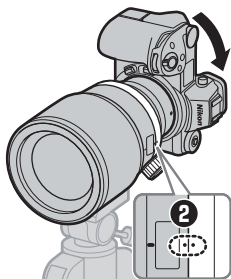
- Instale trípodes en el collar para trípode giratorio integrado, no en la cámara.
- Colocar los trípodes en el collar para trípode giratorio integrado en lugar de en la cámara permite a la cámara girar tal y como se describe a continuación mientras está unida a un trípode.

- 1 Afloje el tornillo de fijación del anillo del collar del trípode (1).

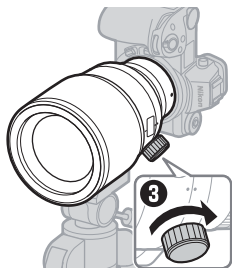


- 2 Gire la cámara (2) para alinear el índice de rotación del objetivo con el índice de rotación del collar del trípode que coincida con la orientación deseada (paisaje o retrato).

- Al girar la cámara, preste atención para evitar que la mano que sostiene la cámara entre en contacto con el trípode.



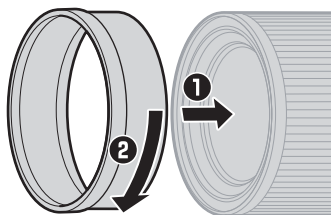
- 3** Apriete el tornillo de fijación del anillo del collar del trípode (**3**).



- Para obtener información sobre la extracción del collar para trípode giratorio integrado, póngase en contacto con un representante del servicio técnico autorizado de Nikon.

E Instalación y extracción del parasol

El parasol se enrosca directamente en las roscas de la parte frontal del objetivo. No toque la superficie de cristal del objetivo ni utilice demasiada fuerza.

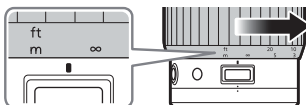


- Para extraer el parasol, desenrosquelo del objetivo.

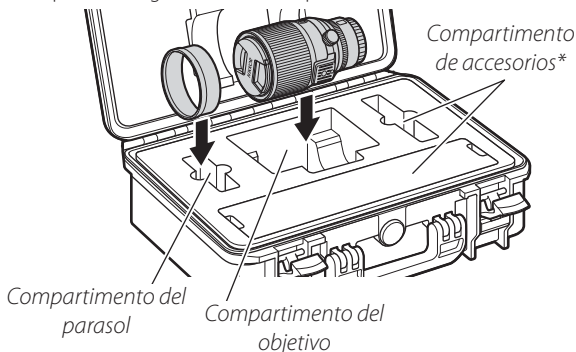
Colocación del objetivo en su maletín

Siga los pasos indicados a continuación para colocar el objetivo en su maletín.

- 1 Gire el anillo de enfoque a la posición indicada.
 - No introduzca el objetivo en el maletín mientras está extendido.



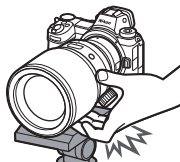
- 2 Confirme que las tapas del objetivo delantera y trasera están instaladas.
- 3 Retire el parasol.
- 4 Coloque el parasol y el objetivo en el maletín tal y como se muestra.
 - Invierta los pasos descritos en el apartado "Apertura del maletín" (p. 67) para cerrar y bloquear la tapa. Asegúrese de que los bloqueos de seguridad están acoplados.



* Los objetos situados en el compartimento de accesorios no están cubiertos por la garantía.

Precauciones de uso

- Asegúrese de mantener apoyado el objetivo al sujetar la cámara. Si se hace caso omiso de esta precaución, podría dañar la montura del objetivo de la cámara.
- No levante ni sujete el objetivo por su sección telescópica.
- No recoja o sujete el objetivo o la cámara usando solamente el parasol.
- Mantenga los contactos de CPU limpios.
- Cuando utilice un trípode con un cabezal de barrido grande, tenga cuidado al girar el anillo de enfoque para no lesionarse los dedos atrapándolos entre el anillo y el cabezal de barrido.



- Si se daña la junta de goma de montaje del objetivo, deje de usarlo inmediatamente y lleve el objetivo al servicio técnico autorizado de Nikon para repararlo.
- Vuelva a colocar las tapas delantera y trasera del objetivo cuando no utilice el objetivo.
- Para proteger el interior del objetivo, guárdelo fuera del alcance de la luz directa del sol.
- No deje el objetivo en lugares con mucha humedad o en aquellos lugares en los que pueda estar expuesto a la humedad. El óxido en los mecanismos internos puede producir daños irreparables.
- No deje el objetivo junto a llamas o en un lugar extremadamente caliente. El calor extremo podría dañar o deformar las piezas hechas de plástico reforzado.
- Los cambios rápidos de temperatura podrían provocar condensación dañina dentro y fuera del objetivo. Antes de transportar el objetivo de un ambiente frío a otro caliente o viceversa, colóquelo en una bolsa o estuche de plástico para atenuar el cambio de temperatura.
- Retire el objetivo de la cámara y colóquelo en el maletín suministrado para el transporte.

Cuidado del objetivo

- Retirar el polvo es, por norma general, suficiente para limpiar las superficies de cristal del objetivo.
- *El elemento del objetivo delantero recubierto de flúor* puede limpiarse de la manera descrita a continuación.
 - Las manchas grasientas, las huellas dactilares y otras manchas pueden eliminarse con un paño de algodón suave y limpio; limpie desde el centro hacia afuera usando movimientos circulares.
 - Para eliminar las manchas más persistentes, limpie cuidadosamente con un paño suave ligeramente humedecido con una pequeña cantidad de agua destilada, etanol o limpiador de objetivos.
 - Cualquier marca en forma de gota que quede de este proceso en la superficie repelente al agua y al aceite puede eliminarse posteriormente con un paño seco.
- *Al limpiar el elemento trasero del objetivo, que no tiene revestimiento de flúor*, elimine las manchas grasientas, las huellas dactilares y otras manchas con un paño de algodón suave y limpio o papel de limpieza para objetivos humedecido ligeramente con una pequeña cantidad de etanol o limpiador de objetivos. Limpie con cuidado desde el centro hacia el exterior con movimientos circulares, teniendo cuidado de no dejar manchas ni de tocar el objetivo con los dedos.
- Nunca use solventes orgánicos como el disolvente de pintura o benceno para limpiar el objetivo.
- Los filtros de color neutro (NC) (disponibles por separado) y similares pueden usarse para proteger el elemento del objetivo delantero. Retire el parasol antes de colocar o extraer filtros.
- Si el objetivo no se va a usar durante un periodo prolongado de tiempo, guárdelo en un lugar frío y seco para evitar la formación de moho y corrosión. No lo guarde a la luz solar directa o con bolas para polilla de alcanfor o de naftalina.

Es

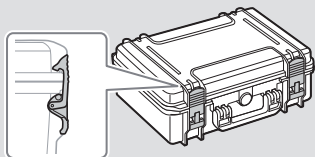
Accesorios

Accesorios suministrados

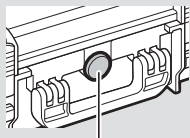
- Tapa frontal a presión del objetivo de 82 mm LC-82B
- Tapa trasera del objetivo LF-N1
- Parasol de rosca HN-38
- Maletín CT-101

✓ Uso del maletín

- Nikon no asume ninguna responsabilidad si los daños en el maletín causan daños a sus contenidos.
- Al almacenar el maletín, cierre los bloqueos de seguridad de los pestillos. Confirme que los pestillos estén debidamente cerrados como se muestra en la ilustración.



- No deje el maletín durante largos períodos de tiempo en lugares húmedos o bajo la luz directa del sol. La exposición prolongada a la humedad o a la luz directa del sol podría causar que el almohadillado interior se endurezca o difumine.
- No guarde el maletín en zonas expuestas a temperaturas extremas. Si se hace caso omiso de esta precaución, podría causar que el almohadillado interior se deforme, encoja o despegue.
- Evite tocar directamente el maletín después de exponerlo a temperaturas extremas. Si se hace caso omiso de esta precaución, puede causar quemaduras, quemaduras de primer grado o de congelación.
- No se sienta ni coloque objetos pesados sobre el maletín.
- Mantenga el maletín y sus accesorios fuera del alcance de los niños.
- Mantenga las manos alejadas de las piezas móviles al abrir o cerrar el maletín.
- No deje el maletín en lugares inestables o donde pueda caerse.
- No utilice nunca disolventes orgánicos, tales como alcohol, benceno o diluyente de pintura para limpiar el maletín.
- No raye ni frote la superficie del maletín con objetos duros.
- No intente desmontar, reparar o modificar el maletín.
- La válvula de compensación de presión no gira. Aplicar una fuerza excesiva sobre la válvula puede causar lesiones o dañar el producto.
- No permita que el maletín se caiga, no lo manipule con una fuerza excesiva ni lo someta a golpes o vibraciones.
- Nikon no repara el maletín.



Válvula de compensación de presión

Especificaciones

NIKKOR Z 58 mm f/0.95 S Noct

Montura	Montura Z de Nikon
Distancia focal	58 mm
Diafragma máximo	f/0.95
Construcción de objetivo	17 elementos en 10 grupos (incluyendo 4 elementos ED, 3 elementos esféricos y elementos con revestimientos de nanocrystal y ARNEO, y un elemento de lente frontal recubierto de flúor)
Ángulo de visión	<ul style="list-style-type: none">• Formato FX: 40° 50'• Formato DX: 27° 20'
Sistema de enfoque	Sistema de enfoque delantero
Distancia de enfoque mínima	0,5 m (1,64 pies) desde el plano focal
Relación de reproducción máxima	0,19x
Cuchillas del diafragma	11 (apertura de diafragma redondeada)
Alcance de diafragma	f/0.95 – 16
Tamaño de accesorio del filtro	82 mm (P = 0,75 mm)
Dimensiones	Aprox. 102 mm/4,1 pulg. de diámetro máximo × 153 mm/6,1 pulg. (distancia a partir de la pletina de montaje del objetivo)
Peso	Aprox. 2000 g (4 lb 6,6 oz)

Es

Maletín CT-101

Tipo	Maletín de estilo agregado
Dimensiones externas	Aprox. 464 mm × 366 mm × 176 mm (1 pie 6,3 pulg. × 1 pie 2,5 pulg. × 7 pulg.)
Dimensiones internas	Aprox. 426 mm × 290 mm × 159 mm (1 pie 4,8 pulg. × 11,5 pulg. × 6,3 pulg.)
Peso	Aprox. 3040 g (6 lb 10,7 oz) , incluyendo el almohadillado interno
Materiales	<ul style="list-style-type: none">• Cuerpo: Polipropileno• Pestillo: Nylon

Nikon se reserva el derecho de cambiar el aspecto, las especificaciones y el rendimiento de este producto en cualquier momento y sin previo aviso.

Es

⚠ Cuidados e Manuseamento

A objetiva é um instrumento ótico de alta precisão. Para garantir o desempenho contínuo, evite submeter o produto a choques físicos durante o manuseamento.

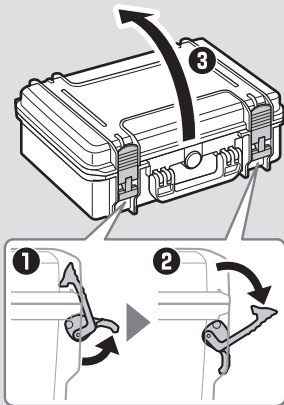
Antes de utilizar este produto, por favor leia com atenção estas instruções. Também terá de consultar o manual da câmara.

- Esta objetiva destina-se exclusivamente a ser utilizada com câmaras sem espelho de encaixe Z da Nikon.
- Esta é uma objetiva de focagem manual. Independentemente do modo de focagem selecionado com a câmara, a focagem tem de ser ajustada manualmente quando esta objetiva está montada.

Abrir a Mala Estruturada

Para abrir a mala estruturada:

- 1** Colocar a mala estruturada numa superfície estável.
- 2** Libertar os bloqueios de segurança (1) e abrir os fechos (2).
- 3** Abrir a tampa (3).
 - Abra a tampa lentamente.
 - Tenha cuidado para que os seus dedos não fiquem presos nas partes móveis da mala.
 - A tampa e o corpo da mala formam um fecho apertado, e pode ser por vezes necessário segurar o corpo com segurança enquanto abre a tampa.



Para Sua Segurança

Para evitar danos a propriedade ou danos a si ou outros, leia integralmente “Para Sua Segurança” antes de utilizar este produto.

Mantenha estas instruções de segurança onde todos os que usam o produto as possam ler.

⚠ AVISO: A não observância das precauções marcadas com este ícone pode resultar em morte ou lesões graves.

⚠ ATENÇÃO: A não observância das precauções marcadas com este ícone pode resultar em lesões ou danos a propriedade.

⚠ AVISO

- **Não desmontar nem modificar este produto.**

Não toque nas peças internas que fiquem expostas como resultado de queda ou outro acidente.

A não observância destas precauções pode resultar em choque elétrico ou outras lesões.

- **Se notar quaisquer anomalias, tais como produção de fumo, calor ou cheiros incomuns, desconectar imediatamente a fonte de alimentação câmara.**

A operação continuada pode resultar em incêndio, queimaduras ou outras lesões.

- **Manter seco.**

Não manuseie com as mãos molhadas.

A não observância destas precauções pode resultar em incêndio ou choque elétrico.

- **Não utilizar este produto na presença de pó ou gás inflamável como propano, gasolina ou aerossóis.**

A não observância desta precaução pode resultar em explosão ou incêndio.

AVISO

- **Não olhar diretamente para o sol ou outra fonte de iluminação forte através da objetiva.**

A não observância desta precaução pode resultar em perda de visão.

- **Manter este produto fora do alcance das crianças.**

A não observância desta precaução pode resultar em lesões ou avaria do produto. Para além disso, note que as peças pequenas constituem um risco de asfixia. Se uma criança engolir qualquer peça deste produto, procure imediatamente cuidados médicos.

- **Não manusear com as mãos desprotegidas em locais expostos a temperaturas extremamente altas ou baixas.**

A não observância desta precaução pode resultar em queimaduras ou frieiras.

ATENÇÃO

- **Não deixar a objetiva apontada para o sol ou outras fontes de iluminação fortes.**

A luz focada pela objetiva pode causar fogo ou danos às peças internas do produto. Ao fotografar motivos em contraluz, mantenha o sol bem fora do enquadramento.

- **Não deixar o produto onde este será exposto a temperaturas extremamente altas por um longo período de tempo tal como num automóvel fechado ou sob luz solar direta.**

A não observância desta precaução pode resultar em incêndio ou avaria do produto.

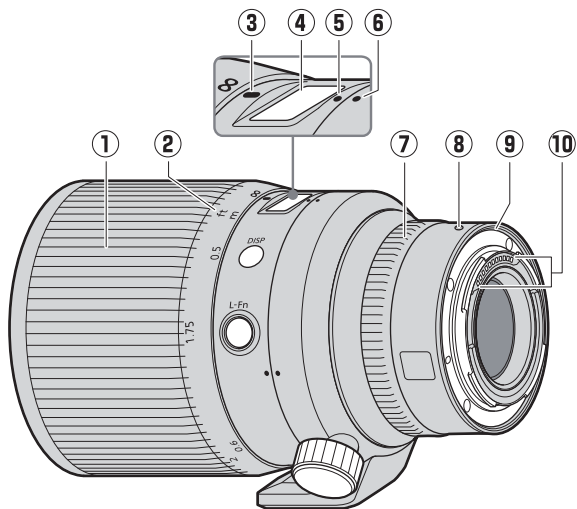
- **Não transportar câmaras nem lentes com tripés ou acessórios semelhantes montados.**

A não observância desta precaução pode resultar em lesões ou avaria do produto.

Usar a Objetiva

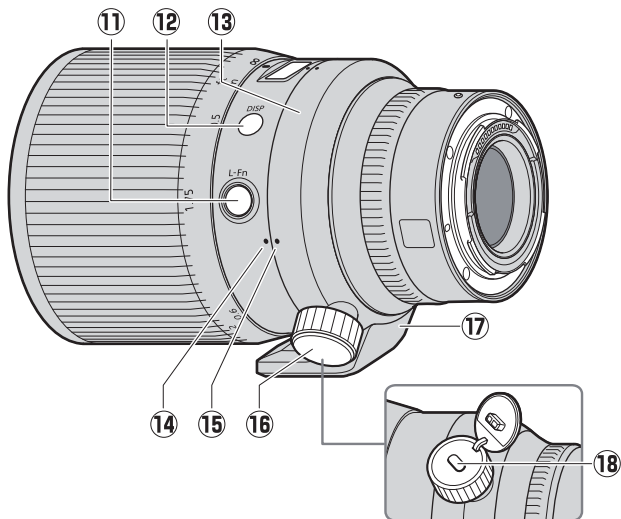
Peças da Objetiva: Nomes e Funções

Consulte abaixo os nomes e funções das peças da objetiva.

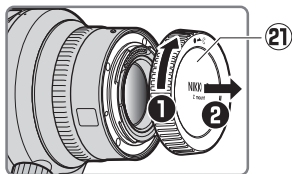
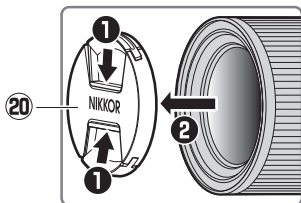
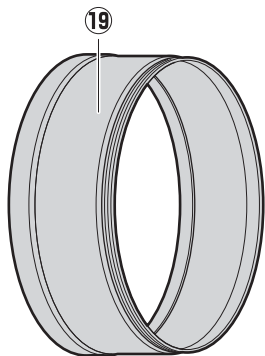


Pt

① Anel de focagem	Rode para focar manualmente.	—
② Indicador de distância de focagem	Verifique a distância de focagem (a distância aproximada entre o sensor de imagem e o motivo). • Note que o indicador da distância de focagem foi concebido apenas como um guia e pode não mostrar com exatidão a distância ao motivo. Devido à profundidade de campo ou outros fatores, a distância de focagem ∞ pode não ser selecionada quando a câmara está focada num objeto distante.	—
③ Marca da distância de focagem		
④ Painel de informações na objetiva	Visualize a distância de focagem, profundidade de campo e outras informações.	Consultar B (□96), C (□98)
⑤ Índice de rotação da objetiva	Utilize ao rodar a câmara da orientação de paisagem para retrato ou vice-versa.	Consultar D (□100)
⑥ Índice de rotação do colar do tripé		
⑦ Anel de controlo	Rode para ajustar uma definição atribuída utilizando a câmara, como Abertura ou Compensação de exposição . Para obter mais informações, consulte a descrição de Atrib. de controlo personaliz. no manual da câmara.	—
⑧ Marca de montagem da objetiva	Utilize quando montar a objetiva na câmara.	Consultar A (□96)
⑨ Junta de borracha da montagem da objetiva	—	—
⑩ Contactos CPU	Utilizado para transferir dados para e da câmara.	—



Pt



<p>11 Botão L-Fn</p>	<p>Prima para executar uma função atribuída ao utilizar a câmara. Para obter mais informações, consulte a descrição de Atrib. de controlo personaliz. no manual da câmara.</p>	<p>—</p>
<p>12 Botão de visualização</p>	<p>Guarde definições ou escolha a informação apresentada no painel de informações na objetiva.</p>	<p>Consultar B (☐96), C (☐98)</p>
<p>13 Anel do colar do tripé</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>14 Índice de rotação da objetiva (90°)</p>	<p>Utilize ao rodar a câmara da orientação de paisagem para retrato ou vice-versa.</p>	<p>Consultar D (☐100)</p>
<p>15 Índice de rotação do colar do tripé (90°)</p>		
<p>16 Parafuso de montagem do anel do colar do tripé</p>		
<p>17 Colar do tripé rotativo incorporado</p>	<p>Utilize quando a câmara está montada num tripé.</p>	<p>—</p>
<p>18 Ranhura de segurança (para cabo anti-roubo)</p>	<p>Podem ser conectados a esta ranhura cabos anti-roubo de outros comerciantes. Para obter mais informações, consulte a documentação fornecida com o cabo.</p>	<p>—</p>
<p>19 Para-sol da objetiva</p>	<p>Os para-sóis da objetiva bloqueiam a luz dispersa que causaria de outro modo reflexo ou efeito fantasma. Estes servem também para proteger a objetiva.</p>	<p>Consultar E (☐101)</p>
<p>20 Tampa da objetiva frontal</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>21 Tampa traseira da objetiva</p>	<p>—</p>	<p>—</p>

A Montagem e Remoção

Montar a Objetiva

- 1 Desligue a câmara, remova a tampa do corpo e retire a tampa da objetiva traseira.
- 2 Posicione a objetiva no corpo da câmara, mantendo a marca de montagem da objetiva alinhada com a marca de montagem do corpo da câmara e, em seguida, rode a objetiva no sentido contrário ao dos ponteiros do relógio até que se encaixe no lugar.
 - Recomendamos que monte o para-sol da objetiva para proteger a objetiva durante a utilização.

Remover a Objetiva

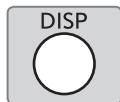
- 1 Desligue a câmara.
- 2 Prima continuamente o botão de disparo da objetiva enquanto roda a objetiva no sentido dos ponteiros do relógio.

Pt

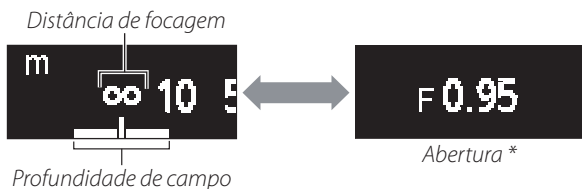
B O Painel de Informações na Objetiva

O painel de informações na objetiva acende-se quando a objetiva está montada na câmara e a câmara está ligada.

Prima o botão de visualização para percorrer os ecrãs conforme mostrado:



Botão de visualização



* A abertura é apresentada apenas quando a câmara está no modo **A** ou **M**. O ecrã para outros modos é mostrado na ilustração.

F AUTO

- O painel desliga-se automaticamente quando o temporizador de espera da câmara expira ou se não forem executadas operações na objetiva durante cerca de 10 segundos. Prima o botão de visualização para reativar o ecrã.

O Painel de Informações na Objetiva

A distância de focagem, profundidade de campo e qualquer outra informação visualizada no painel de informações na objetiva são apenas aproximações.

Bokeh Irregular

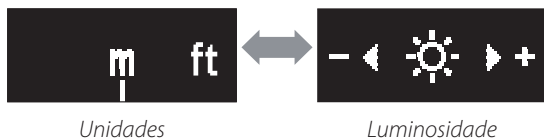
A velocidades rápidas do obturador e/ou aberturas amplas, poderá notar irregularidades na forma como o *bokeh* é formado. O efeito pode ser atenuado escolhendo velocidades do obturador mais lentas e/ou números *f* mais altos.

C Opções do Painel

Siga os passos abaixo para escolher as unidades de distância de focagem entre metros (**m**) ou pés (**ft**) ou ajuste a luminosidade do painel de informações na objetiva.

1 Prima e segure o botão de visualização para visualizar as definições.

- São exibidas as opções de seleção de unidades ou luminosidade. O item atualmente selecionado pisca.
- Prima o botão de visualização para comutar entre ecrãs.



2 Escolha uma definição utilizando o anel de controlo da objetiva.

Pt

Unidades



- Rode o anel de controlo para escolher entre metros (**m**) ou pés (**ft**).




Luminosidade

- Rode o anel de controlo na direção "+" (mais claro) ou "-" (mais escuro).
- Escolha entre 6 níveis de luminosidade.



- Para desligar o painel de informações na objetiva, rode o anel na direção “-” até que o ícone  mude para .

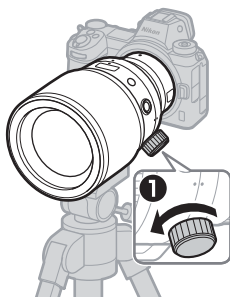


- Prima o botão de visualização para guardar as alterações e comutar o ecrã.
 - Se não forem efetuadas operações utilizando os controlos da objetiva durante cerca de 5 segundos, as opções do painel deixarão de ser apresentadas no ecrã e as alterações serão canceladas.
- 3** Pressione e segure o botão de visualização para voltar ao ecrã de informações da objetiva.
- Escolher  para a luminosidade desliga o painel de informações na objetiva. Para voltar a ligar o ecrã, prima e mantenha premido o botão de visualização.

D O Colar do Tripé Rotativo Incorporado

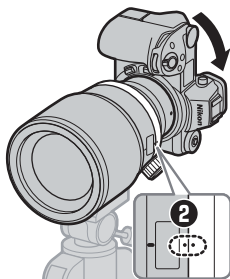
- Monte os tripés no colar do tripé rotativo incorporado, não na câmara.
- Montar tripés no colar do tripé rotativo incorporado em vez de na câmara permite que a câmara seja rodada conforme descrito abaixo enquanto está montado um tripé.

- 1** Desaperte o parafuso de montagem do anel do colar do tripé (1).

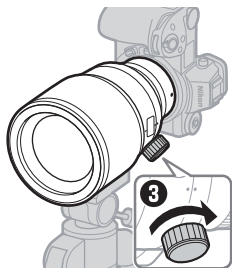


- 2** Rode a câmara (2) para alinhar o índice de rotação da objetiva com o índice de rotação do colar do tripé que corresponde à orientação pretendida (paisagem ou retrato).

- Ao rodar a câmara, pode ser necessário ter cuidado para evitar que a mão que segura a câmara entre em contacto com o tripé.



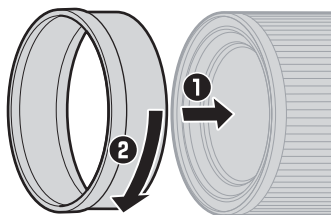
- 3** Aperte o parafuso de montagem do anel do colar do tripé (3).



- Para obter informações sobre como remover o colar do tripé rotativo incorporado, entre em contacto com um representante de assistência autorizado da Nikon.

E Montar e Remover o Para-sol da Objetiva

O para-sol da objetiva enrosca-se diretamente na rosca na parte frontal da objetiva. Não toque na superfície de vidro da objetiva nem exerça força excessiva.

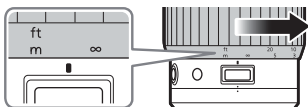


- Para remover o para-sol, desenrosque-o da objetiva.

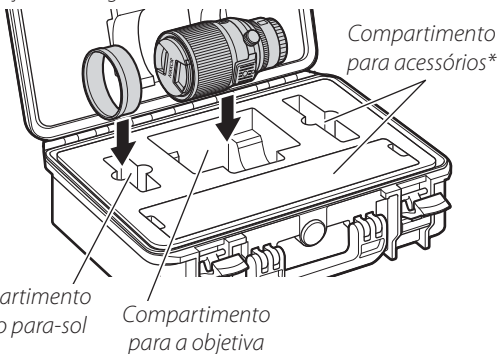
Colocar a Objetiva na Sua Mala

Siga os passos abaixo para colocar a objetiva na sua mala.

- 1 Rode o anel de focagem para a posição mostrada.
 - A objetiva não pode ser colocada na mala enquanto prolongada.



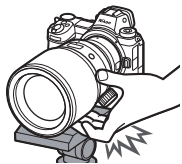
- 2 Confirme se as tampas frontal e traseira da objetiva estão colocadas.
- 3 Remova o para-sol da objetiva.
- 4 Coloque a objetiva e o para-sol na mala conforme mostrado.
 - Inverta os passos em "Abrir a Mala Estruturada" (☞89) para fechar e bloquear a tampa. Certifique-se de que os bloqueios de segurança estão engatados.



* Itens colocados no compartimento para acessórios não estão cobertos pela garantia.

Precauções de Utilização

- Certifique-se de que apoia a objetiva ao segurar a câmara. A não observância desta precaução pode danificar a câmara ou a montagem da objetiva.
- Não pegue nem segure na objetiva pela secção telescópica.
- Não pegue nem segure a objetiva ou a câmara utilizando apenas o para-sol da objetiva.
- Mantenha os contactos CPU limpos.
- Ao utilizar um tripé com uma cabeça panorâmica grande, tenha cuidado ao rodar o anel de focagem para evitar lesões causadas por entalar os dedos entre o anel e a cabeça panorâmica.



- Se a junta de borracha da montagem da objetiva ficar danificada, cesse a utilização imediatamente e leve a objetiva a um centro de assistência autorizado da Nikon para reparação.
- Recoloque as tampas da objetiva frontal e traseira quando a objetiva não estiver a ser utilizada.
- Para proteger o interior da objetiva, guarde-a longe de luz solar direta.
- Não deixe a objetiva em locais húmidos ou em locais onde possa estar exposta a humidade. A ferrugem do mecanismo interno pode causar danos irreparáveis.
- Não deixe a objetiva perto de chamas ou em outros locais extremamente quentes. O calor excessivo pode danificar ou deformar peças exteriores feitas de plástico reforçado.
- Mudanças bruscas de temperatura podem causar condensação que danifica o interior e o exterior da objetiva. Antes de levar a objetiva de um ambiente quente para o frio ou vice-versa, coloque-a num saco ou caixa de plástico para retardar a mudança de temperatura.
- Remova a objetiva da câmara e coloque-a na mala fornecida para o transporte.

Cuidados com a Objetiva

- Remover o pó é normalmente suficiente para limpar as superfícies de vidro da objetiva.
- *O elemento da objetiva frontal com revestimento de flúor* pode ser limpo como se descreve abaixo.
 - Borrões, impressões digitais e outras manchas oleosas podem ser retiradas com um pano macio e limpo de algodão ou pano de limpeza de objetivas; limpe do centro para fora com um movimento circular.
 - Para remover manchas mais persistentes, limpe cuidadosamente com um pano suave ligeiramente humedecido com uma pequena quantidade de água destilada, etanol ou líquido de limpeza de objetivas.
 - Quaisquer marcas em forma de gota deixadas por este processo na superfície repelente a água e óleo podem ser posteriormente removidas com um pano seco.
- *Ao limpar o elemento traseiro da objetiva, que não tem revestimento de flúor*, remova borrões, impressões digitais e outras manchas gordurosas utilizando um pano de algodão macio e limpo ou um pano de limpeza de objetivas ligeiramente humedecido com uma pequena quantidade de etanol ou líquido de limpeza de objetivas. Limpe suavemente a partir do centro para fora num movimento circular, tomando cuidado para não deixar manchas nem tocar na objetiva com os dedos.
- Nunca utilize solventes orgânicos como diluente ou benzeno para limpar as objetivas.
- Podem ser utilizados filtros de cor neutra (NC, Neutral Color) (disponíveis em separado) e semelhantes para proteger o elemento frontal da objetiva. Remova o para-sol da objetiva antes de montar ou remover filtros.
- Se a objetiva não for utilizada durante um período extenso, armazene num local fresco e seco para evitar bolor e ferrugem. Não armazene sob luz solar direta ou com bolas de naftalina ou cânfora.

Pt

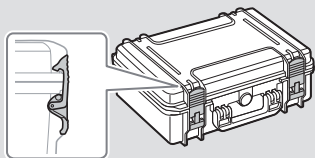
Acessórios

Acessórios Fornecidos

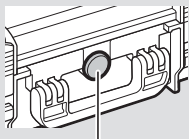
- Tampa Frontal da Objetiva de encaixe de 82 mm LC-82B
- Tampa Traseira da Objetiva LF-N1
- Para-sol da Objetiva de Rosca HN-38
- Mala Estruturada CT-101

✓ Utilizar a Mala Estruturada

- A Nikon não assume qualquer responsabilidade em caso de danos à mala resultarem em danos ao seu conteúdo.
- Ao armazenar a mala estruturada, feche os bloqueios de segurança de fecho. Certifique-se de que os fechos ficam firmemente fechados como mostrado na ilustração.



- Não deixe a mala em locais húmidos ou exposta à luz solar direta durante longos períodos. A exposição prolongada a humidade ou luz solar direta pode fazer com que o acolchoamento interior endureça ou desvaneça.
- Não guarde a mala em locais expostos a temperaturas extremas. A não observância desta precaução pode fazer com que o acolchoamento interno se deforme, encolha ou descasque.
- Evite tocar diretamente na mala após ter sido exposta a temperaturas extremas. A não observância desta precaução pode resultar em queimaduras, queimaduras a baixas temperaturas ou frieiras.
- Não se sente nem coloque objetos pesados em cima da mala.
- Mantenha a mala e os seus acessórios fora do alcance de crianças pequenas.
- Mantenha as mãos afastadas das peças móveis ao abrir ou fechar a mala.
- Não deixe a mala em locais instáveis ou locais onde seja provável que caia.
- Nunca utilize solventes orgânicos, tais como álcool, benzina ou diluente, para limpar a mala.
- Não risque nem esfregue a superfície da mala com objetos duros.
- Não tente desmontar, reparar ou modificar a mala.
- A válvula de equalização de pressão não roda. Aplicar força excessiva na válvula pode causar ferimentos ou danos no produto.
- Não deixe cair a mala, não a manuseie com demasiada força nem a sujeite a choques físicos violentos ou vibração.
- A Nikon não fará reparações na mala estruturada.



Válvula de equalização de pressão

Especificações

NIKKOR Z 58 mm f/0.95 S Noct

Encaixe	Encaixe Z da Nikon
Distância focal	58 mm
Abertura máxima	f/0.95
Construção da objetiva	17 elementos em 10 grupos (incluindo 4 elementos ED, 3 elementos esféricos e elementos com revestimento de Nano Crystal e ARNEO e um elemento de objetiva frontal com revestimento de flúor)
Ângulo de visão	<ul style="list-style-type: none">• Formato FX: 40° 50'• Formato DX: 27° 20'
Sistema de focagem	Sistema de focagem frontal
Distância de focagem mínima	0,5 m a partir do plano focal
Razão de reprodução máxima	0,19×
Lâminas do diafragma	11 (abertura redonda do diafragma)
Alcance da abertura	f/0.95 – 16
Tamanho do filtro	82 mm (P = 0,75 mm)
Dimensões	Aprox. 102 mm de diâmetro máximo × 153 mm (distância do rebordo de montagem da objetiva da câmara)
Peso	Aprox. 2000 g

Mala Estruturada CT-101

Tipo	Mala estilo attaché
Dimensões externas	Aprox. 464 mm × 366 mm × 176 mm
Dimensões internas	Aprox. 426 mm × 290 mm × 159 mm
Peso	Aprox. 3040 g, incluindo o acolchoamento interno
Materiais	<ul style="list-style-type: none">• Corpo: Polipropileno• Fecho: Nylon

A Nikon reserva-se o direito de alterar a aparência, especificações e desempenho deste produto a qualquer momento e sem aviso prévio.

Pt

使用产品前请仔细阅读本使用说明书。

⚠维护与操作

本镜头为高精度光学仪器。为确保持续可靠的性能，操作过程中，请避免让本产品遭受碰撞。

在使用本产品前，请仔细阅读这些指南。您还需要查阅照相机说明书。

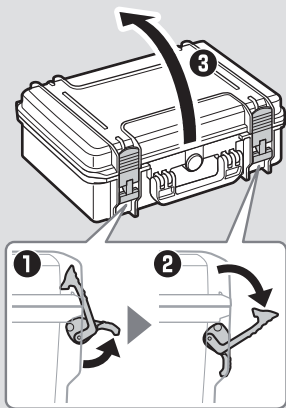
- 本镜头专供带有尼康Z卡口的微型单电相机使用。
- 这是一款手动对焦镜头。无论使用照相机选择了何种对焦模式，安装了该镜头时，对焦都必须手动进行调整。

打开镜头箱

打开镜头箱的步骤如下：

- 1 将镜头箱置于平稳的表面。
- 2 释放锁闩安全锁 (①) 并打开锁闩 (②)。
- 3 打开盖子 (③)。

- 慢慢打开盖子。
- 请小心不要被镜头箱的可移动部件夹住手指。
- 镜头箱的盖子和箱体形成密封，打开盖子时有时可能需要牢牢握紧箱体。



安全须知


为预防对您或他人造成人身伤害或财产损失，请在使用前仔细阅读“安全须知”，并以正确的方法使用。

请在阅读之后妥善保管本使用说明书，以便随时查阅。

 **警告** 表示“有可能造成人员死亡或负重伤的内容”。

 **注意** 表示“有可能造成人员负轻伤或财产损失的内容”。


本节使用以下图示和符号对必须遵守的内容作以分类。

 表示不允许进行的行为。

 表示必须进行的行为。


警告

切勿自行拆解、修理或改装。当产品由于


 **禁止拆解** 跌落等原因而破损使得内部外露时，切勿触碰外露部分。

否则将导致触电或受伤。


当发现产品变热、冒烟或发出焦味等异常

 **执行** 时，请立刻切断照相机电源。

若放任不管，将导致起火或烫伤。

 **禁止** 切勿使产品被水淋湿。切勿用湿手触碰产品。否则将导致触电或起火。

切勿在有可能起火、爆炸的场所使用。

 **禁止** 若有丙烷气、汽油、可燃性喷雾剂等易燃性气体、粉尘的场所使用产品，将导致爆炸或火灾。

警告



禁止

切勿透过镜头直接观看太阳或其他强光。
否则将导致失明或视觉损伤。



禁止

切勿在婴幼儿伸手可及之处进行保管。
否则将导致故障或受伤。若误吞细小部件，
将会对身体造成伤害。万一意外吞入口中，
请立即接受医生诊疗。



禁止

在高温环境或低温环境中，切勿直接接触产
品。
否则将可能导致烫伤、低温烫伤或冻伤。

注意



禁止

切勿将镜头对着太阳或强光。
否则将有可能聚光，使内部零件破损或导
致起火。进行背光拍摄时，请使太阳充分
偏离视角。



禁止

切勿放置于夏天封闭的车内或直射阳光下等
高温环境中。
否则将导致故障或起火。



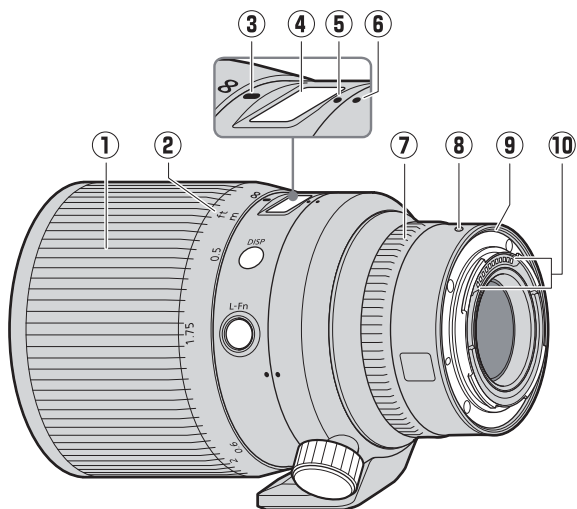
禁止

切勿移动安装有照相机或镜头的三脚架。
否则将导致故障或受伤。

使用镜头

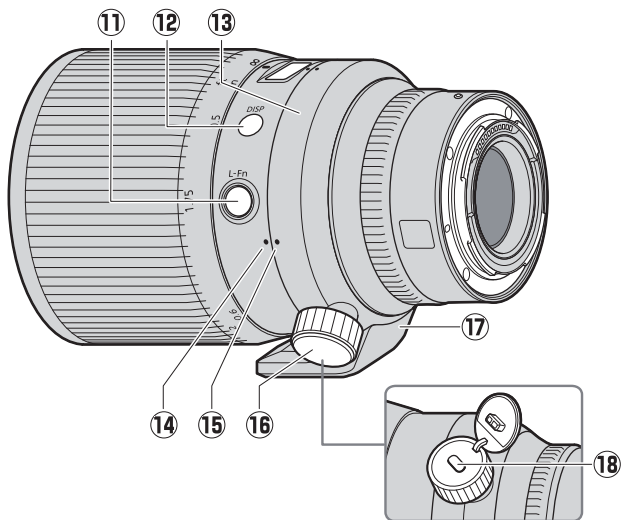
镜头部件：名称和功能

有关镜头部件的名称和功能，请参阅下文。

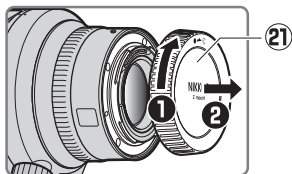
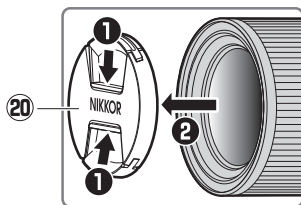
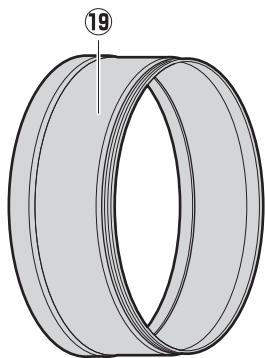


Sc

① 对焦环	旋转可手动进行对焦。	—
② 对焦距离指示	确认对焦距离（影像传感器和拍摄对象之间的近似距离）。 · 请注意，对焦距离指示仅用作参考，并且可能无法正确反映与拍摄对象的距离。由于景深或其他因素的影响，照相机对焦于远距离物体时，对焦距离∞可能无法选择。	—
③ 对焦距离标记		
④ 镜头信息面板	查看对焦距离、景深和其他信息。	参阅 B (□116)、 C (□118)
⑤ 镜头旋转标记	将照相机从风景方向旋转至人像方向或从人像方向旋转至风景方向时使用。	参阅 D (□120)
⑥ 三脚架固定座旋转标记		
⑦ 控制环	旋转可调整使用照相机所指定的 光圈 或 曝光补偿 等设定。有关详细信息，请参阅照相机说明书中 自定义控制功能 的相关说明。	—
⑧ 镜头安装标记	将镜头安装至照相机时使用。	参阅 A (□116)
⑨ 镜头卡口橡胶垫圈	—	—
⑩ CPU 接点	用于将数据传送至照相机或从照相机中传送数据。	—



Sc



⑪ L-Fn 按钮	按下可执行使用照相机所指定的功能。有关详细信息，请参阅照相机说明书中 自定义控制功能 的相关说明。	—
⑫ 显示按钮	保存设定或选择镜头信息面板中所示的信息。	参阅 B (□116)、 C (□118)
⑬ 三脚架固定座环	—	—
⑭ 镜头旋转标记 (90°)	将照相机从风景方向旋转至人像方向或从人像方向旋转至风景方向时使用。	参阅 D (□120)
⑮ 三脚架固定座旋转标记 (90°)		
⑯ 三脚架固定座环安装齿圈		
⑰ 内置旋转式三脚架固定座		
⑱ 安全插槽 (用于防盗线)	第三方防盗线可连接至该插槽。有关详细信息，请参阅防盗线随附的文档。	—
⑲ 镜头遮光罩	镜头遮光罩可阻挡可能导致杂光或鬼影的散射光线。它们还可用于保护镜头。	参阅 E (□121)
⑳ 镜头前盖	—	—
㉑ 镜头后盖	—	—

A 安装与取下

安装镜头

- 1 关闭照相机，取下机身盖，然后取下镜头后盖。
- 2 将镜头上的安装标记与照相机机身上的安装标记对齐，同时将镜头置于照相机机身上，然后逆时针旋转镜头直至其卡入正确位置发出咔嗒声。
 - 建议您安装镜头遮光罩以在使用过程中保护镜头。

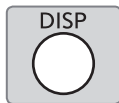
取下镜头

- 1 关闭照相机。
- 2 按住镜头释放按钮并同时顺时针旋转镜头。

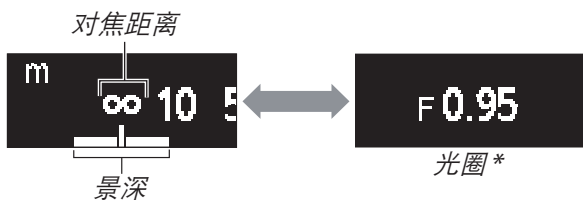
B 镜头信息面板

当镜头安装于照相机且照相机处于开启状态时，镜头信息面板会点亮。

按下显示按钮可如下所示循环显示：



显示按钮



* 仅当照相机处于模式 **A** 或 **M** 时光圈才会显示。其他模式的显示如图所示。



- 当照相机待机定时器时间耗尽或大约 10 秒未进行镜头操作时，面板会自动关闭。按下显示按钮可重新激活显示。

🔍 镜头信息面板

镜头信息面板中所示的对焦距离、景深和其他信息仅为近似值。

🔍 不规则散景

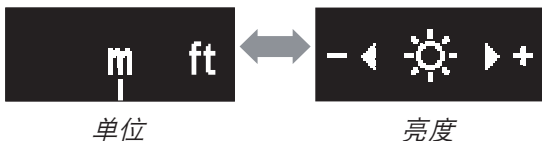
使用高速快门和/或大光圈时，您可能会注意到散景形状不规则。通过选择较低的快门速度和/或较高的 f 值可以减轻这种影响。

③ 面板选项

按照以下步骤可从米 (m) 或英尺 (ft) 中选择对焦距离的单位或者调整镜头信息面板的亮度。

① 按住显示按钮查看设定。

- 屏幕中将显示单位或亮度选择选项。当前所选项将会闪烁。
- 按下显示按钮可切换显示。



② 使用镜头控制环选择一个设定。

单位



- 旋转控制环可从米 (m) 或英尺 (ft) 中进行选择。



亮度

- 朝“+”（更亮）或“-”（更暗）方向旋转控制环。
- 从亮度的6个级别中进行选择。




- 若要关闭镜头信息面板，请朝“-”方向旋转控制环直至  图标变为 。



- 按下显示按钮可保存更改并切换显示。
- 若大约5秒未使用镜头控制执行任何操作，面板选项将从显示中消失且更改将会取消。

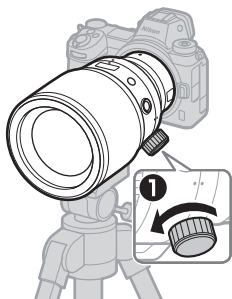
3 按住显示按钮返回镜头信息面板。

- 将亮度选为  会关闭镜头信息面板。若要再次开启显示，请按住显示按钮。

D 内置旋转式三脚架固定座

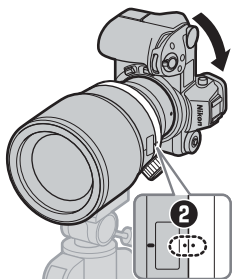
- 请将三脚架安装至内置旋转式三脚架固定座而不是照相机。
- 将三脚架安装至内置旋转式三脚架固定座而不是照相机，这样您可在安装了三脚架时按照下文所述旋转照相机。

- 1 拧松三脚架固定座环安装齿圈 (1)。

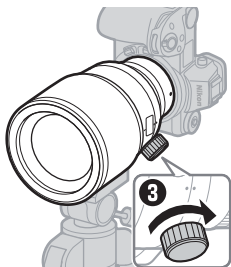


- 2 旋转照相机 (2) 使镜头旋转标记与所需拍摄方向 (风景或人像) 的三脚架固定座旋转标记对齐。

- 旋转照相机时，您需注意不要让持拿照相机的手接触到三脚架。



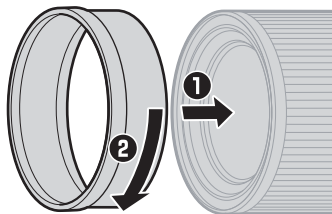
- 3 拧紧三脚架固定座环安装齿圈 (3)。



- 有关取下内置旋转式三脚架固定座的信息，请咨询尼康售后服务中心或尼康特约维修店。

E 安装和取下镜头遮光罩

镜头遮光罩直接旋入镜头前部的螺纹。切勿触摸镜头的玻璃表面或用力过度。

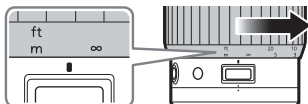


- 若要取下遮光罩，请将其从镜头旋出。

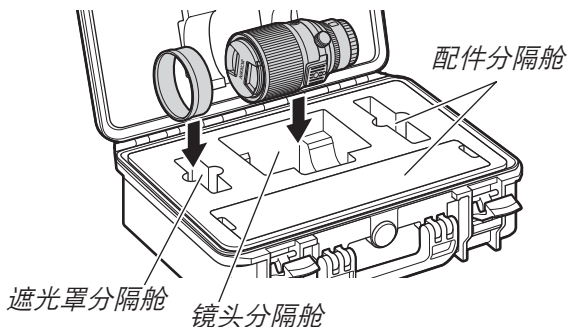
将镜头装入镜头箱中

按照以下步骤即可将镜头装入镜头箱中。

- 1 将对焦环旋转至所示位置。
 - 本镜头在伸出时无法置于镜头箱中。

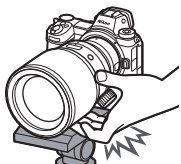


- 2 确认镜头前后盖都已安装好。
- 3 取下镜头遮光罩。
- 4 如图所示将镜头和遮光罩装入镜头箱。
 - 反向操作“打开镜头箱”（□109）中的步骤即可关闭并锁上盖子。确保安全锁已启用。



使用注意事项

- 持拿照相机时必须支撑镜头，否则可能会损坏照相机镜头卡口。
- 拿起或持握镜头时切勿仅持拿其伸缩部分。
- 拿起或持握镜头或照相机时，切勿仅持拿镜头遮光罩。
- 保持CPU接点清洁。
- 将三脚架与大型全景云台一起使用时，请注意在旋转对焦环时不要让您的手指夹在对焦环和全景云台之间而导致受伤。



- 若镜头卡口橡胶垫圈损坏，请立即停止使用并将镜头送至尼康售后服务中心或尼康特约维修店进行维修。
- 不使用镜头时，请重新盖上镜头前后盖。
- 为保护镜头内部，请将其存放在没有阳光照射的地方。
- 切勿将镜头置于潮湿的地方或可能沾染湿气的场所。内部装置生锈将导致无法挽回的损坏。
- 切勿将镜头靠近明火或置于其他过热的场所。过热可能会使强化塑料表面部件受损或变形。
- 温度的突变可能导致镜头内外部结露以致损坏。将镜头从温暖的环境带入寒冷的环境或从寒冷的环境带入温暖的环境之前，请先将其置于包内或塑料盒中以缓和温度的变化。
- 从照相机取下镜头并装入附送的镜头箱以便运输。

镜头保养

- 一般情况下，清洁镜头的玻璃表面时去除灰尘即可。
- **带氟涂层的前部镜片** 可按照下文所述进行清洁。
 - 污点、指纹和其他油渍可使用一块干净的软棉布或镜头清洁纸进行清除；请以圆周运动方式从里向外进行清洁。
 - 清除顽渍时，请使用一块软布稍微沾上少许蒸馏水、乙醇或镜头清洁剂轻轻擦拭。
 - 该操作中在拒水、拒油表面留下的滴状痕迹可随后使用一块干布去除。
- **清洁非氟涂层的后部镜片时**，请使用一块干净的软棉布或镜头清洁纸稍微沾上少许乙醇或镜头清洁剂去除污点、指纹和其他油渍。请以圆周运动方式从里向外轻轻擦拭，注意不要留下污渍，也不要用手指触碰镜片。
- 切勿使用涂料稀释剂或苯等有机溶剂清洁镜头。
- 中性色彩（NC）滤镜（另购）等可用于保护前部镜片。安装或取下滤镜前，请先取下镜头遮光罩。
- 若您将在较长时间内不使用镜头，请将其存放在阴凉干燥的地方以防止发霉和生锈。切不可存放在直射阳光下，也不可石脑油或樟脑丸一起存放。

Sc

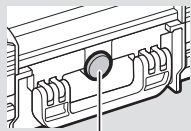
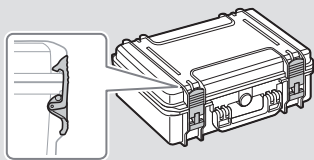
配件

随附配件

- 82mm 搭扣式镜头前盖 LC-82B
- 旋入式镜头遮光罩 HN-38
- 镜头后盖 LF-N1
- 镜头箱 CT-101

✔ 使用镜头箱

- 尼康对因镜头箱损坏而导致其内含物损坏的情况不承担任何责任。
- 存放镜头箱时，请锁上锁闩安全锁。确认锁闩已如图所示牢固锁紧。
- 切勿将镜头箱长时间置于潮湿的场所或直射阳光下。长时间暴露于湿气中或直射阳光下可能导致内衬变硬或褪色。
- 切勿将镜头箱存放在极端温度的地方，否则可能导致内衬弯曲变形、皱缩或脱落。
- 镜头箱暴露于极端温度的地方后，请避免直接接触镜头箱，否则将可能导致烫伤、低温烫伤或冻伤。
- 切勿坐在镜头箱上或在镜头箱上放置重物。
- 切勿在幼儿伸手可及之处保管镜头箱及其配件。
- 打开或关闭镜头箱时保持双手不接触可移动部件。
- 切勿将镜头箱置于不平稳或有可能摔落的地方。
- 切勿使用酒精、苯或稀释剂等有机溶剂清洁镜头箱。
- 切勿用硬物刮擦镜头箱的表面。
- 切勿尝试拆解、修理或改装镜头箱。
- 压力平衡阀不会旋转。对压力平衡阀过度用力将可能导致受伤或损坏本产品。
- 切勿跌落镜头箱，过度用力操作或使其遭受强烈的碰撞或震动。
- 尼康将不会对镜头箱进行修理。



压力平衡阀

技术规格

尼克尔Z 58mm f/0.95 S Noct

卡口	尼康Z卡口
焦距	58mm
最大光圈	f/0.95
镜头结构	10组17片（包括4枚低色散ED镜片，3枚非球面镜片，带纳米结晶涂层和抗反射高清涂层的镜片以及1枚带氟涂层的前部镜片）
视角	• FX格式：40° 50′ • DX格式：27° 20′
对焦系统	前部对焦系统
最近对焦距离	约0.5m（至焦平面）
最大复制比率	约0.19倍
光圈叶片	11片（圆形光圈孔）
光圈范围	f/0.95 - 16
滤镜附件尺寸	82mm（P=0.75mm）
尺寸	约102mm（最大直径）×153mm （从照相机镜头卡口边缘开始的距离）
重量	约2000g

镜头箱 CT-101

类型	公文包式箱子
外部尺寸	约464mm×366mm×176mm
内部尺寸	约426mm×290mm×159mm
重量	约3040g（含内衬）
材质	• 箱体：聚丙烯 • 锁闩：尼龙

尼康公司保留可随时更改本产品的外观、技术规格和性能的权利。

产品中有害物质的名称及含量

标志	部件名称	有害物质					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
10	外壳	○	○	○	○	○	○
	机械元件	×	○	○	○	○	○
	光学元件	○	○	○	○	○	○
	电子元件	×	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T11364 的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T26572 规定的限量要求以下。

×

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T26572 规定的限量要求。但是，以现有的技术条件要使照相机相关产品完全不含有上述有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于有害物质使用限制指令 2011/65/EU》的豁免范围之内。

进口商：尼康映像仪器销售（中国）有限公司
（上海市蒙自路757号歌斐中心12楼01-07室 邮编：
200023）

尼康客户支持中心服务热线：400-820-1665
（周一至周日9:00–18:00，除夕下午休息）

尼康官方网站：<http://www.nikon.com.cn/>

在日本印刷

出版日期：2019年7月1日

Sc

Sc

⚠️ 維護與操作

本鏡頭為高精度光學儀器。為確保持續可靠的效能，操作過程中，請避免讓本產品遭受碰撞。

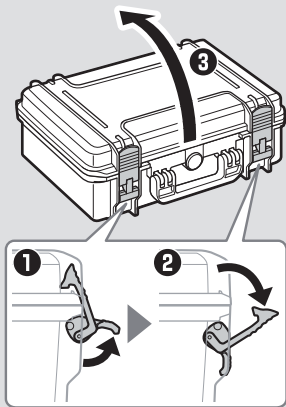
在使用本產品前，請仔細閱讀這些指南。您還需要查閱相機說明書。

- 本鏡頭專供帶有尼康 Z 接環的無反相機使用。
- 這是一款手動對焦鏡頭。無論使用相機選擇了何種對焦模式，安裝了該鏡頭時，對焦都必須手動進行調整。

打開鏡頭箱

打開鏡頭箱的步驟如下：

- 1 將鏡頭箱置於平穩的表面。
- 2 釋放插鎖安全鎖 (1) 並打開插鎖 (2)。
- 3 打開蓋子 (3)。
 - 慢慢打開蓋子。
 - 請小心不要被鏡頭箱的可移動部件夾住手指。
 - 鏡頭箱的蓋子和箱體形成密封，打開蓋子時有時可能需要牢牢握緊箱體。



Tc

安全須知

為防止您的財產受損或者您自己或他人受傷，在使用本產品之前，請全面閱讀“安全須知”。

請妥善保管這些安全指南，以便本產品的所有使用者可隨時查閱。

⚠ **警告:** 若不遵守標有該圖示的注意事項，可能會導致死亡或嚴重受傷。

⚠ **注意事項:** 若不遵守標有該圖示的注意事項，可能會導致受傷或財產受損。

⚠ 警告

- 勿自行拆解或改裝本產品。
勿觸碰由於摔落或其他意外事故而外露的內部零件。
若不遵守此注意事項，可能會導致觸電或其他傷害。
- 若發現任何不正常現象，如本產品冒煙、發熱或異味等，請立即斷開相機電源。
若在此情形下繼續使用，可能會導致起火、灼傷或其他傷害。
- 保持乾爽。
勿用濕手進行操作。
若不遵守此注意事項，可能會導致起火或觸電。
- 勿在有丙烷氣、汽油或煙霧劑等易燃性粉塵或氣體的場所使用本產品。
若不遵守此注意事項，可能會導致爆炸或火災。
- 勿透過鏡頭直接觀看太陽或其他明亮光源。
若不遵守此注意事項，可能會導致視覺損傷。

⚠ 警告

- 勿在兒童伸手可及之處保管本產品。
若不遵守此注意事項，可能會導致受傷或產品故障。
另外，請注意細小部件有導致窒息的危險。若兒童誤吞了本產品的任何部件，請立即尋求醫療協助。
- 在溫度極高或極低的場所，勿用裸手直接接觸。
若不遵守此注意事項，可能會導致灼傷或凍傷。

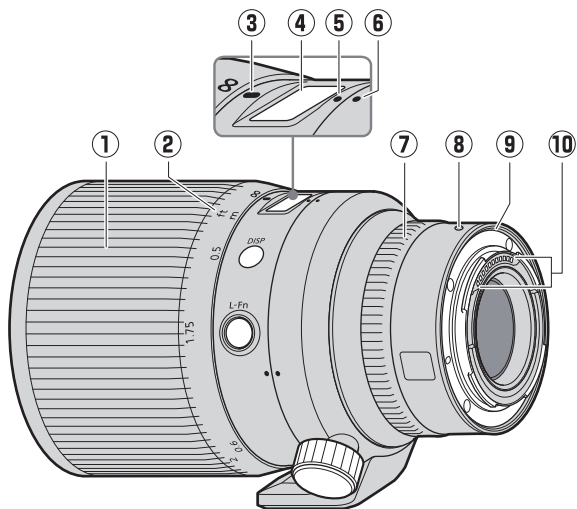
⚠ 注意事項

- 勿將鏡頭對準太陽或其他強光源。
若不遵守此注意事項，光線可能會透過鏡頭聚焦並引起火災或損壞產品的內部零件。拍攝逆光主體時，請不要讓太陽進入構圖範圍。
- 勿將本產品長時間放置在極其高溫的地方，如封閉的車內或直射陽光下。
若不遵守此注意事項，可能會導致起火或產品故障。
- 勿運送安裝了三腳架或類似配件的相機或鏡頭。
若不遵守此注意事項，可能會導致受傷或產品故障。

使用鏡頭

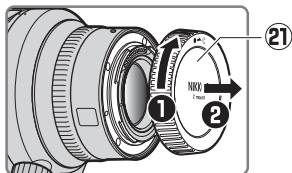
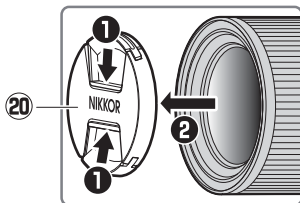
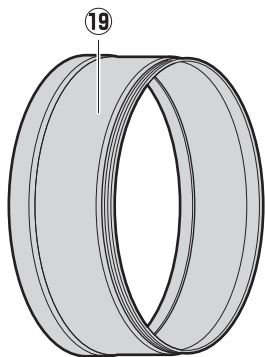
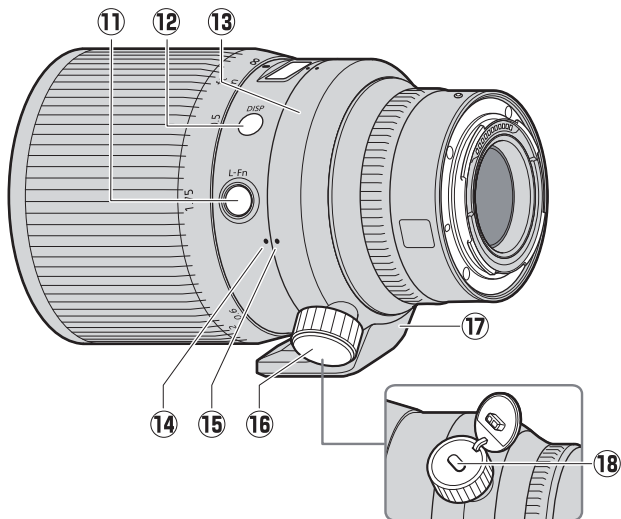
鏡頭部件：名稱和功能

有關鏡頭部件的名稱和功能，請參見下文。



Tc

① 對焦環	旋轉可手動進行對焦。	—
② 對焦距離指示器	確認對焦距離（影像感應器和主體之間的近似距離）。 • 請注意，對焦距離指示器僅用作參考，並且可能無法正確反映與主體的距離。由於景深或其他因素的影響，相機對焦於遠距離物體時，對焦距離 ∞ 可能無法選擇。	—
③ 對焦距離標記		
④ 鏡頭資訊面板	查看對焦距離、景深和其他資訊。	參見 B (☞138) C (☞140)
⑤ 鏡頭旋轉標記	將相機從風景方向旋轉至人像方向或從人像方向旋轉至風景方向時使用。	參見 D (☞142)
⑥ 三腳架固定座旋轉標記		
⑦ 控制環	旋轉可調整使用相機所指定的 光圈 或 曝光補償 等設定。有關詳情，請參見相機說明書中 自定控制 指定的相關說明。	—
⑧ 鏡頭接環標記	將鏡頭安裝至相機時使用。	參見 A (☞138)
⑨ 橡膠鏡頭接環密封墊	—	—
⑩ CPU 接點	用於將數據傳輸至相機或從相機中傳輸數據。	—



Tc

⑪ L-Fn 按鍵	按下可執行使用相機所指定的功能。有關詳情，請參見相機說明書中 自定控制指定 的相關說明。	—
⑫ 顯示按鍵	儲存設定或選擇鏡頭資訊面板中所示的資訊。	參見 B (☞138)、 C (☞140)
⑬ 三腳架固定環	—	—
⑭ 鏡頭旋轉標記 (90°)	將相機從風景方向旋轉至人像方向或從人像方向旋轉至風景方向時使用。	參見 D (☞142)
⑮ 三腳架固定座旋轉標記 (90°)		
⑯ 三腳架固定環安裝螺絲		
⑰ 內置旋轉式三腳架固定座	相機固定於三腳架時使用。	
⑱ 安全插槽 (用於防竊線)	第三方防竊線可連接至該插槽。有關詳情，請參見防竊線隨附的文件。	—
⑲ 遮光罩	遮光罩可阻擋可能導致眩光或鬼影的散射光線。它們還可用於保護鏡頭。	參見 E (☞143)
⑳ 鏡頭前蓋	—	—
㉑ 鏡頭後蓋	—	—

A 安裝與取下

安裝鏡頭

- 1 關閉相機，取下機身蓋，然後取下鏡頭後蓋。
- 2 將鏡頭上的接環標記與相機機身上的接環標記對齊，同時將鏡頭置於相機機身上，然後逆時針旋轉鏡頭直至其卡入正確位置發出喀嚓聲。
 - 建議您安裝遮光罩以在使用過程中保護鏡頭。

取下鏡頭

- 1 關閉相機。
- 2 按住鏡頭釋放按鍵並同時順時針旋轉鏡頭。

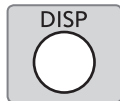
B 鏡頭資訊面板

當鏡頭安裝於相機且相機處於開啓狀態時，鏡頭資訊面板會點亮。

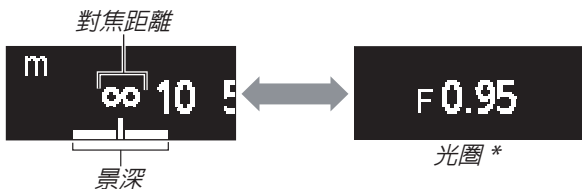
The NIKKOR logo is displayed in white, pixelated font on a black rectangular background.

Tc

按下顯示按鍵可如下所示循環顯示：



顯示按鍵



*僅當相機處於模式 **A** 或 **M** 時光圈才會顯示。其他模式的顯示如圖所示。

F AUTO

- 當相機待機定時時間耗盡或大約 10 秒未進行鏡頭操作時，面板會自動關閉。按下顯示按鍵可重新啓動顯示。

鏡頭資訊面板

鏡頭資訊面板中所示的對焦距離、景深和其他資訊僅為近似值。

不規則散景

使用高速快門和 / 或大光圈時，您可能會注意到散景形狀不規則。透過選擇較慢的快門速度和 / 或較高的 f 值可以減輕這種影響。

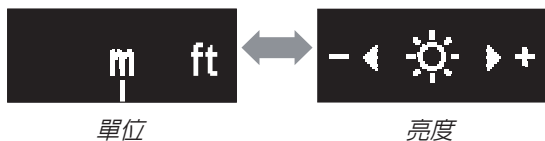
Tc

C 面板選項

按照以下步驟可從米 (m) 或英尺 (ft) 中選擇對焦距離的單位或者調整鏡頭資訊面板的亮度。

1 按住顯示按鍵查看設定。

- 螢幕中將顯示單位或亮度選擇選項。目前所選項目將會閃爍。
- 按下顯示按鍵可切換顯示。



2 使用鏡頭控制環選擇一個設定。

單位



- 旋轉控制環可從米 (m) 或英尺 (ft) 中進行選擇。




亮度

- 朝“+” (更亮) 或“-” (更暗) 方向旋轉控制環。
- 從亮度的 6 個等級中進行選擇。



- 若要關閉鏡頭資訊面板，請朝“-”方向旋轉控制環直至  圖示變為 。

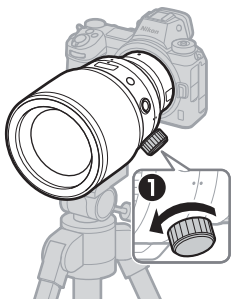


- 按下顯示按鍵可儲存更改並切換顯示。
 - 若大約 5 秒未使用鏡頭控制執行任何操作，面板選項將從顯示中消失且更改將會取消。
- 3** 按住顯示按鍵返回鏡頭資訊面板。
- 將亮度選為  會關閉鏡頭資訊面板。若要再次開啓顯示，請按住顯示按鍵。

D 內置旋轉式三腳架固定座

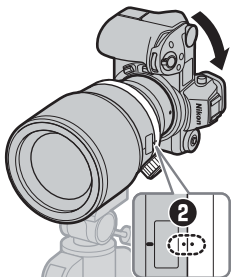
- 請將三腳架安裝至內置旋轉式三腳架固定座而不是相機。
- 將三腳架安裝至內置旋轉式三腳架固定座而不是相機，這樣您可在安裝了三腳架時按照下文所述旋轉相機。

- 1 擰鬆三腳架固定環安裝螺絲 (1)。

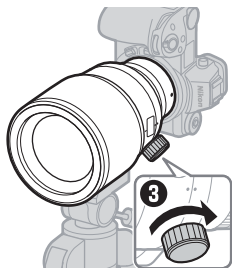


- 2 旋轉相機 (2) 使鏡頭旋轉標記與所需拍攝方向（風景或人像）的三腳架固定座旋轉標記對齊。

- 旋轉相機時，您需注意不要讓持拿相機的手接觸到三腳架。



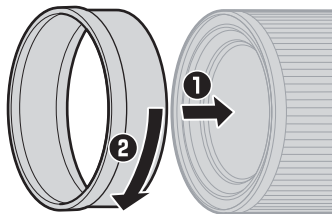
- 3 擰緊三腳架固定環安裝螺絲
(3)。



- 有關取下內置旋轉式三腳架固定座的資訊，請諮詢尼康授權服務代表。

E 安裝和取下遮光罩

遮光罩直接旋入鏡頭前部的螺紋。請勿觸摸鏡頭的玻璃表面或用力過度。

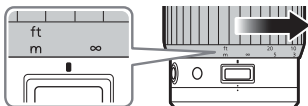


- 若要取下遮光罩，請將其從鏡頭旋出。

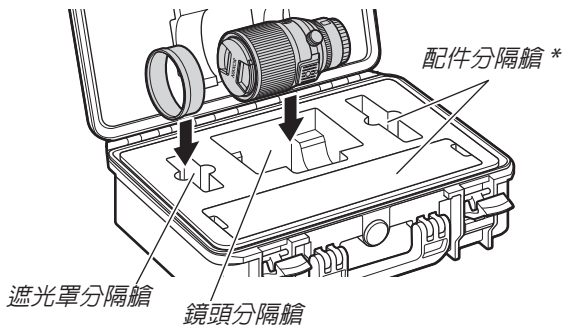
將鏡頭裝入鏡頭箱中

按照以下步驟即可將鏡頭裝入鏡頭箱中。

- 1 將對焦環旋轉至所示位置。
 - 本鏡頭在拉長時無法置於鏡頭箱中。



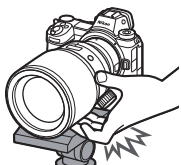
- 2 確認鏡頭前後蓋都已安裝好。
- 3 取下遮光罩。
- 4 如圖所示將鏡頭和遮光罩裝入鏡頭箱。
 - 反向操作“打開鏡頭箱”（☞131）中的步驟即可關閉並鎖上蓋子。確保安全鎖已啓用。



*裝入配件分隔艙中的物品不在保修範圍內。

使用注意事項

- 持拿相機時必須支撐鏡頭，否則可能會損壞相機鏡頭接環。
- 拿起或持握鏡頭時切勿僅持拿其伸縮部分。
- 拿起或持握鏡頭或相機時，切勿僅持拿遮光罩。
- 保持 CPU 接點清潔。
- 將三腳架與大型全景雲台一起使用時，請注意在旋轉對焦環時不要讓您的手指夾在對焦環和全景雲台之間而導致受傷。



- 若橡膠鏡頭接環密封墊損壞，請立即停止使用並將鏡頭送至尼康授權維修服務中心進行維修。
- 不使用鏡頭時，請重新蓋上鏡頭前後蓋。
- 為保護鏡頭內部，請將其存放在沒有陽光照射的地方。
- 請勿將鏡頭置於潮濕的地方或可能沾染濕氣的場所。內部機製生銹將導致無法挽回的損壞。
- 請勿將鏡頭靠近明火或置於其他過熱的場所。過熱可能會使強化塑膠表面部件受損或變形。
- 溫度的突變可能導致鏡頭內外部結露以致損壞。將鏡頭從溫暖的環境帶入寒冷的環境或從寒冷的環境帶入溫暖的環境之前，請先將其置於包內或塑膠盒中以緩和溫度的變化。
- 從相機取下鏡頭並裝入隨附的鏡頭箱以便運輸。

Tc

鏡頭保養

- 一般情況下，清潔鏡頭的玻璃表面時去除灰塵即可。
- 帶氟塗層的前部鏡片 可按照下文所述進行清潔。
 - 污點、指紋和其他油漬可使用一塊乾淨的軟棉布或鏡頭清潔紙進行清除；請以圓周運動方式從裡向外進行清潔。
 - 清除頑漬時，請使用一塊軟布稍微沾上少許蒸餾水、乙醇或鏡頭清潔劑輕輕擦拭。
 - 該操作中在拒水、拒油表面留下的滴狀痕跡可隨後使用一塊乾布去除。
- 清潔非氟塗層的後部鏡片時，請使用一塊乾淨的軟棉布或鏡頭清潔紙稍微沾上少許乙醇或鏡頭清潔劑去除污點、指紋和其他油漬。請以圓周運動方式從裡向外輕輕擦拭，注意不要留下污漬，也不要用手指觸碰鏡片。
- 切勿使用塗料稀釋劑或苯等有機溶劑清潔鏡頭。
- 中性色彩（NC）濾鏡（另行選購）等可用於保護前部鏡片。安裝或取下濾鏡前，請先取下遮光罩。
- 若您將在較長時間內不使用鏡頭，請將其存放在陰涼乾爽的地方以防止發霉和生銹。切不可存放在直射陽光下，也不可與石腦油或樟腦丸一起存放。

Tc

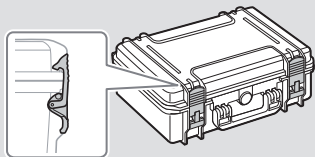
配件

隨附配件

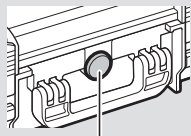
- LC-82B 82 mm 扣入式鏡頭前蓋
- LF-N1 鏡頭後蓋
- HN-38 旋入式遮光罩
- CT-101 鏡頭箱

✔ 使用鏡頭箱

- 尼康對因鏡頭箱損壞而導致其內含物損壞的情況不承擔任何責任。
- 存放鏡頭箱時，請鎖上插鎖安全鎖。確認插鎖已如圖所示牢固鎖緊。



- 請勿將鏡頭箱長時間置於潮濕的場所或直射陽光下。長時間暴露於濕氣中或直射陽光下可能導致內襯變硬或褪色。
- 請勿將鏡頭箱存放在極端溫度的地方，否則可能導致內襯彎曲變形、皺縮或脫落。
- 鏡頭箱暴露於極端溫度的地方後，請避免直接接觸鏡頭箱，否則將可能導致灼傷、低溫灼傷或凍傷。
- 請勿坐在鏡頭箱上或在鏡頭箱上放置重物。
- 請勿在幼兒伸手可及之處保管鏡頭箱及其配件。
- 打開或關閉鏡頭箱時保持雙手不接觸可移動部件。
- 請勿將鏡頭箱置於不平穩或有可能摔落的地方。
- 請勿使用酒精、苯或稀釋劑等有機溶劑清潔鏡頭箱。
- 請勿用硬物刮擦鏡頭箱的表面。
- 請勿嘗試拆解、修理或改裝鏡頭箱。
- 壓力平衡閥不會旋轉。對壓力平衡閥過度用力將可能導致受傷或損壞本產品。
- 請勿跌落鏡頭箱，過度用力操作或使其遭受強烈的碰撞或震動。
- 尼康將不會對鏡頭箱進行修理。



壓力平衡閥

技術規格

NIKKOR Z 58mm f/0.95 S Noct

接環	尼康 Z 接環
焦距	58 mm
最大光圈	f/0.95
鏡頭結構	10 組 17 片（包括 4 個 ED 鏡片，3 個非球面鏡片，帶納米結晶塗層和 ARNEO 塗層的鏡片以及 1 個帶氟塗層的前部鏡片）
畫角	•FX 格式：40° 50′ •DX 格式：27° 20′
對焦系統	前部對焦系統
最短對焦距離	0.5 m（至焦平面）
最大重現比率	0.19 倍
光圈葉片	11 片（圓形光圈孔）
光圈範圍	f/0.95 – 16
濾鏡接口大小	82 mm（P=0.75 mm）
尺寸	約 102 mm（最大直徑）× 153 mm（從相機鏡頭接環邊緣開始的距離）
重量	約 2000 g

CT-101 鏡頭箱

類型	公事包式箱子
外部尺寸	約 464 mm × 366 mm × 176 mm
內部尺寸	約 426 mm × 290 mm × 159 mm
重量	約 3040 g (含內襯)
材質	<ul style="list-style-type: none">•箱體：聚丙烯•插鎖：尼龍

尼康公司保留可隨時更改本產品的外觀、技術規格和效能的權利，而無須事先通知。

Tc

⚠ 관리 및 취급

렌즈는 고정밀 광학 기기입니다. 지속적인 성능을 유지하려면 취급 중에 제품에 물리적인 충격을 주지 마십시오.

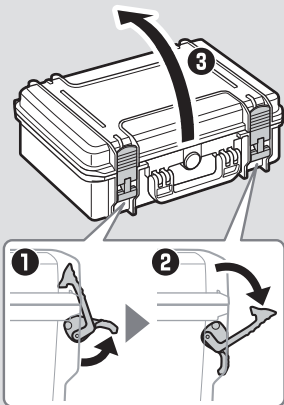
이 제품을 사용하기 전에 본 지침을 주의해서 읽으십시오. 카메라 설명서도 참조해야 합니다.

- 이 렌즈는 Nikon Z 마운트가 장착된 미러리스 카메라 전용입니다.
- 이 제품은 수동 초점 렌즈입니다. 카메라로 선택한 초점 모드에 관계없이 이 렌즈가 부착되어 있는 동안 초점을 수동으로 조정해야 합니다.

트렁크 케이스 열기

트렁크 케이스를 여는 방법은 다음과 같습니다.

- 1 트렁크 케이스를 평평한 바닥에 둡니다.
- 2 래치 안전 잠금 기구(1)를 풀고 래치(2)를 엽니다.
- 3 뚜껑을 엽니다(3).
 - 뚜껑을 천천히 여십시오.
 - 케이스의 움직이는 부분에 손가락이 끼지 않도록 주의하십시오.
 - 케이스의 뚜껑과 바디가 단단히 밀봉되어 있어 뚜껑을 열 때 바디를 단단히 잡아야 할 수도 있습니다.



Kr

안전상의 주의

제품이 손상되거나 사용자나 타인이 상해를 입지 않도록 제품을 사용하기 전에 “안전상의 주의”에 나와 있는 모든 내용을 읽으십시오.

안전 지침은 모든 사용자가 읽을 수 있는 곳에 보관하십시오.

⚠ 경고: 이 아이콘이 표시된 주의사항을 지키지 않을 경우 사망이나 심각한 상해를 입을 수 있습니다.

⚠ 주의: 이 아이콘이 표시된 주의사항을 지키지 않을 경우 상해를 입거나 제품이 손상될 수 있습니다.

⚠ 경고

- 이 제품을 분해하거나 개조하지 마십시오.
떨어뜨리거나 다른 사고로 인해 노출된 내부를 만지지 마십시오.
이 주의사항을 지키지 않으면 감전이나 다른 상해를 입을 수 있습니다.
- 제품에서 연기가 나거나 제품이 뜨겁거나 이상한 냄새가 나는 등 이상 징후가 발견되면 카메라 전원을 즉시 분리하십시오.
계속 사용할 경우 화재가 발생하거나 화상 또는 다른 상해를 입을 수 있습니다.
- 건조한 곳에 보관하십시오.
젖은 손으로 만지지 마십시오.
이 주의사항을 지키지 않으면 화재가 발생하거나 감전될 수 있습니다.
- 프로판, 가솔린, 에어로졸과 같은 가연성 가스 또는 분진이 있을 경우에는 제품을 사용하지 마십시오.
이 주의사항을 지키지 않으면 폭발이나 화재가 발생할 수 있습니다.
- 렌즈를 통해 태양이나 다른 밝은 광원을 직접 쳐다보지 마십시오.
이 주의사항을 지키지 않으면 시력이 손상될 수 있습니다.

⚠ 경고

- 어린이의 손이 닿지 않는 곳에 두십시오.
이 주의사항을 지키지 않으면 상해를 입거나 제품이 고장 날 수 있습니다.
또한 작은 부품을 잘못 삼키면 질식될 위험이 있습니다.
어린이가 부품을 삼켰을 경우 즉시 응급 처치를 해야 합니다.
- 극고온이나 극저온 장소에서는 맨손으로 만지지 마십시오.
이 주의사항을 지키지 않으면 화상이나 동상을 입을 수 있습니다.

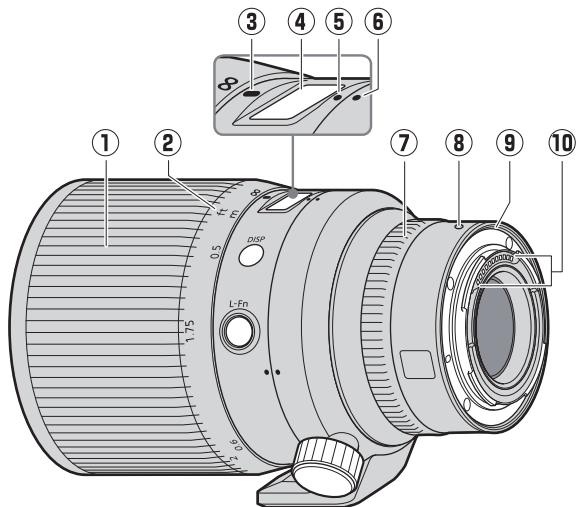
⚠ 주의

- 렌즈를 태양이나 다른 강한 광원을 향하게 두지 마십시오.
렌즈를 통해 초점에 모아진 빛으로 화재가 발생하거나 제품 내부가 손상될 수 있습니다. 역광을 받는 피사체를 촬영할 때는 태양을 프레임에서 충분히 멀리 떨어뜨려 두십시오.
- 밀폐된 자동차나 직사광선이 비치는 곳과 같이 온도가 매우 높은 장소에 장시간 제품을 노출하지 마십시오.
이 주의사항을 지키지 않으면 화재가 발생하거나 제품이 고장 날 수 있습니다.
- 삼각대 또는 유사한 액세서리가 설치된 상태에서 카메라 또는 렌즈를 이동하지 마십시오.
이 주의사항을 지키지 않으면 상해를 입거나 제품이 고장 날 수 있습니다.

렌즈 사용하기

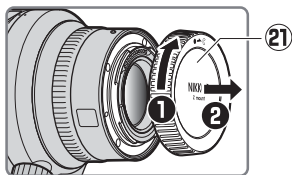
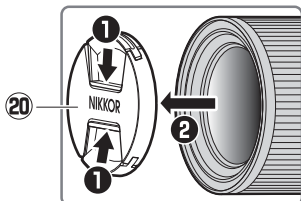
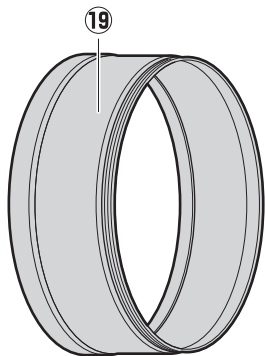
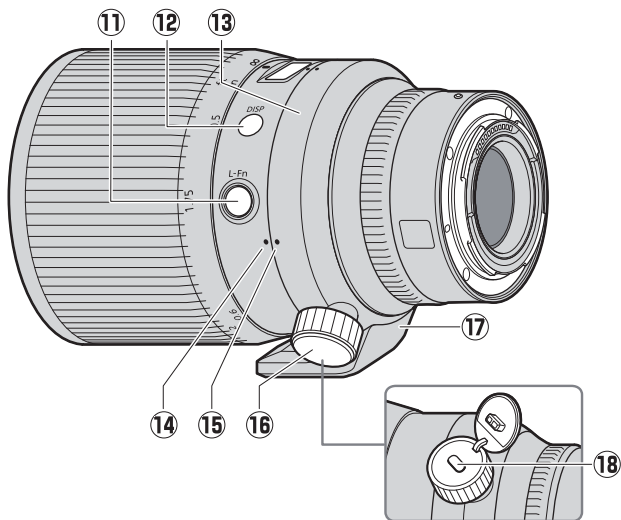
렌즈의 부품: 이름 및 기능

렌즈의 각 부분의 이름과 기능은 아래를 참조하십시오.



Kr

① 초점 링	수동으로 초점을 맞추려면 회전합니다.	—
② 초점 거리 표시	초점 거리(이미지 센서와 피사체 사이의 대략적인 거리)를 확인합니다. • 초점 거리 표시는 참조용으로만 사용되며 피사체까지의 거리가 정확하게 반영되지 않을 수 있습니다. 피사계 심도 또는 기타 요인으로 인해 멀리 있는 물체에 초점을 맞출 때 ∞의 초점 거리를 선택하지 못할 수 있습니다.	—
③ 초점 거리 마크		
④ 렌즈 정보 패널	초점 거리, 피사계 심도 및 기타 정보를 확인합니다.	B (☞158), C (☞160) 참조
⑤ 렌즈 회전 인덱스	카메라를 가로 방향에서 세로 방향으로 또는 그 반대로 회전할 때 사용합니다.	D (☞162) 참조
⑥ 삼각대 고리 회전 인덱스		
⑦ 조절 링	회전하여 카메라를 사용하여 할당된 조리개 또는 노출 보정과 같은 설정을 조정합니다. 자세한 내용은 카메라 설명서의 사용자 정의 제어 설정 설명을 참조하십시오.	—
⑧ 렌즈 장착 마크	렌즈를 카메라에 장착할 때 사용합니다.	A (☞158) 참조
⑨ 렌즈 장착 고무 가스켓	—	—
⑩ CPU 접촉부	카메라와 데이터를 주고 받는 데 사용됩니다.	—



Kr

⑪ L-Fn 버튼	버튼을 눌러 카메라 사용에 할당된 기능을 수행합니다. 자세한 내용은 카메라 설명서의 사용자 정의 제어 설정 설명을 참조하십시오.	—
⑫ 표시전환 버튼	설정을 저장하거나 렌즈 정보 패널에 표시된 정보를 선택합니다.	B (☞158), C (☞160) 참조
⑬ 삼각대 고리 링	—	—
⑭ 렌즈 회전 인덱스(90°)	카메라를 가로 방향에서 세로 방향으로 또는 그 반대로 회전할 때 사용합니다.	D (☞162) 참조
⑮ 삼각대 고리 회전 인덱스(90°)		
⑯ 삼각대 고리 링 부착 나사		
⑰ 내장된 회전식 삼각대 고리	삼각대에 카메라를 장착할 때 사용합니다.	
⑱ 보안 슬롯(도난 방지 케이블용)	타사 도난 방지 케이블을 이 슬롯에 연결할 수 있습니다. 자세한 내용은 케이블과 함께 제공된 설명서를 참조하십시오.	—
⑲ 렌즈 후드	렌즈 후드는 플레어나 고스트 현상을 초래할 우려가 있는 미광을 차단합니다. 렌즈를 보호하는 역할도 합니다.	E (☞163) 참조
⑳ 전면 렌즈 캡	—	—
㉑ 렌즈 뒷 커버	—	—

A 부착 및 제거

렌즈 장착

- 1 카메라의 전원을 끄고 바디 캡을 제거한 다음 렌즈 뒷 커버를 분리합니다.
- 2 렌즈의 장착 마크와 카메라 본체의 장착 마크가 일치되도록 카메라 본체에서의 렌즈 위치를 조정합니다. 그런 다음 렌즈가 딸깍 소리를 내며 제자리에 들어갈 때까지 시계 반대 방향으로 돌려줍니다.
 - 사용 중에 렌즈를 보호하려면 렌즈 후드를 부착하는 것이 좋습니다.

렌즈 제거

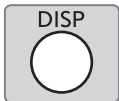
- 1 카메라 전원을 끕니다.
- 2 렌즈 릴리즈 버튼을 계속 누른 상태로 렌즈를 시계 방향으로 돌립니다.

B 렌즈 정보 패널

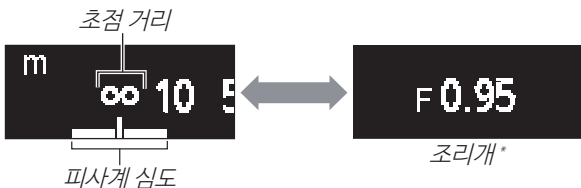
렌즈를 카메라에 연결하고 카메라를 켜면 렌즈 정보 패널이 켜집니다.



표시된 대로 디스플레이를 순환하려면 표시전환 버튼을 누르십시오.



표시전환 버튼



* 조리개는 카메라가 A 또는 M 모드 일 때만 표시됩니다. 다른 모드의 디스플레이가 그림에 표시됩니다.

F AUTO

- 카메라 대기 타이머가 만료되거나 약 10초 동안 렌즈가 작동되지 않으면 패널이 자동으로 꺼집니다. 디스플레이를 다시 활성화하려면 표시전환 버튼을 누르십시오.

📌 렌즈 정보 패널

렌즈 정보 패널에 표시된 초점 거리, 피사계 심도 및 기타 정보는 근사치일 뿐입니다.

📌 불규칙 보케

고속 셔터 속도 및/또는 넓은 조리개를 사용하면 보케 형태의 불규칙성을 발견할 수 있습니다. 느린 셔터 속도 및/또는 높은 조리개 값을 선택하면 효과를 완화할 수 있습니다.

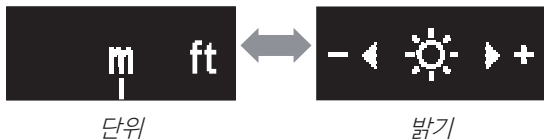
Kr

㉔ 패널 옵션

아래 단계를 따라 미터(m) 또는 피트(ft)에서 초점 거리 단위를 선택하거나 렌즈 정보 패널 밝기를 조정하십시오.

1 설정을 보려면 표시전환 버튼을 길게 누르십시오.

- 단위 또는 밝기 선택 옵션이 표시됩니다. 현재 선택된 항목이 깜박입니다.
- 디스플레이 사이를 전환하려면 표시전환 버튼을 누르십시오.



2 렌즈 조절 링을 사용하여 설정을 선택하십시오.

단위


- 미터(m) 또는 피트(ft)에서 선택하려면 조절 링을 회전하십시오.



밝기


- “+”(밝게) 또는 “-”(어둡게) 방향으로 조절 링을 회전하십시오.
- 6 레벨의 밝기에서 선택하십시오.



- 렌즈 정보 패널을 끄려면 “-” 방향의 링이 ☀ 아이콘에서  아이콘으로 변경될 때까지 회전하십시오.



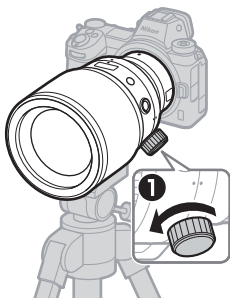
- 변경 사항을 저장하고 디스플레이를 전환하려면 표시전환 버튼을 누르십시오.
- 5초 동안 렌즈 제어를 사용하여 작업을 수행하지 않으면 디스플레이에서 패널 옵션이 지워지고 변경 사항이 취소됩니다.

- 3 렌즈 정보 표시로 되돌아가려면 표시전환 버튼을 길게 누르십시오.
 - 밝기에 대해  을 선택하면 렌즈 정보 패널이 꺼집니다. 디스플레이를 다시 켜려면 표시전환 버튼을 길게 누르십시오.

㉔ 내장된 회전식 삼각대 고리

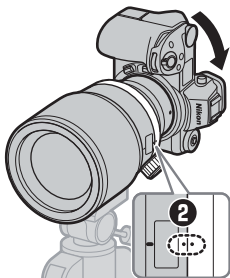
- 카메라가 아닌 내장된 회전 삼각대 고리에 삼각대를 부착합니다.
- 삼각대를 부착한 상태에서 삼각대를 카메라가 아닌 내장된 회전 삼각대 고리에 연결하면 아래 설명된 대로 카메라를 회전시킬 수 있습니다.

1 삼각대 고리 링 부착 나사(1)를 풀습니다.

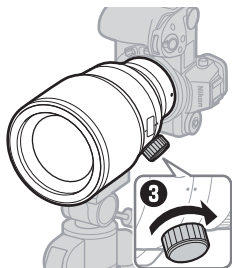


2 카메라를 회전(2)하여 렌즈 회전 인덱스와 삼각대 고리 회전 인덱스를 일렬로 맞춘 다음 원하는 회전 방향(가로 또는 세로)과 맞춥니다.

- 카메라를 돌릴 때 카메라를 잡은 상태에서 손이 삼각대에 닿지 않도록 주의해야 합니다.



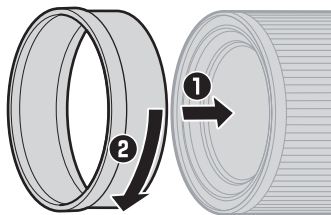
- 3 삼각대 고리 링 부착 나사(3)를 조입니다.



- 내장된 회전식 삼각대 고리 제거에 대한 자세한 내용은 니콘 서비스 지정점에 문의하십시오.

E 렌즈 후드 부착 및 제거

렌즈 후드는 렌즈 앞에 있는 나사산에 직접 끼워 넣습니다. 렌즈 유리 표면을 만지거나 과도하게 힘을 주지 마십시오.

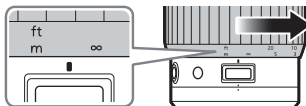


- 후드를 제거하려면 렌즈에서 나사를 풉니다.

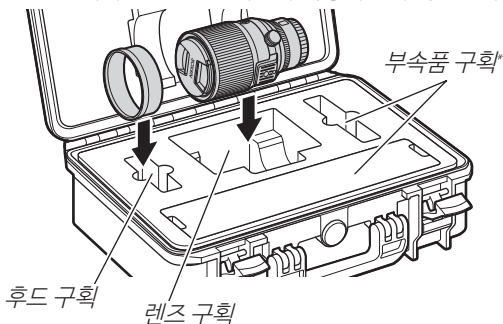
케이스에 렌즈 넣기

아래 단계에 따라 렌즈를 케이스에 넣습니다.

- 1 초점링을 표시된 위치로 돌리십시오.
 - 렌즈는 확장된 상태로 케이스에 넣을 수 없습니다.



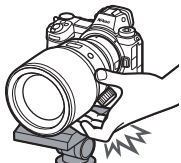
- 2 렌즈 앞 커버와 렌즈 뒷 커버가 연결되었는지 확인합니다.
- 3 렌즈 후드를 제거합니다.
- 4 그림과 같이 렌즈와 후드를 케이스에 넣습니다.
 - “트렁크 케이스 열기”(☐151)의 단계를 반대로 하여 뚜껑을 닫고 잠급니다. 안전 잠금 기구가 작동하는지 확인합니다.



*부속품 구획에 있는 품목은 보증 대상에서 제외됩니다.

사용 시 주의사항

- 카메라를 잡을 때 렌즈를 지지하십시오. 이 주의 사항을 지키지 않으면 카메라 렌즈 마운트가 손상될 수 있습니다.
- 텔레스코핑 섹션으로 렌즈를 들거나 잡지 마십시오.
- 렌즈 후드로 렌즈 또는 카메라를 들어올리거나 잡지 마십시오.
- CPU 접촉부를 깨끗하게 유지하십시오.
- 큰 팬 헤드가 있는 삼각대를 사용하는 경우 손가락이 링과 팬 헤드 사이에 끼어 부상을 입지 않도록 초점링을 돌릴 때 주의하십시오.



- 렌즈 장착 고무 가스켓이 손상된 경우에는 즉시 사용을 중단하고 니콘 서비스 지정점에 렌즈 수리를 의뢰하여 주십시오.
- 렌즈를 사용하지 않을 때는 렌즈 앞 커버와 렌즈 뒷 커버를 교체합니다.
- 렌즈 내부를 보호하려면 직사광선이 비치지 않는 곳에 보관합니다.
- 습한 장소나 수분에 노출될 수 있는 곳에 렌즈를 두지 마십시오. 내부 장치에 녹이 슬면 복구가 불가능한 손상을 입을 수 있습니다.
- 렌즈를 불 옆이나 기타 매우 뜨거운 장소에 두지 마십시오. 강한 열로 인해 강화 플라스틱으로 만든 외장 부품이 손상되거나 변형될 수 있습니다.
- 온도가 급격히 변하면 렌즈 내부와 외부에 결로 현상이 발생할 수 있습니다. 따뜻한 곳에서 추운 장소로 또는 그 반대로 렌즈를 옮기기 전에 가방이나 플라스틱 케이스에 넣어 온도 변화를 늦추십시오.
- 카메라에서 렌즈를 꺼내어 운반용 케이스에 넣으십시오.

Kr

렌즈 관리

- 일반적으로 렌즈의 유리면을 청소할 경우 먼지만 제거하면 됩니다.
- 불소 코팅된 전방 렌즈는 아래에 설명된 대로 청소합니다.
 - 얼룩, 지문 및 기타 유성 색소는 부드럽고 깨끗한 면 헝겊이나 렌즈 세척 티슈를 사용하여 세척할 수 있습니다. 중심에서 바깥쪽으로 원을 그리며 닦으십시오.
 - 잘 지워지지 않는 얼룩을 제거하려면 소량의 증류수, 에탄올 또는 렌즈 클리너를 살짝 묻힌 부드러운 천으로 살살 닦으십시오.
 - 이 과정으로 인해 발수 및 발유 표면에 남은 물방울 모양의 자국은 마른 천으로 제거할 수 있습니다.
- 불소 코팅되지 않은 후방 렌즈를 청소할 때 소량의 에탄올 또는 렌즈 클리너를 적신 부드럽고 깨끗한 면이나 렌즈 세정 티슈를 사용하여 얼룩, 지문 및 기타 유성 자국을 제거합니다. 손가락으로 렌즈를 만지지 않도록 주의하면서 스미어가 남지 않도록 중심에서 바깥쪽으로 부드럽게 닦아줍니다.
- 절대로 페인트 시너나 벤젠과 같은 유기용제를 사용하여 렌즈를 닦지 마십시오.
- 뉴트럴 컬러(NC) 필터(별매) 등을 사용하여 전면 렌즈를 보호합니다. 필터를 부착하거나 제거하기 전에 렌즈 후드를 제거하십시오.
- 렌즈를 오랫동안 사용하지 않을 경우에는 곰팡이나 녹이 슬지 않도록 서늘하고 건조한 장소에 보관하십시오. 직사광선 아래나 나프타나 증약과 함께 보관하지 마십시오.

Kr

액세서리

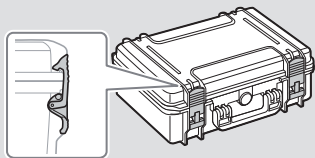
제공되는 액세서리

- 82mm 스냅식 전면 렌즈 캡 LC-82B
- 렌즈 뒷 커버 LF-N1
- 스크류식 렌즈 후드 HN-38
- 트렁크 케이스 CT-101

✔ 트렁크 케이스 사용

• Nikon은 케이스의 손상으로 인해 내용물이 손상되는 경우 어떠한 책임도 지지 않습니다.

• 트렁크 케이스를 보관할 때 결쇠 안전 잠금 기구를 닫습니다. 래치가 그림과 같이 단단히 닫혔는지 확인하십시오.



• 습기가 많은 곳이나 직사 광선이 닿는 장소에 장시간 보관하지 마십시오. 습기가 있거나 직사 광선에 장시간 노출되면 내부 충전재가 단단해지거나 색이 변할 수 있습니다.

• 극한의 온도에 노출된 장소에 케이스를 보관하지 마십시오. 이 주의 사항을 지키지 않으면 내부 충전재가 휘어지고 수축되며 벗겨질 수 있습니다.

• 극한의 온도에 노출된 후에는 케이스를 직접 만지지 마십시오. 이 주의 사항을 지키지 않으면 화상, 저온 화상 또는 동상을 입을 수 있습니다.

• 케이스 위에 앉거나 무거운 물건을 올려 두지 마십시오.

• 케이스와 부속품은 어린 아이의 손이 닿지 않는 곳에 보관하십시오.

• 케이스를 열거나 닫을 때 손으로 움직이는 부품을 건드리지 않도록 주의하십시오.

• 케이스를 평평하지 않거나 아래로 떨어지기 쉬운 곳에 두지 마십시오.

• 알코올, 벤진 또는 시너와 같은 유기 용제를 사용하여 케이스를 닦지 마십시오.

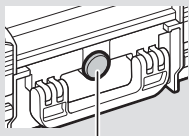
• 단단한 물체로 케이스 표면을 긁거나 문지르지 마십시오.

• 케이스를 분해, 수리 또는 개조하지 마십시오.

• 압력 평형 밸브가 회전하지 않습니다. 밸브에 과도한 힘을 가하면 부상을 입거나 제품이 손상될 수 있습니다.

• 케이스를 떨어뜨리거나, 과도하게 힘을 주며 다루거나, 심한 물리적 충격 또는 진동을 가하지 마십시오.

• Nikon은 트렁크 케이스 수리 서비스를 제공하지 않습니다.



압력 평형 밸브

사양

NIKKOR Z 58mm f/0.95 S Noct

마운트	Nikon Z 마운트
초점 거리	58 mm
최대 조리개값	f/0.95
렌즈 구성	10군 17매 (ED 렌즈 4개, 비구면 렌즈 3개, 나노 크리스탈 및 ARNEO 코트 렌즈, 불소 코팅된 전면 렌즈 포함)
화각	<ul style="list-style-type: none"> • FX 포맷: 40°50' • DX 포맷: 27°20'
포커싱 시스템	전면 초점 시스템
최단 초점 거리	초점면에서 0.5m
최대 촬영 배율	0.19×
조리개 날	11매(원형 조리개)
조리개 범위	f/0.95 ~ 16
필터 부착 크기	82 mm (P = 0.75 mm)
크기	최대 직경 약 102 mm × 153 mm (카메라 렌즈 장착면에서의 거리)
무게	약 2000 g

트렁크 케이스 CT-101

유형	Attaché 스타일 케이스
외형 치수	약 464 mm × 366 mm × 176 mm
내부 치수	약 426 mm × 290 mm × 159 mm
무게	약 3040g, 내부 충전재 포함
재료	<ul style="list-style-type: none">• 바디: 폴리프로필렌• 래치: 나일론

Nikon은 언제든지 예고 없이 제품의 외관, 사양, 성능을 변경할 수 있습니다.

Kr

⚠ Perawatan dan Penanganan

Lensa adalah sebuah instrumen optik presisi tinggi. Untuk memastikan kinerja berkelanjutan, hindari mengenakan produk ini pada guncangan fisik selama penanganan.

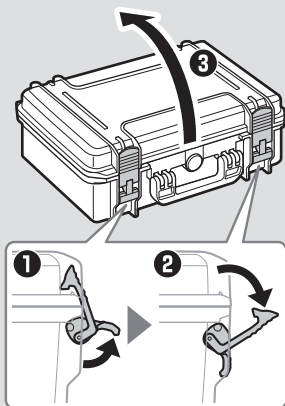
Sebelum menggunakan produk ini, mohon membaca dengan seksama petunjuk ini. Anda akan juga perlu untuk merujuk ke buku petunjuk kamera.

- Lensa ini ditujukan khusus bagi penggunaan dengan kamera mirrorless dengan fitur dudukan Z Nikon.
- Ini adalah lensa fokus manual. Terlepas dari mode fokus terpilih dengan kamera, fokus harus disetel secara manual selama lensa ini terpasang.

Membuka Kotak Lensa

Untuk membuka kotak lensa:

- 1** Letakkan kotak lensa pada permukaan yang stabil.
- 2** Lepaskan kait kunci pengaman **(1)** dan buka kaitnya **(2)**.
- 3** Buka tutupnya **(3)**.
 - Buka tutupnya dengan perlahan.
 - Berhati-hati agar jari Anda tidak tersangkut pada bagian bergerak dari kotak lensa.
 - Tutup dan badan dari kotak membentuk segel yang rapat, dan kadang perlu menggenggam badannya dengan teguh saat membuka tutup.



Demi Keamanan Anda

Untuk mencegah kerusakan pada harta benda atau cedera pada diri Anda atau orang lain, bacalah "Demi Keamanan Anda" secara menyeluruh sebelum menggunakan produk ini.

Simpan petunjuk keselamatan ini di mana semua pihak yang menggunakan produk ini dapat membacanya.

⚠ PERINGATAN: Gagal mematuhi pencegahan dengan ikon bertanda ini dapat menyebabkan kematian atau cedera berat.

⚠ PERHATIKAN: Gagal mematuhi pencegahan dengan ikon bertanda ini dapat menyebabkan cedera atau kerusakan harta benda.

⚠ PERINGATAN

- **Jangan membongkar atau memodifikasi produk ini.**
Jangan menyentuh bagian dalam yang menjadi tidak terlindung akibat dari terjatuh atau kecelakaan lainnya.

Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menimbulkan sengatan listrik atau cedera lainnya.

- **Apabila Anda mengamati ketidakwajaran apapun seperti keluar asap, panas, atau bau tidak biasa dari produk, putus segera hubungan sumber daya kamera.**

Melanjutkan pengoperasian dapat menyebabkan kebakaran, luka bakar atau cedera lainnya.

- **Jaga agar tetap kering.**
Jangan menangani dengan tangan basah.

Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyulut api atau sengatan listrik.

- **Jangan gunakan produk ini saat hadirnya debu atau gas yang mudah terbakar seperti propana, bensin atau aerosol.**

Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan ledakan atau kebakaran.

- **Jangan memandang matahari atau sumber cahaya terang lainnya secara langsung melalui lensa.**

Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan kebutaan.

PERINGATAN

- **Jauhkan produk ini dari jangkauan anak-anak.**

Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan cedera atau gagal fungsi pada produk. Sebagai tambahan, catat bahwa onderdil kecil merupakan bahaya tersedak. Apabila onderdil apapun dari produk ini tertelan oleh anak, segera minta bantuan medis.

- **Jangan menangani dengan tangan kosong di tempat yang terpapar pada suhu teramat tinggi atau teramat rendah.**

Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan luka bakar atau radang dingin.

PERHATIKAN

- **Jangan meninggalkan lensa mengarah ke matahari atau ke sumber cahaya kuat lainnya.**

Cahaya yang terpusat oleh lensa dapat menyebabkan kebakaran atau merusak bagian dalam produk. Saat pemotretan subjek dengan cahaya latar, jauhkan cahaya matahari dari frame.

- **Jangan tinggalkan produk di tempat di mana ia akan terpapar pada suhu yang teramat tinggi, selama jangka panjang seperti dalam kendaraan tertutup atau di bawah sinar matahari langsung.**

Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan kebakaran atau gagal fungsi produk.

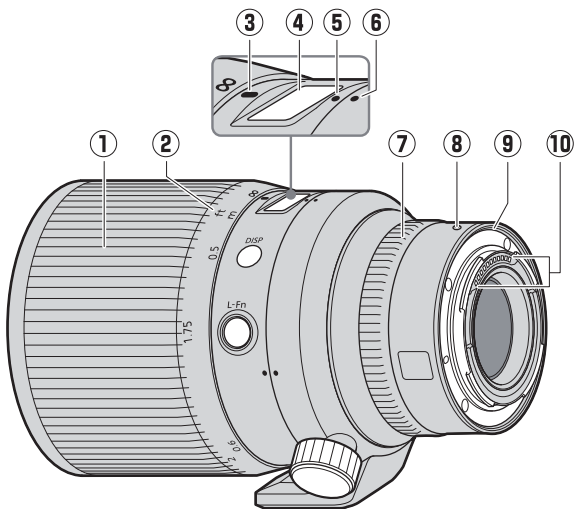
- **Jangan memindahkan kamera atau lensa dengan tripod atau aksesori sejenisnya terpasang.**

Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan cedera atau gagal fungsi pada produk.

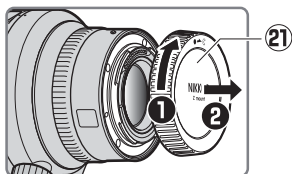
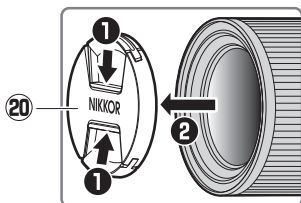
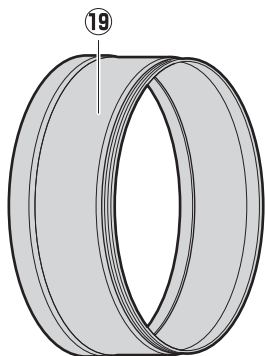
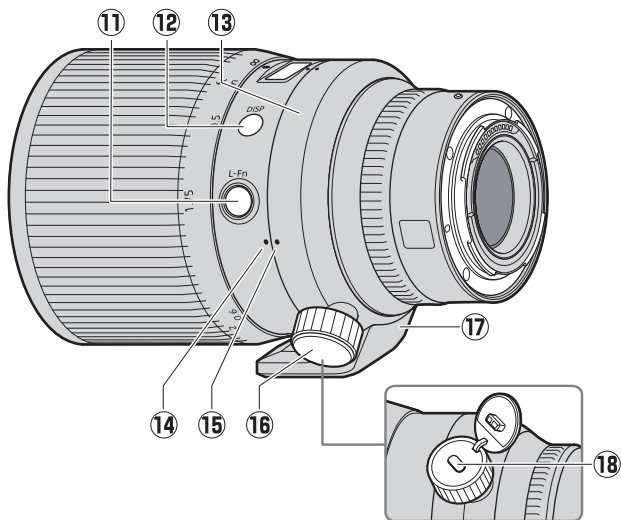
Menggunakan Lensa

Bagian-bagian dari Lensa: Nama dan Fungsi

Simak di bawah ini bagi nama dan fungsi dari bagian-bagian lensa.



① Cincin fokus	Putar untuk memfokus secara manual.	—
② Indikator jarak fokus	Periksa jarak fokus (perkiraan jarak antara sensor gambar dan subjek). • Catat bahwa indikator jarak fokus ditujukan hanya sebagai panduan dan mungkin tidak secara tepat mencerminkan jarak ke subjek. Dikarenakan kedalaman bidang atau faktor lainnya, jarak fokus dari ∞ mungkin tidak dipilih saat kamera difokus pada objek jauh.	—
③ Tanda jarak fokus		
④ Panel info lensa	Meninjau jarak fokus, kedalaman bidang, dan informasi lainnya.	<i>Simak</i> B ( 179), C ( 180)
⑤ Indeks rotasi lensa	Gunakan saat memutar kamera dari orientasi bentang ke potret atau sebaliknya.	<i>Simak</i> D ( 182)
⑥ Indeks rotasi kerah tripod		
⑦ Cincin kontrol	Putar untuk menyetel pengaturan seperti Apertur atau Kompensasi pencahayaan yang ditentukan menggunakan kamera. Untuk informasi selengkapnya, simak penjelasan dari Penentuan kontrol kustom dalam buku petunjuk kamera.	—
⑧ Tanda pemasangan lensa	Gunakan saat mendudukkan lensa pada kamera.	<i>Simak</i> A ( 178)
⑨ Gasket karet pemasangan lensa	—	—
⑩ Kontak CPU	Digunakan untuk mentransfer data ke dan dari kamera.	—



Id

⑪ Tombol L-Fn	Tekan untuk menjalankan fungsi yang ditentukan menggunakan kamera. Untuk informasi selengkapnya, simak penjelasan dari Penentuan kontrol kustom dalam buku petunjuk kamera.	—
⑫ Tombol tampilan	Simpan pengaturan atau pilih informasi yang ditunjukkan di panel info lensa.	Simak B (☞179), C (☞180)
⑬ Cincin kerah tripod	—	—
⑭ Indeks rotasi lensa (90°)	Gunakan saat memutar kamera dari orientasi bintang ke potret atau sebaliknya.	Simak D (☞182)
⑮ Indeks rotasi kerah tripod (90°)		
⑯ Sekrup pemasangan cincin kerah tripod		
⑰ Kerah tripod berputar terpasang	Gunakan saat kamera terpasang pada tripod.	
⑱ Slot keamanan (untuk kabel anti-pencurian)	Kabel anti-pencurian pihak ketiga dapat dipasang ke slot ini. Untuk informasi lengkap, simak dokumentasi tersedia dengan kabel.	—
⑲ Tudung lensa	Tudung lensa menghalangi cahaya menyimpang yang dapat menyebabkan silau atau gambar ganda. Tudung juga berfungsi untuk melindungi lensa.	Simak E (☞183)
⑳ Penutup lensa depan	—	—
㉑ Tutup lensa belakang	—	—

A Pemasangan dan Pelepasan

Memasang Lensa

- 1 Matikan kamera, lepaskan tutup badan, dan pisahkan tutup lensa belakang.
- 2 Tempatkan lensa pada badan kamera, sambil menjaga tanda pemasangan pada lensa sejajar dengan tanda pemasangan pada badan kamera, lalu putar lensa berlawanan arah jarum jam hingga klik di tempat.
 - Kami sarankan memasang tudung lensa guna melindungi lensa selama penggunaan.

Melepas Lensa

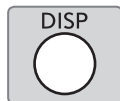
- 1 Matikan kamera.
- 2 Tekan dan tahan tombol pelepas lensa sambil memutar lensa searah jarum jam.

B Panel Info Lensa

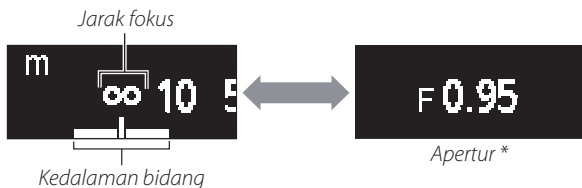
Panel info lensa bersinar saat lensa dipasang ke kamera dan kamera hidup.

NIKKOR

Tekan tombol tampilan untuk mengayuh tampilan seperti ditunjukkan:



Tombol tampilan



* Apertur ditampilkan hanya saat kamera dalam mode **A** atau **M**. Tampilan bagi mode lainnya ditunjukkan dalam ilustrasi.

F AUTO

- Panel mati secara otomatis saat pewaktu siaga kamera berakhir atau jika tiada pengoperasian lensa dilakukan selama sekitar 10 detik. Tekan tombol tampilan untuk mengaktifkan ulang tampilan.

Panel Info Lensa

Jarak fokus, kedalaman bidang, dan informasi lain yang ditampilkan dalam panel info lensa adalah hanya perkiraan.

Bokeh Tidak Teratur

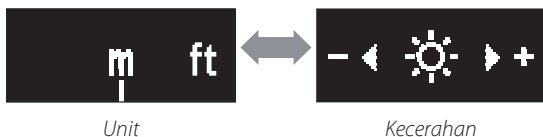
Dengan kecepatan rana yang cepat dan/atau apertur lebar, Anda mungkin menemukan ketidakteraturan bentuk *bokeh*. Efek tersebut dapat diatasi dengan memilih kecepatan rana yang lebih lambat dan/atau angka-*f* yang lebih tinggi.

C Opsi Panel

Ikuti langkah-langkah di bawah untuk memilih unit bagi jarak fokus dari meter (**m**) atau feet (**ft**) atau menyetel kecerahan dari panel info lensa.

1 Tekan dan tahan tombol tampilan untuk meninjau pengaturan.

- Opsi pemilihan unit atau kecerahan akan ditampilkan. Item terpilih sekarang akan berkilat.
- Tekan tombol tampilan untuk beralih antar tampilan.



2 Pilih pengaturan menggunakan cincin kontrol lensa.

Unit



- Putar cincin kontrol untuk memilih dari meter (**m**) atau feet (**ft**).



Kecerahan

- Putar cincin kontrol ke arah "+" (lebih cerah) atau "-" (lebih gelap).
- Pilih dari 6 jenjang kecerahan.




- Untuk mematikan panel info lensa, putar cincin ke arah “-” hingga ikon  berubah menjadi .



- Tekan tombol tampilan untuk menyimpan perubahan dan beralih tampilan.
- Apabila tiada pengoperasian dilakukan menggunakan kontrol lensa selama sekitar 5 detik, opsi panel akan hilang dari tampilan dan perubahan akan dibatalkan.

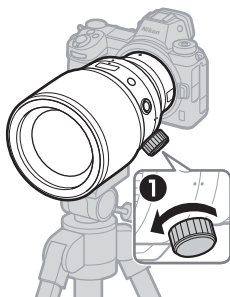
3 Tekan dan tahan tombol tampilan untuk kembali ke panel info lensa.

- Memilih  bagi kecerahan mematikan panel info lensa. Untuk hidupkan kembali tampilan, tekan dan tahan tombol tampilan.

D Kerah Tripod Berputar Terpasang

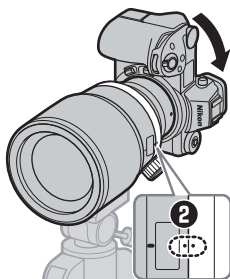
- Pasang tripod pada kerah tripod berputar terpasang, dan bukan ke kamera.
- Memasang tripod ke kerah tripod berputar terpasang dan bukan ke kamera memungkinkan kamera diputar sesuai penjelasan di bawah selama tripod dipasang.

- 1 Longgarkan sekrup pemasang cincin kerah tripod (1).

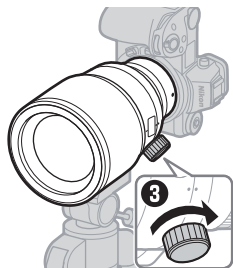


- 2 Putar kamera (2) untuk sejajarkan indeks rotasi lensa dengan indeks rotasi kerah tripod yang sesuai orientasi diinginkan (bentang atau potret).

- Saat memutar kamera, mungkin perlu diperhatikan untuk mencegah tangan yang memegang kamera dari menyentuh tripod.



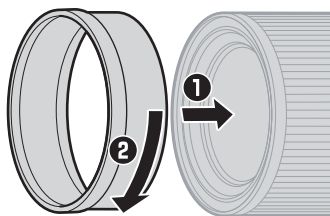
- 3** Kencangkan sekrup pemasang cincin kerah tripod (3).



- Untuk informasi tentang melepas kerah tripod berputar terpasang, hubungi perwakilan servis resmi Nikon.

E Memasang dan Melepas Tudung Lensa

Tudung lensa mengunci langsung ke dalam ulir di depan lensa. Jangan sentuh permukaan kaca dari lensa atau menggunakan kekuatan berlebihan.

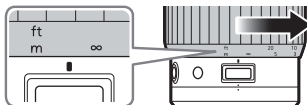


- Untuk melepas tudung, buka sekrup dari lensa.

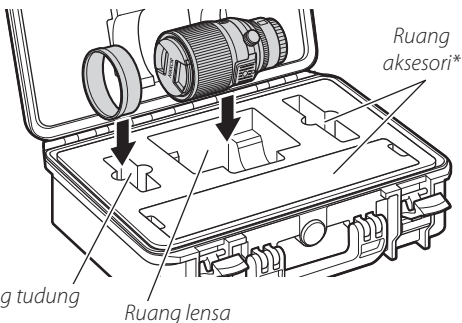
Meletakkan Lensa di dalam Kotaknya

Ikuti langkah di bawah ini untuk meletakkan lensa di dalam kotaknya.

- 1 Putar cincin fokus ke posisi yang ditunjukkan.
 - Lensa tidak dapat ditempatkan dalam kotaknya saat dipanjangkan.



- 2 Pastikan bahwa penutup lensa depan dan belakang dipasang.
- 3 Lepaskan tudung lensa.
- 4 Letakkan lensa dan tudungnya dalam kotak seperti petunjuk.
 - Balikkan langkah ini dalam "Membuka Kotak Lensa" (☞171) untuk menutup dan mengaitkan tutupnya. Pastikan kunci pengaman dikunci.

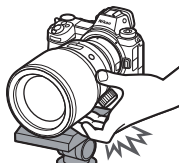


Id

* Item yang diletakkan dalam ruang aksesoris tidak tercakup di dalam garansi.

Petunjuk Penggunaan

- Pastikan untuk membopong lensa saat menggenggam kamera. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat merusak kedudukan lensa kamera.
- Jangan memungut atau membopong lensa pada bagian teleskopnya.
- Jangan memungut atau memegang lensa atau kamera hanya pada tudung lensanya.
- Jaga agar kontak CPU tetap bersih.
- Saat menggunakan tripod dengan kepala liputan lebar, hati-hati saat memutar cincin fokus untuk mencegah cedera yang disebabkan oleh jari Anda tersangkut di antara cincin dan kepala liputan.



- Apabila gasket karet pemasangan lensa rusak, hentikan segera penggunaan dan bawalah lensa ke pusat servis resmi Nikon untuk direparasi.
- Pasang penutup lensa depan dan belakang saat lensa tidak digunakan.
- Untuk melindungi bagian dalam lensa, simpanlah jauh dari cahaya matahari langsung.
- Jangan tinggalkan lensa di lokasi lembab atau di lokasi di mana ia akan terpapar pada kelembaban. Karat pada mekanisme internal dapat menyebabkan kerusakan yang tidak dapat diperbaiki.
- Jangan tinggalkan lensa di samping nyala api atau di lokasi panas ekstrim lainnya. Panas ekstrim dapat merusak atau melengkungkan bagian luar yang terbuat dari plastik yang diperkuat.
- Perubahan cepat dalam suhu dapat menimbulkan kondensasi merusak di dalam dan di luar lensa. Sebelum membawa lensa dari lingkungan hangat ke dingin atau sebaliknya, taruhlah dalam tas atau kotak plastik guna memperlambat perubahan suhu.
- Lepaskan lensa dari kamera dan letakkanlah di dalam kotak yang disertakan untuk pemindahan.

Perawatan Lensa

- Menghilangkan debu biasanya cukup membersihkan permukaan kaca dari lensa.
- *Elemen lensa depan berlapis fluorin* dapat dibersihkan sesuai penjelasan di bawah.
 - Corengan, sidik jari, dan noda berminyak lainnya dapat dihilangkan menggunakan kain katun bersih dan lembut atau tisu pembersih lensa; bersihkan dari tengah mengarah ke luar dengan gerakan melingkar.
 - Untuk menghilangkan noda yang susah hilang, seka dengan lembut menggunakan kain lembut yang sedikit dibasahi dengan air bersih, ethanol, atau pembersih lensa.
 - Tanda berbentuk tetesan apapun yang tertinggal dari proses ini pada permukaan penolak air dan minyak dapat dibersihkan setelah itu dengan kain kering.
- *Saat membersihkan elemen lensa belakang, yang bukan berlapis fluorin*, hapus corengan, sidik jari, dan noda minyak lainnya menggunakan kain katun bersih dan lembut atau tisu pembersih lensa yang sedikit dibasahi dengan sejumlah kecil ethanol atau pembersih lensa. Seka secara lembut dari tengah mengarah ke luar dengan gerakan melingkar, sambil berhati-hati agar tidak meninggalkan noda atau menyentuh lensa dengan jari Anda.
- Jangan gunakan pelarut organik seperti tiner cat atau bensin untuk membersihkan lensa.
- Filter (NC) Warna Netral (dijual terpisah) dan sejenisnya dapat digunakan untuk melindungi elemen lensa depan. Lepaskan tudung lensa sebelum memasang atau melepas filter.
- Apabila lensa tidak akan digunakan dalam waktu lama, simpanlah di tempat yang sejuk dan kering untuk mencegah jamur dan karat. Jangan menyimpan di tempat yang terkena cahaya matahari langsung atau bersama nafta atau kapur barus.

Id

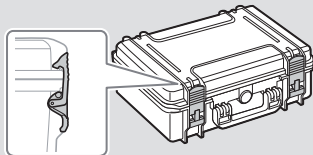
Aksesori

Aksesori yang Disertakan

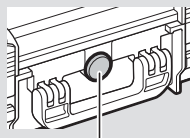
- Penutup Lensa Depan 82 mm snap-on LC-82B
- Tutup Lensa Belakang LF-N1
- Tudung Lensa Ulir HN-38
- Kotak Lensa CT-101

✓ Menggunakan Kotak Lensa

- Nikon tidak bertanggung jawab atas kejadian di mana kerusakan pada kotak menyebabkan kerusakan pada isinya.
- Pada saat menyimpan kotak lensa, tutup kunci kait pengaman. Pastikan kaitnya ditutup dengan aman seperti yang ditunjukkan dalam ilustrasi.



- Jangan tinggalkan kotak ini untuk waktu lama di lokasi lembab atau di bawah sinar matahari langsung. Kontak yang lama pada kelembaban atau sinar matahari langsung dapat menyebabkan lapisan dalamnya mengeras atau memudar.
- Jangan menyimpan kotak ini di lokasi yang terpapar pada suhu ekstrim. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan lapisan dalamnya melengkung, menyusut atau mengelupas.
- Hindari menyentuh langsung kotaknya setelah terpapar pada suhu ekstrim. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan terbakar, luka bakar suhu rendah, atau radang dingin.
- Jangan duduk atau meletakkan objek berat di atas kotak.
- Jauhkan kotak dan aksesoris dari jangkauan anak-anak.
- Jauhkan tangan Anda dari bagian bergerak saat membuka atau menutup kotak.
- Jangan tinggalkan kotak di lokasi tidak stabil atau di lokasi dengan risiko terjatuh.
- Jangan pernah gunakan pelarut organik seperti alkohol, bensol atau tiner untuk membersihkan kotak.
- Jangan menggores atau menggosok permukaan kotak dengan objek keras.
- Jangan mencoba untuk membongkar, memperbaiki atau memodifikasi kotak.
- Katup penyesuaian tekanan tidak berputar. Memberi tekanan berlebihan pada katupnya dapat menyebabkan cedera atau merusak produk ini.
- Jangan menjatuhkan kotak, menangani dengan kekuatan berlebihan, atau mengenakan pada guncangan fisik atau getaran kuat.
- Nikon tidak akan melakukan perbaikan pada kotak lensa.



Katup penyesuaian tekanan

Spesifikasi

NIKKOR Z 58mm f/0.95 S Noct

Dudukan	Nikon dudukan Z
Panjang fokal	58 mm
Bukaan diafragma maksimal	f/0.95
Konstruksi lensa	17 elemen dalam 10 grup (termasuk 4 elemen ED, 3 elemen asferik, dan elemen dengan lapisan Nano Crystal dan ARNEO coat, serta elemen lensa depan berlapis fluorin)
Sudut gambar	<ul style="list-style-type: none">• Format FX: 40° 50'• Format DX: 27° 20'
Sistem pemfokusan	Sistem pemfokusan depan
Jarak fokus minimum	0,5 m dari bidang fokal
Rasio penggandaan maksimum	0,19×
Bilah diafragma	11 (bukaan diafragma lingkaran)
Kisaran bukaan	f/0.95 – 16
Ukuran tambahan filter	82 mm (P = 0,75 mm)
Dimensi	Garis tengah maksimum sekitar 102 mm × 153 mm (jarak dari kelepak pemasangan lensa kamera)
Berat	Sekitar 2000 g

Kotak Lensa CT-101

Jenis	Kotak model atase
Dimensi luar	Sekitar 464 mm × 366 mm × 176 mm
Dimensi dalam	Sekitar 426 mm × 290 mm × 159 mm
Berat	Sekitar 3040 g, termasuk lapisan dalam
Bahan	<ul style="list-style-type: none">• Badan: Polypropylene• Kait pengunci: Nilon

Nikon memiliki hak untuk mengubah penampilan, spesifikasi, dan kemampuan dari produk ini kapan saja dan tanpa pemberitahuan terlebih dahulu.

Id

الحقيبة الصندوقية CT-101

النوع	حقيبة من نوع حقائب الأوراق لليد
الأبعاد الخارجية	464 مم × 366 مم × 176 مم تقريباً
الأبعاد الداخلية	426 مم × 290 مم × 159 مم تقريباً
الوزن	3040 جرام تقريباً، بما في ذلك البطانة الداخلية
الأقمشة	<ul style="list-style-type: none"> • الجسم: البوليبروبيلين • المزلاج: النيلون

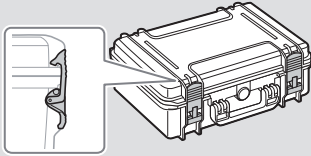
تحتفظ نيكون بالحق في تغيير المظهر والمواصفات والأداء الخاص بهذا المنتج في أي وقت وبدون إخطار مسبق.

NIKKOR Z 58 مم f/0.95 S Noct

تركيب	تركيب Nikon Z
الطول البؤري	58 مم
الحد الأقصى للفتحة	f/0.95
تكوين العدسة	17 عنصراً في 10 مجموعة (تتضمن على 4 عناصر ED و3 عناصر شبه كروية وعناصر بطبقة الكريستال الدقيق وطبقات ARNEO وعناصر أمامية مغلقة بالفلور)
زاوية الصورة	• صيغة FX: 40° 50' • صيغة DX: 27° 20'
نظام التركيز البؤري	نظام التركيز البؤري الأمامي
الحد الأدنى لمسافة التركيز	0.5 متر من علامة المسافة البؤرية
معدل إعادة الإنتاج الأقصى	0.19x
شفرات حاجب الفتحة	11 (فتحة حاجب دائرية)
نطاق الفتحة	16-f/0.95
قياس قطر المرشح	82 مم (P=0.75 مم)
الأبعاد	102 مم أقصى قطر × 153 مم تقريباً (المسافة من شفة تركيب العدسة على الكاميرا)
الوزن	2000 جرام تقريباً

استخدام الحقيبة الصندوقية

• لا تتحمل شركة Nikon مسؤولية أي تلف تتعرض إليه المحتويات نتيجة لتلف الحقيبة.



• عند تخزين الحقيبة الصندوقية، أغلق أقفال الأمان المجهزة بالمزاليح. تأكد من أن المزاليح مغلقة كما هو موضح في الرسم التوضيحي.

• لا تترك الحقيبة في مواقع تتعرض فيها إلى الرطوبة أو ضوء الشمس المباشر لفترات طويلة. قد يؤدي التعرض إلى الرطوبة أو ضوء الشمس لفترات طويلة إلى تصلب البطانة الداخلية أو تلاشيها.

• لا تخزن الحقيبة في مواقع تتعرض فيها إلى درجات حرارة شديدة. قد يؤدي عدم مراعاة هذا الاحتياط الوقائي إلى التواء البطانة الداخلية أو انكماشها أو تفشورها.

• تجنب لمس الحقيبة مباشرة بعد تعرضها إلى درجات حرارة شديدة. قد يؤدي عدم مراعاة هذا الاحتياط الوقائي إلى حروق أو حروق منخفضة الحرارة أو قضمة صقيع.

• لا تجلس على الحقيبة أو تضع أجسام ثقيلة عليها.

• احفظ الحقيبة وكمالياتها بعيداً عن متناول الأطفال.

• احرص على ابتعاد يديك عن الأجزاء المتحركة عند فتح الحقيبة أو إغلاقها.

• لا تترك الحقيبة في مواقع غير مستقرة أو مواقع تكون فيها عرضة للسقوط.

• لا تستخدم مذيبات عضوية مثل الكحول أو البنزين أو مخفف الدهان لتنظيف الحقيبة.

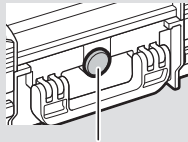
• لا تخذش سطح الحقيبة أو تدلكه باستخدام أجسام حادة.

• لا تعتمد إلى تفكيك الحقيبة أو إصلاحها أو تعديلها.

• صمام توازن الضغط لا يدور. قد يؤدي استخدام القوة المفرطة على الصمام إلى التعرض إلى إصابة أو تلف المنتج.

• لا تسقط الحقيبة أو تعالجها بقوة مفرطة أو تعرضها إلى صدمات جسدية أو اهتزازات عنيفة.

• لن تجري شركة Nikon أي إصلاحات للحقيبة الصندوقية.



صمام توازن الضغط

العناية بالعدسة

- إزالة الغبار يكون عادة كافياً لتنظيف الأسطح الزجاجية للعدسة.
- يمكن تنظيف عنصر العدسة الأمامي المغلف بالفلور كما هو موضح فيما يلي.
 - يمكن إزالة اللطخات وبصمات الأصابع والبقعات الزيتية باستخدام قطعة قماش قطنية ناعمة ونظيفة أو المنديل المخصص لتنظيف العدسات. قم بتنظيفها ابتداءً من المركز إلى الخارج باستخدام حركة دائرية.
 - لإزالة البقع العنيدة، امسح العدسة برفق باستخدام قطعة قماش ناعمة ومبللة بخفة بماء مقطر أو الإيثانول أو سائل تنظيف العدسة.
 - ويمكن فيما بعد إزالة أي بقايا علامات على شكل قطرة من السطوح المضادة للماء والزيت باستخدام قطعة قماش جافة.
- عند تنظيف عناصر العدسة الخلفية غير المغلفة بالفلور، أزل اللطخات وبصمات الأصابع وغيرها من البقع الزيتية باستخدام قطعة قماش قطنية ناعمة ونظيفة أو منديل تنظيف عدسة مبلل بخفة بكمية صغيرة من الإيثانول أو سائل تنظيف العدسة. قم بمسحها برفق ابتداءً من المركز إلى الخارج باستخدام حركة دائرية. مع مراعاة عدم تخليف أي لطخات وعدم لمس العدسة بأصابعك. لا تستخدم أبداً مذيب عضوي مثل مخفف الدهان أو البنزين بغرض تنظيف العدسة.
- يمكن استخدام مرشحات اللون المحايد (NC) وما شابه لحماية عنصر العدسة الأمامية. قم بإزالة واقية العدسة قبل تركيب المرشحات أو إزالتها.
- في حالة لن يتم استخدام العدسة لفترة ممتدة، احتفظ بها في مكان بارد وجاف لتجنب تكون عفن أو صدأ. لا تخزنها في ضوء الشمس المباشر أو مع نافتا أو كرات كافور العثة.

الكهاليات

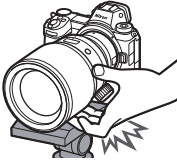
الإكسسوارات المرفقة

- غطاء عدسة أمامي ضغط طراز LC-82B قطر 82 مم
- غطاء عدسة خلفي طراز LF-N1
- واقية العدسة القابلة للتركيب HN-38
- الحقيبة الصندوقية CT-101

Ar

احتياطات الاستخدام

- احرص على دعم العدسة عند الإمساك بالكاميرا. عدم مراعاة هذا الاحتياط الوقائي قد يتسبب في إتلاف قاعدة تركيب العدسة الخاصة بالكاميرا.
- لا تلتقط العدسة أو تمسك بها من الطرف التلسكوبي الخاص بها.
- لا تلتقط أو تمسك العدسة أو الكاميرا باستخدام واقية العدسة فقط.
- حافظ على نظافة أطراف توصيل وحدة CPU.



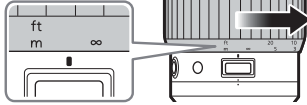
- عند استخدام حامل ثلاثي الأرجل ذي رأس كبير، توخّ الحذر عند تدوير حلقة التركيز البؤري لتجنب التعرض إلى الإصابة التي قد تنتج عن اشتباك أصابعك بين الحلقة والرأس.

- في حالة تلف الحشية المطاطية لتركيب العدسة، توقف عن الاستعمال مباشرة وتوجه بالعدسة إلى مركز خدمة نيكون معتمد للصيانة.
- بدّل الغطاءين الأمامي والخلفي للعدسة في حالة عدم استخدام العدسة.
- لحماية الجزء الداخلي للعدسة، خزنها بعيداً عن أشعة الشمس المباشرة.
- لا تترك العدسة في مواقع رطبة أو في مواقع تكون فيها معرضة للنداءة. قد يتسبب صدأ آلية العمل الداخلية في وقوع تلف لا يمكن إصلاحه.
- لا تترك العدسة إلى جانب الألهبة المكشوفة أو غيرها من المواقع شديدة الحرارة. قد تؤدي الحرارة الشديدة إلى وقوع تلف أو إلى التواء الأجزاء الخارجية المصنوعة من البلاستيك المقوى.
- قد تؤدي التغيرات السريعة في درجات الحرارة إلى تكثيف ضار داخل العدسة وخارجها. قبل نقل العدسة من بيئة حارة إلى بيئة باردة أو العكس، ضعها في كيس أو في حقيبة مصنوعة من البلاستيك لإبطاء التغير في درجة الحرارة.
- أزل العدسة من الكاميرا وضعها في الحقيبة المزودة عند نقلها.

وضع العدسة في حقيبتها

اتبع الخطوات التالية لوضع العدسة في حقيبتها.

- 1 قم بتدوير حلقة التركيز إلى الموضع الموضح.
• لا يمكن وضع العدسة في الحقيبة عندما تكون ممتدة.

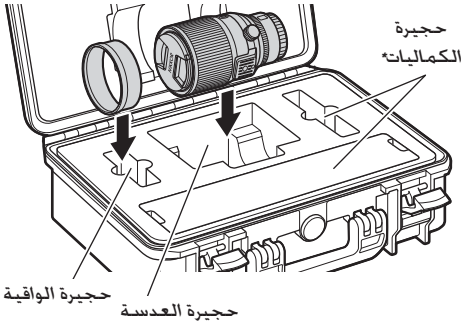


- 2 تأكد من أن غطاء العدسة الأمامي والخلفي مركبان.

- 3 أزل واقية العدسة.

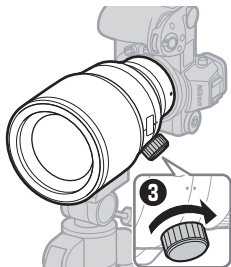
- 4 ضع العدسة والواقية في الحقيبة كما هو موضح.

• اتباع الخطوات الموضحة في "فتح الحقيبة الصندوقية" (210) عكسيًا لإغلاق المزلاج والغطاء. تأكد من أن أقفال الأمان مغلقة.



*لا يغطي الضمان العناصر الموجودة في حجيرة الكماليات.

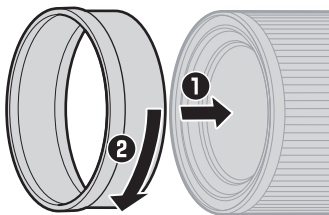
3 شدد برغي تركيب حلقة طوق الحامل ثلاثي الأرجل (3).



• للحصول على معلومات عن إزالة طوق الحامل ثلاثي الأرجل الدوار الداخلي، اتصل بممثل خدمة نيكون معتمد.

E تركيب وإزالة واقية العدسة

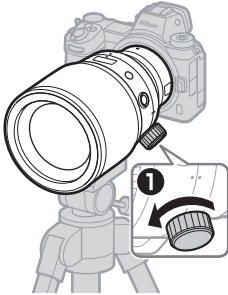
تثقب واقية العدسة الأسلاك الموجودة أمام العدسة مباشرةً. لا تلمس سطح العدسة الزجاجي أو تعالجه بقوة مفرطة.



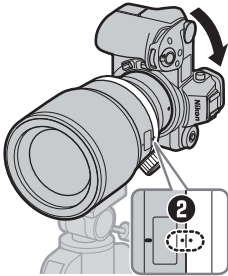
• لإزالة الواقية، فك براغيها من العدسة.

D طوق الحامل ثلاثي الأرجل الدوار الداخلي

- ركب الحوامل ثلاثية الأرجل إلى طوق الحامل ثلاثي الأرجل الدوار الداخلي وليس إلى الكاميرا.
- يسمح تركيب الحوامل ثلاثية الأرجل إلى طوق الحامل ثلاثي الأرجل الدوار الداخلي بدلاً من الكاميرا بتدوير الكاميرا كما هو موضح فيما يلي عندما يكون الحامل ثلاثي الأرجل مركبًا.




1 أرخ برغي تركيب حلقة طوق الحامل ثلاثي الأرجل (1).




2 أدر الكاميرا (2) لمحاذاة مؤشر دوران العدسة مع مؤشر دوران طوق الحامل ثلاثي الأرجل الذي يطابق الوجهة المرغوب فيها (أفقيًا أو رأسيًا).

- عند إدارة الكاميرا، قد يتعين توخي الحذر حتى لا تلامس اليد الممسكة بالكاميرا الحامل ثلاثي الأرجل.



- لإيقاف تشغيل لوحة معلومات
العدسة. دور الحلقة في الاتجاه
"–" حتى تتغير الأيقونة  إلى



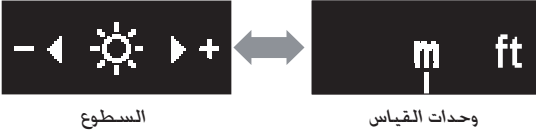
- اضغط على زر العرض لحفظ التغييرات والتبديل بين الشاشات.
 - إذا لم يتم تنفيذ أي عملية باستخدام عناصر التحكم بالعدسة لمدة 5 ثواني تقريبًا، فسوف يتم مسح خيارات اللوحة من الشاشة وإلغاء التغييرات.
- 3 اضغط على زر العرض مع الاستمرار للعودة إلى شاشة معلومات العدسة.
- يؤدي اختيار  للسطوع إلى إيقاف تشغيل لوحة معلومات العدسة. لتشغيل العدسة مجددًا، اضغط على زر العرض مع الاستمرار.

Ⓒ خيارات اللوحة

اتبع الخطوات الموضحة فيما يلي للاختيار بين الأمتار (m) والأقدام (ft) كوحدة قياس مسافة التركيز البؤري أو اضبط سطوع لوحة معلومات العدسة.

1] اضغط باستمرار على زر العرض لعرض الإعدادات.

- سوف يتم عرض وحدة القياس أو خيارات تحديد السطوع. سوف يضيء العنصر المحدد حاليًا.
- اضغط على زر العرض للتبديل بين الشاشات.



2] اختر إعدادًا باستخدام حلقة التحكم الخاصة بالعدسة.



وحدات القياس

- دور حلقة التحكم للاختيار بين الأمتار (m) والأقدام (ft).



السطوع

- دور حلقة التحكم في الاتجاه "+" (أكثر سطوعًا) أو "-" (أقل سطوعًا).
- اختر من بين 6 مستويات للسطوع.

B لوحة معلومات العدسة

NIKKOR

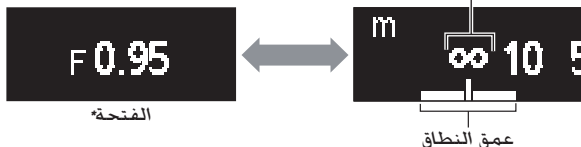
تضيء لوحة معلومات العدسة عندما يتم تركيب العدسة على الكاميرا بينما تكون الكاميرا قيد التشغيل.

DISP



زر العرض

اضغط على زر العرض لتميرير الشاشة كما هو موضح:



FAUTO

• لا يتم عرض الفتحة إلا عندما تكون الكاميرا في الوضع A أو M. شاشة الأوضاع الأخرى على الرسم البياني.

• سيتوقف تشغيل اللوحة تلقائيًا عندما تنتهي مدة مؤقت الاستعداد للكاميرا أو عندما لا يتم إجراء أي عملية للعدسة لمدة 10 ثواني تقريبًا. اضغط على زر العرض لإعادة تنشيط الشاشة.

📌 لوحة معلومات العدسة

مسافة التركيز البؤري وعمق النطاق وغيرها من المعلومات الموضحة على لوحة معلومات العدسة تقريبية فقط.

📌 بوكيه غير منتظم

قد تلاحظ عدم انتظام شكل بوكيه لدى سرعات الغالق العالية و/أو الفتحات العريضة. يمكن تخفيف وطأة ذلك التأثير عن طريق اختيار سرعات غالق أدنى و/أو أرقام بؤرية أعلى.

A التركيب والفك

تركيب العدسة

1 قم بإيقاف تشغيل الكاميرا. وأزل غطاء الجسم. ثم فك غطاء العدسة الخلفي.

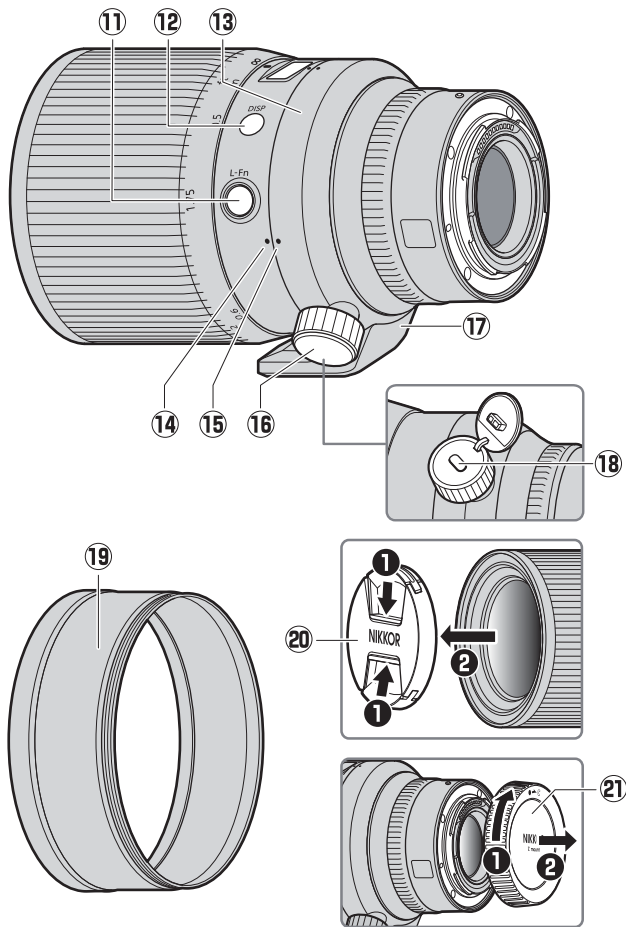
2 ضع العدسة على جسم الكاميرا. مع مراعاة أن تكون علامة التركيب على العدسة بمحاذاة علامة التركيب على جسم الكاميرا. ثم قم بتدوير العدسة عكس اتجاه عقارب الساعة حتى تثبت في مكانها. • نحن ننصح بتركيب واقية العدسة لحماية العدسة أثناء الاستخدام.

نزع العدسة

1 قم بإيقاف تشغيل الكاميرا.

2 اضغط باستمرار على زر تحرير العدسة مع تدوير العدسة في اتجاه عقارب الساعة.

-	اضغط على هذا الزر لإجراء وظيفة يتم تعيينها باستخدام الكاميرا. للحصول على المزيد من المعلومات. ألق نظرة على وصف تعيين التحكم الاعتيادي الموجود في دليل الكاميرا.	الزر L-Fn ⑪
انظر (202) B و (201) C	احفظ الإعدادات أو اختر المعلومات الموضحة على لوحة معلومات العدسة.	زر العرض ⑫
-	-	حلقة طوق الحامل ثلاثي الأرجل ⑬
انظر (199) D	استخدم هذين الخيارين عند تدوير الكاميرا من الموضع الأفقي إلى الموضع الرأسي أو العكس.	مؤشر دوران العدسة (90°) ⑭
		مؤشر دوران طوق الحامل ثلاثي الأرجل (90°) ⑮
		برغي تركيب حلقة طوق الحامل ثلاثي الأرجل ⑯
		طوق الحامل ثلاثي الأرجل الدوار الداخلي ⑰
-	يمكن تركيب كبلات مكافحة السرقة من جهات تصنيع أخرى في هذه الفتحة. للحصول على المزيد من المعلومات، اطلع على الوثائق المزودة بصحبة الكبل.	فتحة الأمان (الكبل مكافحة السرقة) ⑱
انظر (198) E	تحجب واقيات العدسة الإضاءة المتناثرة التي قد تسبب التوهج أو تشوه الصورة. كما توفر حماية للعدسة.	واقية العدسة ⑲
-	-	غطاء العدسة الأمامي ⑳
-	-	غطاء العدسة الخلفي ㉑



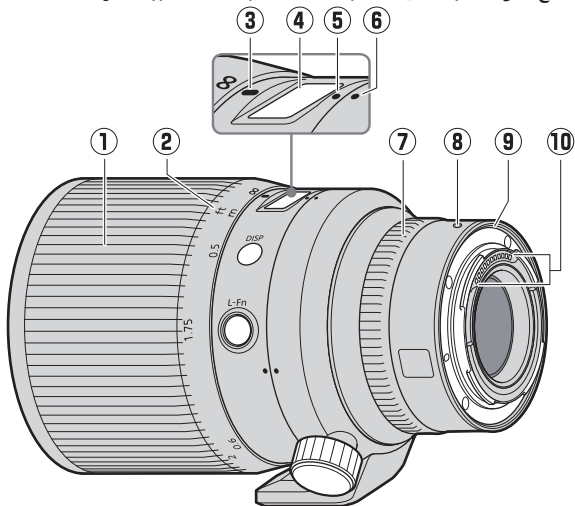
Ar

-	أدر الحلقة لتركيـز العدسة يدويًا.	1 حلقة التركـيز البؤري
-	تحقق من مسافة التركـيز البؤري (المسافة التقريبية بين مستشعر الصورة والهدف). • يرجى ملاحظة أن مؤشر مسافة التركـيز البؤري تم إعداده كدليل إرشادي فحسب وقد لا يعكس المسافة التي يبعد عنها الهدف بدقة. قد لا يتم تحديد مسافة التركـيز البؤري ∞ عندما تكون الكاميرا مركزة على هدف بعيد بسبب عمق النطاق أو غيرها من العوامل.	2 مؤشر مسافة التركـيز البؤري
-	عرض مسافة التركـيز البؤري وعمق النطاق وغيرها من المعلومات.	3 علامة مسافة التركـيز البؤري
B (انظر 202 □) و C (انظر 201 □)	استخدم هذين الخيارين عند تدوير الكاميرا من الموضع الأفقي إلى الموضع الرأسي أو العكس.	4 لوحة معلومات العدسة
D (انظر 199 □)	قم بتدوير العدسة لضبط الإعدادات مثل فتحة أو تعويض التعريض الضوئي الذي يتم تعيينه باستخدام الكاميرا. للحصول على المزيد من المعلومات، ألق نظرة على وصف تعيين التحكم الاعتيادي الموجود في دليل الكاميرا.	5 مؤشر دوران العدسة 6 مؤشر دوران طوق الحامل ثلاثي الأرجل
-	تستخدم عند تركيب العدسة على الكاميرا.	7 حلقة التحكم
-	تستخدم لنقل البيانات من الكاميرا وإليها.	8 علامة تركيب العدسة
-	-	9 الحشية المطاطية لتركيب العدسة
-	-	10 أطراف توصيل وحدة CPU

استخدام العدسة

أجزاء العدسة: الأسماء والوظائف

اطلع على الفقرة التالية لمعرفة أسماء أجزاء العدسة ووظائفها.



⚠ تحذير

- يحفظ هذا المنتج بعيد عن متناول الأطفال.
- عدم اتباع هذه التعليمات قد يتسبب في إصابة أو في عطل المنتج. إضافة إلى ذلك، لاحظ أن الأجزاء الصغيرة قد تتسبب في التعرض لخطر الاختناق. في حالة ابتلاع طفل أي جزء من أجزاء هذا المنتج، يرجى استشارة طبيب على الفور.

- لا تلمسه بأيدي عارية في الأماكن المعرضة لدرجات حرارة عالية جداً أو منخفضة جداً.
- عدم اتباع هذا التنبيه قد يؤدي إلى الإصابة بحروقات أو قضمة صقيع.

⚠ تنبيه

- لا تترك العدسة موجهة إلى الشمس أو مصادر ضوء قوية أخرى.
- قد يسبب الضوء المركز من العدسة حرقاً أو تلفاً لأجزاء المنتج الداخلية. عند تصوير الأهداف ذات الإضاءة الخلفية، اجعل الشمس خارج إطار التصوير.
- لا تترك المنتج في مناطق يتعرض فيها لدرجات حرارة مرتفعة لفترة طويلة، مثل سيارة مغلقة أو في ضوء الشمس المباشر.
- عدم اتباع هذه التعليمات قد يتسبب في حريق أو عطل المنتج.
- لا تقم بنقل الكاميرات أو العدسات عندما تكون مركبة بالحامل ثلاثي الأرجل أو أي ملحقات مشابهة.
- عدم اتباع هذه التعليمات قد يتسبب في إصابة أو في عطل المنتج.

من أجل سلامتك

لمنع إتلاف الممتلكات أو تعريض نفسك أو الآخرين للإصابة. اقرأ «احتياطات السلامة» كاملة قبل استخدام هذا المنتج.

احتفظ بتعليمات السلامة هذه في مكان يتمكن من خلاله جميع مستخدمي هذا المنتج من قراءتها.

⚠️ **تحذير:** عدم مراعاة التنبيهات الموضحة على هذا الرمز ينطوي على خطورة كبيرة تتمثل في الوفاة أو الإصابة الحادة.

⚠️ **تنبيه:** عدم مراعاة التنبيهات الموضحة على هذه الأيقونة ينطوي على خطورة كبيرة تتمثل في الوفاة أو تلف الممتلكات.

⚠️ تحذير

• لا تفكك البطارية أو تعدّل هذا المنتج.
• لا تلمس الأجزاء الداخلية التي تنكشف بسبب السقوط أو بسبب حادث آخر.
• عدم اتباع هذه الاحتياطات قد يتسبب في حدوث صدمة كهربية أو إصابة أخرى.

• إذا لاحظت أية أمور غير عادية مثل خروج دخان من المنتج أو حرارة أو روائح غير معتادة، فقم فوراً بفصل مصدر الطاقة الخاص بالكاميرا.
• قد يؤدي الاستمرار في الاستخدام إلى التعرض للإصابة أو نشوب حريق.

• حافظ عليه جافاً.
• لا تمسك المنتج بأيدي مبتلة.
• عدم اتباع هذه التنبيهات قد يؤدي إلى نشوب حريق أو صدمة كهربية.

• لا تستخدم هذا المنتج في وجود غبار قابل للاشتعال أو غاز مثل البروبان أو الغازولين أو الأيروسول.
• عدم اتباع هذه التنبيهات قد يتسبب في حدوث انفجار أو حريق.

• لا تنظر إلى الشمس مباشرة أو أي مصدر إضاءة ساطع من خلال العدسة.
• عدم مراعاة هذا التنبيه قد يؤدي إلى إعاقة بصرية.

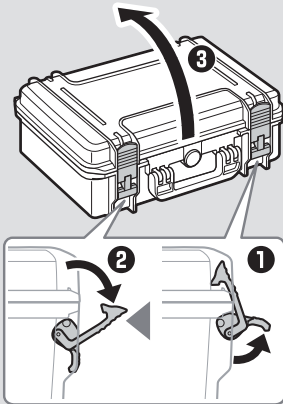
⚠️ العناية والمعالجة

العدسة أداة بصرية عالية الدقة. تجنب تعرض المنتج إلى الصدمات أثناء معالجته لضمان الأداء المتواصل.

- الرجاء قراءة هذه الإرشادات بعناية قبل استخدام هذا المنتج. سيتعين عليك استشارة دليل الكاميرا كذلك.
- هذه العدسة مخصصة للاستخدام مع الكاميرات بلا مرآة التي تتميز بتركيب Nikon Z بشكل حصري.
 - هذه عدسة ذات تركيز بؤري يدوي. بغض النظر عن وضع التركيز البؤري الذي يتم تحديده باستخدام الكاميرا، لا بد من ضبط التركيز البؤري يدويًا ما دامت هذه العدسة مركبة.

فتح الحقيبة الصندوقية

لفتح الحقيبة الصندوقية:



1 ضع الحقيبة الصندوقية على

سطح مستقر.

2 حرر أقفال الأمان المجهزة

بالمزاليج (1) وافتح المزاليج (2).

3 افتح الغطاء (3).

- افتح الغطاء ببطء.
- احرص على ألا تعلق أصابعك في الأجزاء المتحركة من الحقيبة.
- الغطاء وجسم الحقيبة مغلقان بإحكام، ولذلك قد يكون من الضروري أحياناً الإمساك بالجسم بإحكام عند فتح الغطاء.

NIKON CORPORATION

© 2019 Nikon Corporation

CE SB9G01(AD)
7MMA22AD-01 △